

TOKYO COLLEGE of
MUSIC

FACTBOOK 2022

~2023.03

TCM

目 次

FACTBOOK2022 について 1

I. 学部・大学院

概要

1 教育方針 2
 2 沿革 8
 3 組織 9
 4 教員・職員 11
 5 キャンパス・施設 15

教育

1 学生数 16
 2 入試・入学状況 22
 3 卒業・修了 32
 4 休学・退学 34
 5 開講科目数 38
 6 単位修得状況 40
 7 教職課程 44
 8 進路 46
 9 公開講座・演奏会 48
 10 大学間連携 51

学生生活

1 奨学金・授業料減免 52
 2 学生相談室 56
 3 学生寮 56

社会貢献

1 地域・社会連携 57
 2 外部依頼演奏会 60
 3 社会人講座 62
 4 SDGs 63

グローバル

1 国際交流 64
 2 派遣留学生 66
 3 受入留学生 67

研究

1 研究助成金等 68
 2 リポジトリ 69

II. 付属高等学校

1 沿革 70
 2 教職員数 70
 3 生徒数 71
 4 入試・入学状況 74
 5 卒業・進路 77

III. 付属幼稚園

1 園児数 79
 2 入試・入園状況 80
 3 卒園・進路 81
 4 教職員数 81
 5 児童レッスン部 82

IV. 付属図書館

1 蔵書数 83
 2 利用状況 84

VI. 付属音楽教室

1 生徒数 91
 2 入室状況 92

V. 民族音楽研究所

1 公開講座 88
 2 社会人講座 89
 3 刊行物 90
 4 アートマネジメント人材育成 90

財務状況

事業活動収支計算書関係比率 94
 貸借対照表関係比率 95

学校法人 東京音楽大学

FACTBOOK 2022について

新たな一年が始まり、私たち東京音楽大学は再び、Institutional Research（IR）活動の一部として「学校法人 東京音楽大学 FACTBOOK 2022」を作成いたしました。

このFACTBOOKでは、昨年度に引き続き、本学の包括的な情報を提供し、私たちの教育、研究、経営の透明性を維持するとともに、その将来展望を示すことを目指しています。受験生、保護者、関係者の皆様に対して、我々の教育・研究・運営の現状を広く紹介し、理解を深めていただくことが目的です。

今年も、大学・大学院だけでなく、私たちが持つ付属学校（付属高等学校・付属幼稚園）および付属機関（音楽教室・民族音楽研究所）に関する情報を詳しく取り扱っております。音楽大学としての独特な教育・研究資源を活用した幼児教育、高大連携教育、そして生涯学習教育に対する私たちの長年の取り組みが、皆様の理解に役立つことを願っております。

私たちの建学の精神、「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を念頭に、東京音楽大学は今後も成長し、より多くの貢献を追求して参ります。皆様の継続的な支援と指導をこれからも賜りますよう、心からお願い申し上げます。

学校法人 東京音楽大学
理事長 丸山 恵一郎

1. 教育方針 「建学の精神と理念」

- ・ アカデミズムと実学の両立
- ・ 音楽による社会貢献
- ・ 国際性

東京音楽大学は、鈴木米次郎により明治40年（1907年）に設立された東洋音楽学校を前身とする、我が国で最も古いルーツを持つ私立音楽大学です。昭和38年（1963年）に4年制大学として認可され、続いて昭和44年（1969年）に東京音楽大学と名称変更し、平成5年（1993年）に大学院音楽研究科修士課程、平成25年（2013年）に同研究科後期博士課程を設置し、現在に至っています。

創立者、鈴木米次郎は常々「音楽を通して社会に貢献する」と語り、私立学校設立認可願にも「汎ク音楽ニ関スル学科及術科ヲ教授シ以テ高潔ナル品性ノ修養ヲ得セシムルニアリ」と記されています。鈴木は、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家及び音楽教育者を育成し、それによって社会に貢献することを願っていました。

この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」として、創立当初より、修業年限を東京音楽学校（現・東京藝術大学）と同じ3年（他の私立音楽学校は1～2年）とすること、視覚障がい者のための点字楽譜を開発すること、清国留学生を積極的に受け入れること（これら留学生は中国における西洋音楽教育普及に尽力しました。）、卒業生を「船の楽士」として太平洋航路の客船に乗船させること等の実践活動を通じて実現されてきました。

この精神は本学における教育の基本理念として現在の学則にも反映されており、社会の第一線で活躍する教師陣等による我が国でも最高レベルの教育水準を保つことにより、国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界、さらに近年では音楽産業分野にも優秀な人材を送り出すに至っています。

1. 教育方針 「教育の目的」

学則では、本学の教育目的を次のように謳っています。

「本学は、教育基本法 の精神に則り、広く一般教育の知識を授けるとともに、音楽の専門教育を行い、これを通じて人格の完成をはかり、もって有為な音楽家を育成することを目的とする。」（学則第2条）

「本学は、音楽芸術の研鑽を通じて、高度な専門性を有した音楽家、音楽教育者を育成する。また、自らの音楽的個性とともに幅広い教養を備え、現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを教育目標とする。」（学則第2条の2）

「本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。」（大学院学則第2条）

1. 教育方針 「東京音楽大学ビジョン」

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

東京音楽大学は、1907年の開学以来、建学の精神である「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を目標に、演奏活動を通じて海外協定機関等との緊密で多様な音楽文化の交流を育みながら、演奏力を安定的に発展、成熟させるとともに、教育研究の世界展開に多くの成果を挙げてきました。

本学は、急速な技術革新やグローバル化が進展する現代社会にあって、伝統を継承しつつ、常に新たな教育と研究の道を模索してきました。2017年4月には、音楽を柱に、教養と英語の能力も身につけて世界のあらゆる分野で活躍できる人材を育成する「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設し、2019年4月には、新たに「中目黒・代官山キャンパス」を開校するとともに、「吹奏楽アカデミー専攻」を開設するなど、教育研究の質の飛躍的向上と充実に取り組んで参ります。

新しい時代に向けて音楽文化を創造し、音楽により、また音楽を通して、急激に変化する社会の様々な要請や期待に応えていくことを目指して、「東京音楽大学ビジョン」を定めました。

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。

音楽は、人間の感性に直接働きかける力を持ち、あらゆる境界を越えて広がっていく可能性を秘めています。

本学は、先進的な教育、研究及び社会貢献等を基盤として、人の心を自由にし、豊かな未来を実現する音楽文化の新たな地平を拓いていきます。

2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。

急速な技術革新やグローバル化等により絶えず変化する社会にあって、音楽大学には、演奏や音楽活動を通して人びとに感動を与え、その精神を崇高にし、多様な価値観を受け止められる感性を有する人材の育成が求められます。

本学は、学生一人ひとりが音楽に関する高度で専門的な知識・技術とともに豊かな教養を身につけ、西洋・東洋の枠を超えた多様な音楽文化や、音楽とITを融合する最先端の分野等についても多角的な視点を持った人材を育成し、社会のニーズに応えます。

大学院教育については、その質の格段の向上と、未来を牽引する人材を育成する観点から、教育研究組織の改編を含め抜本的な改革を推進し、その進化を図ります。

3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。

音楽文化の多様化、複雑化が進む現代において、未来を切り拓く多彩なアプローチによる音楽文化に関する研究や、本学の強みである演奏法や指導法の開発を推進し、異分野の研究者との共同研究を組織的に展開していく。これらの最新の研究成果を教育に反映するとともに、世界に発信します。

また、附属民族音楽研究所においては、アジア音楽の研究拠点として創造的な研究を推進します。

1. 教育方針 「東京音楽大学ビジョン」

4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。

グローバル化が進展する中で新たな音楽文化を創造するには、歴史とともに社会をよく知ることが求められ、多文化が共存するキャンパスであることが不可欠です。

多様な価値観を尊重することの重要性を踏まえ、教職員、学生及び教育研究等について双方向の国際交流を活発化するとともに、多様な背景を持った人の受入れを積極的に推進します。

これらを通して国際性に富んだ人材を育成するとともに、国際交流推進のための環境整備を図ります。

5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。

音楽活動を通じて地域社会から求められる社会貢献活動を行い、地域社会の活性化及び文化力の向上に貢献します。

そのため、地域社会に開かれた大学として、自治体、音楽関係団体、音楽コミュニティ、さらに校友会等との連携及び協働によるコンサート、公開講座、ワークショップ、音楽祭等を活発に展開します。また、自治体、産業界、音楽コミュニティ等の要請により本学の学生及び教職員を積極的に派遣し、魅力ある地域づくりに貢献します。

6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

本学は、2019年4月に中目黒・代官山キャンパスを開校し、従来の池袋キャンパスとの連携の下、機能性、創造性、知的生産性、安全性及びICT環境等を備えた「クリエイティブ・キャンパス」を創出・運営して、教育研究の質の一層の向上を図るとともに、教職協働による働き方改革を積極的に推進し、教職員及び学生が自ら成長し続ける大学を実現します。

また、附属高等学校を池袋キャンパスに移転統合して実効性のある高大接続改革を推進します。

そのため、大学の将来を見据えた経営戦略に基づく財務計画を策定し、中長期的な財政基盤の確立を図ります。

2019年1月11日策定

概要

1. 教育方針 「3ポリシー」(学部)

ディプロマポリシー

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

社会において音楽家として活動するためには、以下の3つの自立を果たすことが必要です。

- 自ら演奏や作品を組み立てることができる。
- 自ら音楽における教育の工夫ができる。
- 自ら音楽活動をする場を作り出すことができる。

これらの自立を実現するためには、以下のことを修得する必要があります。

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身に付けていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域に留まらない教養を身に付け、演奏家、教育者を始め、様々な音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身に付けていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習した事柄を総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

以上の能力を身に付け、所定の単位を取得した者に対して、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

カリキュラムポリシー

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を拡げ、さらに、基礎教育科目で国際人としての広い教養を身に付けることにより、音楽を土台として現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

1. 専攻科目 : 質の高い専門教育を実施し、高度な能力を持つ音楽人を養成します。その実現にあたっては、全専攻での一流の教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実に力を入れています。
2. 専門基礎科目 : 音楽を専門的に学ぶための基礎を固めます。
3. 専門共通科目 : 専攻の枠を超えた音楽的素養を身に付け、その幅を広げます。
4. 基礎教育科目 : 音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

アドミッションポリシー

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

1. 教育方針 「3ポリシー」(大学院)

音楽研究科 修士課程

<ディプロマ・ポリシー>

大学院修士課程においては所定の単位を修得し、かつ以下に示す能力を身に付け、学位審査試験に合格した者に、修士（音楽）の学位を授与します。なお、学位審査試験は修士演奏・修士作品あるいは修士論文（一部専攻においてはこれらの組み合わせ）及び最終試験によって行います。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身に付け、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚を持ち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

<カリキュラム・ポリシー>

器楽専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、楽器の特性、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次にはリサイタル形式の修士演奏を行います。

声乐専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

声乐にとって必要な外国語の能力を獲得し、日本語も含めた正しい発音、発声法、歌唱法に基づく芸術的な表現と言語能力を獲得します。

オペラ研究領域では、朗読、立ち居振る舞い、パントマイム、バレエ等の身体表現を学び、舞台での実践力を修得します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次には修士演奏を行います。

作曲指揮専攻（作曲）

自らの個性的な創作の基盤ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行うことにより、総合的な作曲能力の向上を目指します。

最先端情報処理技術を探求し、進化し続けるマルチメディア環境を学び、その実践に取り組みます。

2年次には修士作品を作成します。

作曲指揮専攻（指揮）

指揮者というものの存在意義を再認識し、高度かつ機能的な技法を学び、深い知識や教養の獲得を目指します。

指揮者として自分を見つめ、自分に必要なことを自ら判断する能力を身につけます。

指揮の技法・音楽的な知識・教養はもとより、広く人間同士のつながりが大切であることを学びます。

2年次には修士演奏としてオーケストラを指揮します。

音楽文化研究専攻（音楽教育）

音楽教育に関わる専門的な知見を身につけ、研究能力と実践力を修得します。

社会における様々な音楽文化活動の展開を可能にする幅広い知識を身につけ応用力を獲得します。

音楽教育、音楽文化活動に関わる課題を設定し、修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻（音楽学）

音楽学研究に必要な方法論を追究します。

演奏や教育、周辺領域を含む広範囲な視座の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（研究者や教育者など）に対応する能力が身につくようにします。

自分の問題意識を明確化し、それに基づいて修士論文を作成します。

概要

1. 教育方針 「3ポリシー」(大学院)

音楽文化研究専攻（ソルフェージュ）

楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の修得を目指します。
 指導法や教材作成など、ソルフェージュ教育に必要な能力を獲得します。
 学生それぞれが目指す将来の職業（教育者や研究者など）に対応する能力が身につくようにします。
 各自の専門実技のさらなる修得に加えて、2年次には修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻（多文化音楽）

日本を含む世界各地の伝統的な音楽文化を理論と実技の両面から専門的に学びます。
 伝統的な音楽文化を生かした新しい音楽文化（作品、演奏、研究など）の創造を目指します。
 2年次には、理論研究に重点を置いた修士論文の作成、あるいは、実技研究に重点を置いた作品や演奏を通じた課題研究の作成により研究の成果をまとめます。

アドミッション・ポリシー

音楽の専門的な研究に必要な基盤を備え、高度な技術、知見、研究能力を持ち、かつ社会の現況と今後の動静に対応できる柔軟な資質と強い意欲を持つ人材を求めます。

音楽研究科 博士後期課程

ディプロマポリシー

博士後期課程では「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」を備えた次のような人材を育成する。

1. 音楽の演奏や創作に関する高度の専門性を有することに加え、総合的な知見をもって文化の進展に寄与する芸術表現を論理的かつ主体的に研究、追求し、かつこれを他分野の人々にも言語化して伝えることを通して社会的・実践的能力を発揮することのできる音楽家、すなわち音楽の実践を行う演奏家並びに作曲家（以下「音楽家」という）。
2. 音楽と教育に関する専門的な知識を修得していることに加え、それらを基盤としながら学際的な研究を行い、かつ音楽教育における実践的スキルと指導法を習得し、教育実践と研究活動をバランスよく遂行しながら、音楽家や音楽学研究者と共同して音楽文化の発展に貢献し、主に高等教育において音楽家や音楽教師の育成に携わる音楽教育者並びに音楽教育学研究者。
3. 音楽に関する深い学識をもって、人間の音楽文化を価値づけることに加え、総合的な知見を有しながら自立して研究を推進し、かつ様々な音楽家や音楽教育者、音楽教育学研究者とも共同して、その成果を社会に発信していく実行力をもった音楽学研究者。

カリキュラムポリシー

学生は専門性、総合性、社会的・実践的能力のいずれをも獲得することが、実社会に出て活動するためには必須である。そのために、本学の博士後期課程のカリキュラムは、「専門研究科目」（選択必修）において専門性を高め、「共同研究科目」（選択必修）においてより広い知見と社会的・実践的能力を養い、「総合研究科目」（必修）においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置している。

アドミッションポリシー

本研究科は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。

博士後期課程においては、修士課程で培った専門的な知識・能力に加えて、総合的な知見と社会的・実践的能力を備えた高度専門職業人（音楽家、音楽教育者）と研究者（音楽教育学研究者、音楽学研究者）の養成を行うこととしている。

音楽研究科の教育研究に関する基本理念は、人間力豊かで広い視野を持ち、音楽に関してより高度な専門性と独創力を有し、国内外で活躍する音楽家、音楽教育者、音楽教育学研究者並びに音楽学研究者を育成することであり、次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学者選抜を行う。

1. 博士後期課程への進学目的が明確な者
2. 専門分野における基礎的・専門的な音楽力及び語学力を身に付けている者
3. 博士後期課程の教育研究目標や研究活動を十分理解し、活用できる者

概要

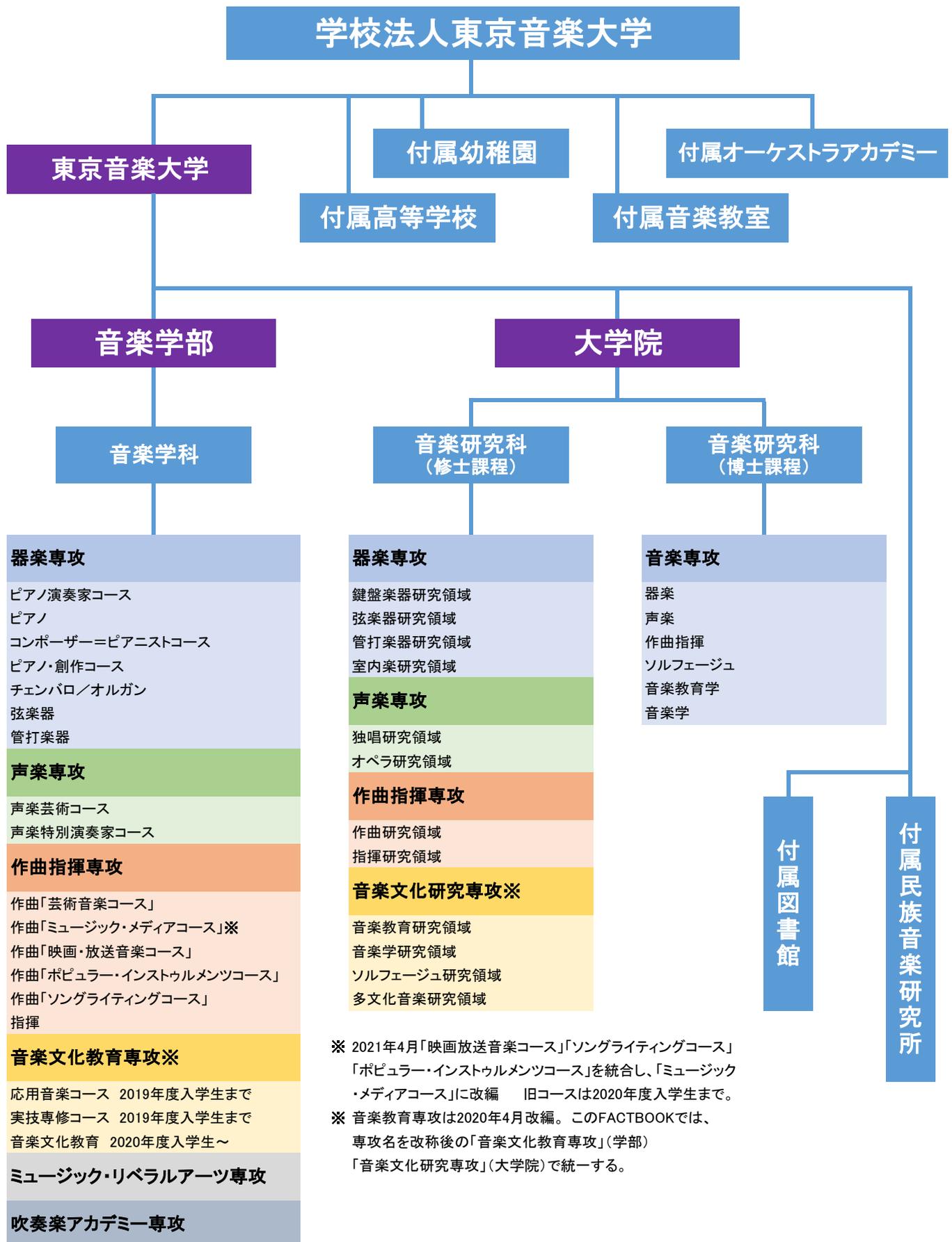
2. 沿革

明治 大正	1907 明治40年 5月	鈴木米次郎、東京市神田区に本学の前身となる東洋音楽学校を創立 現存する私立音楽大学の中で最も古い伝統を有する。 本科と別科があり、ピアノ、オルガン、ヴァイオリン、独唱、作曲を教えた。
	1908 明治41年 9月	管弦楽部設置
	1910 明治43年 3月	東京フィルハーモニー会設立、事務所を本校に設置
	1912 大正元年 4月	卒業生中心の東京オーケストラ団を結成
	8月	東洋汽船会社の地洋丸などアメリカ航路の客船に本校卒業生の楽団が乗船し、20年近く活動を続けた。
	1916 大正 5年 1月	日本の音楽教育機関として初めて雅楽科を開設
1923 大正12年 9月	関東大震災のため校舎全焼 当時池袋にあった成蹊学園（現成蹊大学）の一部を借り、授業再開	
1924 大正13年 11月	北豊島郡高田町大字雑司ヶ谷（現豊島区南池袋）に校舎移転	
昭和	1926 昭和元年 4月	師範科設置
	1930 昭和 5年 11月	現在のB館敷地に鉄筋2階建新校舎竣工
	1937 昭和12年 4月	グルック作曲：歌劇《アウリスのイフィゲニア》を本邦初演（日比谷公会堂）、オーケストラは新交響楽団（現NHK交響楽団）NHKにより全国に中継放送
	9月	演奏旅行（福島、仙台、函館、岩見沢、帯広、池田、網走、北見、旭川、札幌）
	1940 昭和15年 6月	ウェーバー作曲：歌劇《魔弾の射手》を本邦初演（日比谷公会堂） オーケストラは中央交響楽団（現東京フィルハーモニー交響楽団）
	1945 昭和20年 4月	空襲により校舎焼失、終戦後残った鉄筋校舎で授業再開
	1954 昭和29年 2月	東洋音楽短期大学設置認可（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）
	1960 昭和35年 9月	A 館(旧)竣工
	1963 昭和38年 2月	東洋音楽短期大学から4年制の東洋音楽大学に移行設立（声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻） 短期大学学生募集停止（昭和45年3月廃止）
	1965 昭和40年 6月	A 館(旧)施設拡張（ホール、研究室、学生食堂、会議室を増設）
	1969 昭和44年 4月	B 館竣工（11 階建、レッスン室、教室、スタジオ）
	8月	東洋音楽大学から東京音楽大学に名称変更
	1970 昭和45年 4月	目白台学生寮竣工
	1971 昭和46年 4月	声楽専攻にオペラコース新設（平成13年まで）
	1973 昭和48年 5月	附属図書館竣工
	1974 昭和49年 4月	附属音楽教室開設
1975 昭和50年 4月	音楽教育専攻新設	
1975 昭和50年 9月	附属民族音楽研究所開設	
1976 昭和51年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース新設	
7月	東京音楽学校（旧東洋音楽学校）廃止	
平成	1989 平成元年 4月	作曲指揮専攻に映画・放送音楽コース新設 声楽専攻に声楽演奏家コース新設
	1991 平成3年 1月	邦楽研究室棟使用開始
	1993 平成5年 3月	大学院音楽研究科修士課程設置認可（器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、音楽教育専攻）
	1994 平成6年 3月	J 館竣工（スタジオ、レコーディングルーム、教室、レッスン室）
	2004 平成16年 9月	K 館（法人事務室・会議室・研究室）使用開始
	2005 平成17年 4月	作曲指揮専攻にポピュラー・インストゥルメンツコース新設
	2007 平成19年 3月	創立100周年記念本館（A館）竣工
	4月	音楽教育専攻改編（応用音楽教育コース・実技専修コース）
	2011 平成23年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース・エクセレンス新設
	2012 平成24年 4月	作曲指揮専攻にソングライティングコース新設
	2013 平成25年 11月	大学院音楽研究科博士後期課程設置認可（博士（音楽）、博士（音楽教育学）、博士（音楽学））
2014 平成26年 4月	器楽専攻にコンポーザー＝ピアニストコース、ピアノ・創作コース新設	
2017 平成29年 4月	ミュージック・リベラルアーツ専攻新設	
2018 平成30年 4月	声楽専攻改編（声楽芸術コース／声楽特別演奏家コース）	
2019 平成31年 4月	中目黒・代官山キャンパス開校 吹奏楽アカデミー専攻新設	
令和	2020 令和2年 4月	音楽文化教育専攻 改編
	2021 令和3年 4月	作曲指揮専攻のミュージック・メディアコース改編 （映画・放送音楽コース、ポピュラー・インストゥルメンツコース、ソングライティングコース統合）
	2021 令和3年 7月	東京音楽大学オーケストラアカデミー2022年開講決定
	2022 令和4年 4月	TCM学生寮（池袋）開寮

※海外演奏旅行については「グローバル」（3国際交流）に掲載。

概要

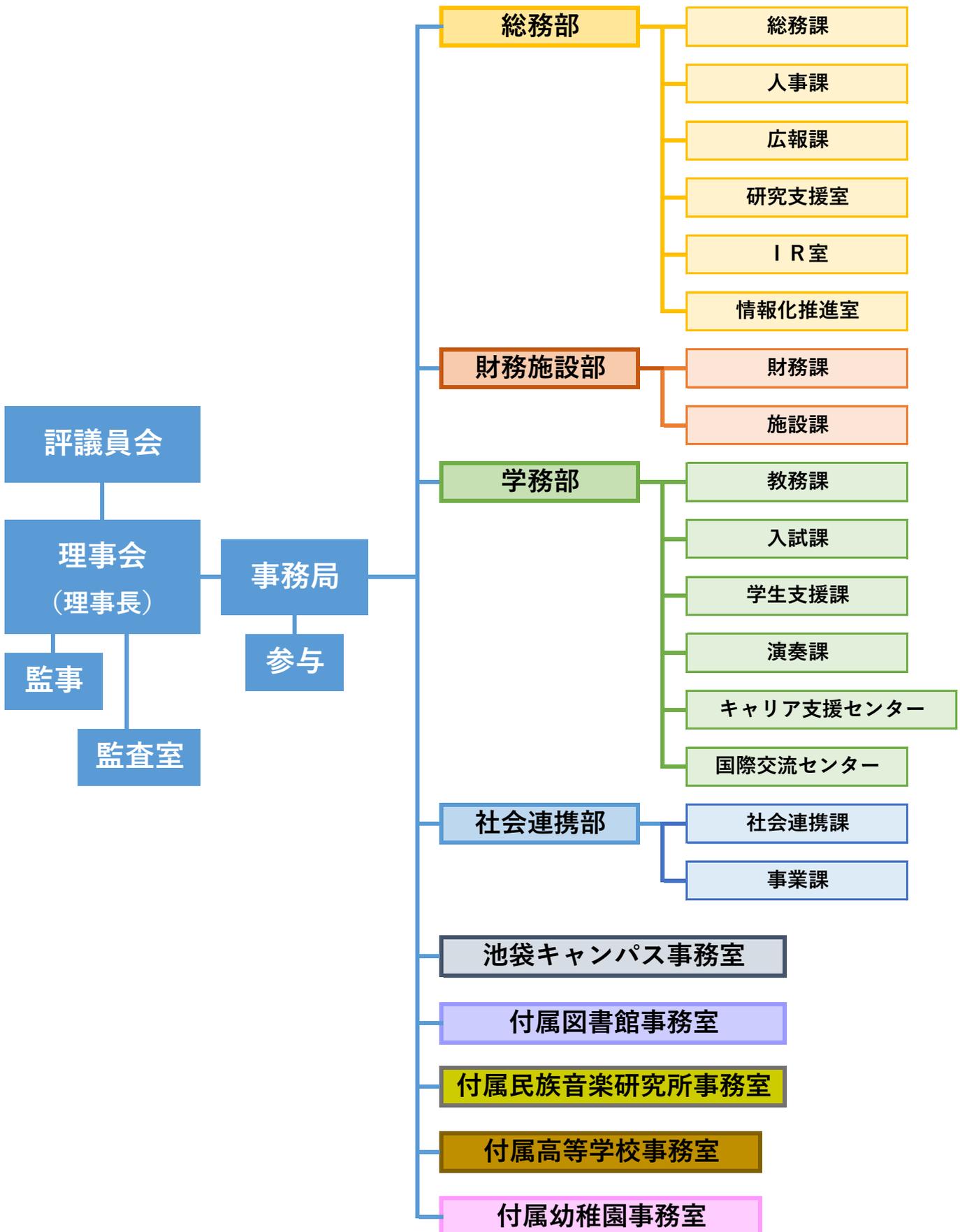
3. 組織 (1) 学校組織図(教育・研究組織)2022年度



※ 2021年4月「映画放送音楽コース」「ソングライティングコース」「ポピュラー・インストゥルメンツコース」を統合し、「ミュージック・メディアコース」に改編 旧コースは2020年度入学生まで。

※ 音楽教育専攻は2020年4月改編。このFACTBOOKでは、専攻名を改称後の「音楽文化教育専攻」(学部)「音楽文化研究専攻」(大学院)で統一する。

3. 組織 (2) 法人・事務組織 2022年度



概要

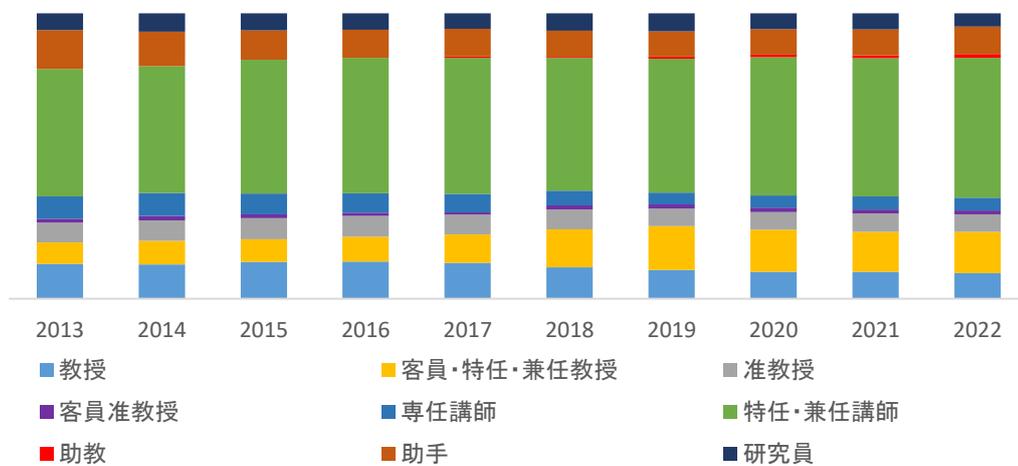
4. 教員・職員 (1) 教員

※教職員数・学生数は各年度5月1日付けの数字。



※大学院・民族音楽研究所所属教員、及び研究員を含む。在籍学生数には学部・大学院とも科目等履修生は含まない。

職位別割合推移



職位別専任教員数・ST比推移

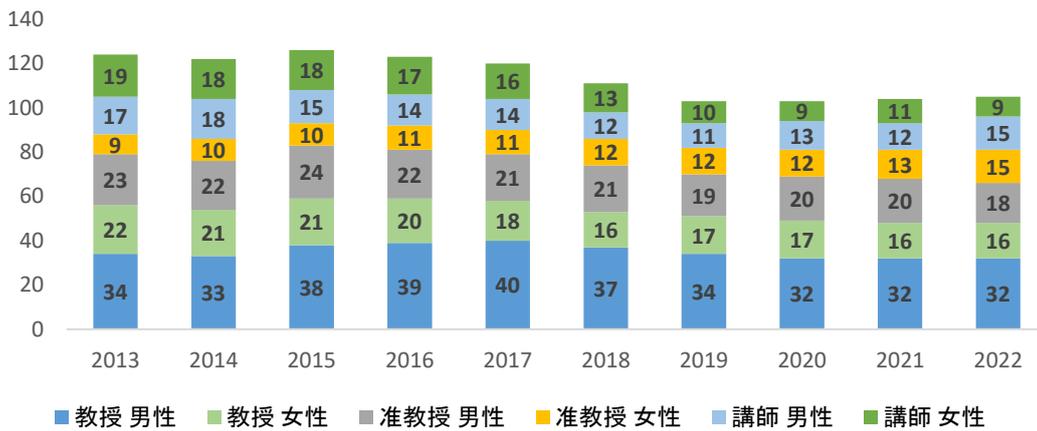


※ST比は専任教員一人当たりの学生数。本グラフでは本学学部・大学院教員数と学部・大学院学生数に基づき算出。

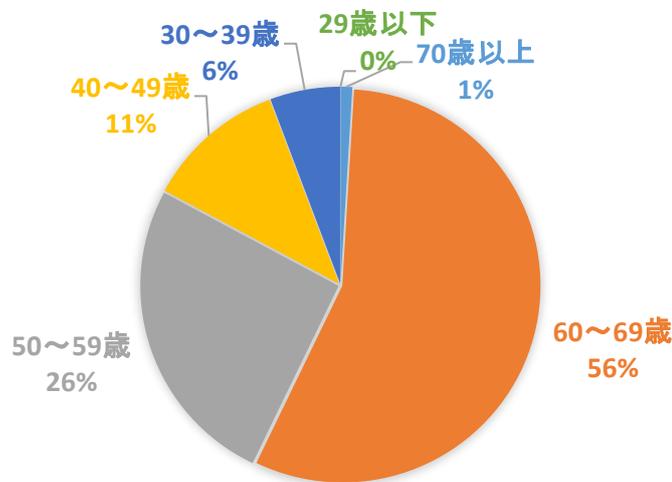
概要

4. 教員・職員 (1) 教員

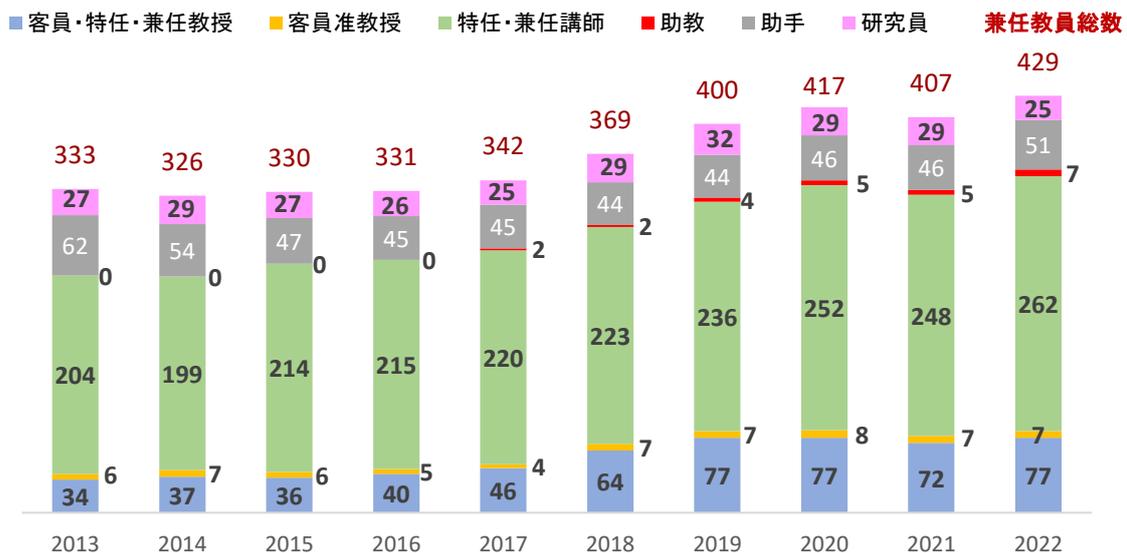
専任教員職位・男女別教員数推移



2022年度 専任教員年齢別割合



職位別兼任教員数推移

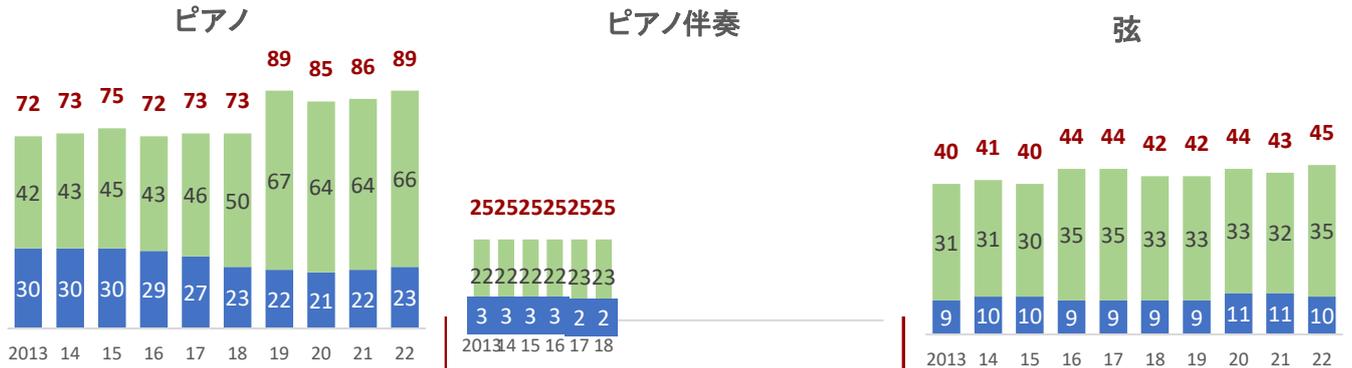


概要

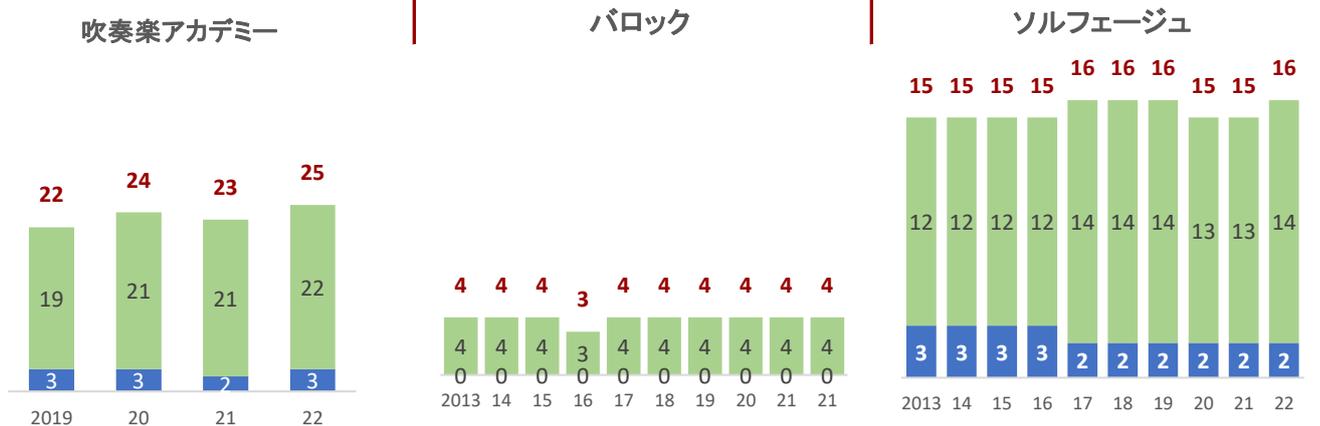
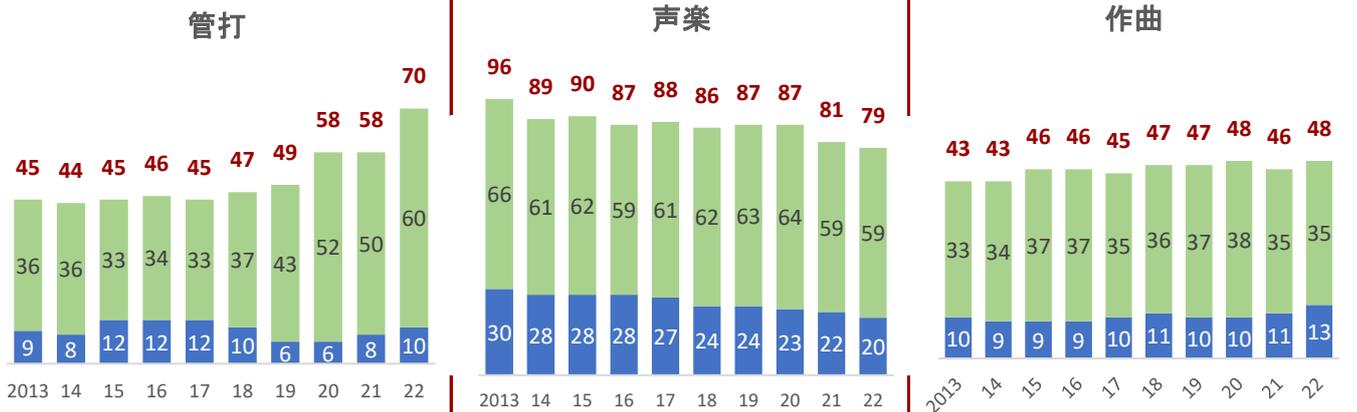
4. 教員・職員 (1) 教員

所属別教員数推移(各所属研究員を含む)

■ 専任教員 ■ 兼任教員 ■ 総数

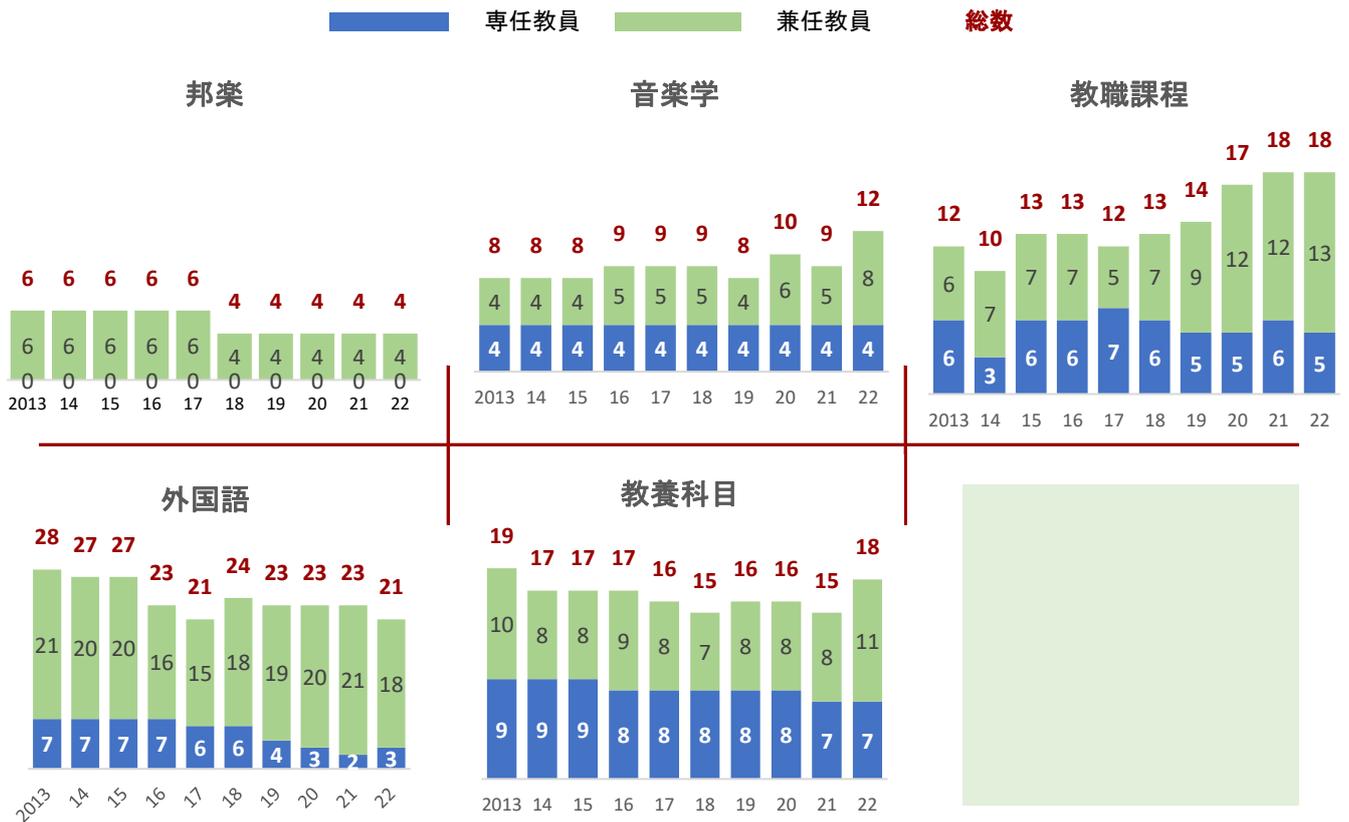


※2019年度～伴奏の教員はピアノの所属となっている。



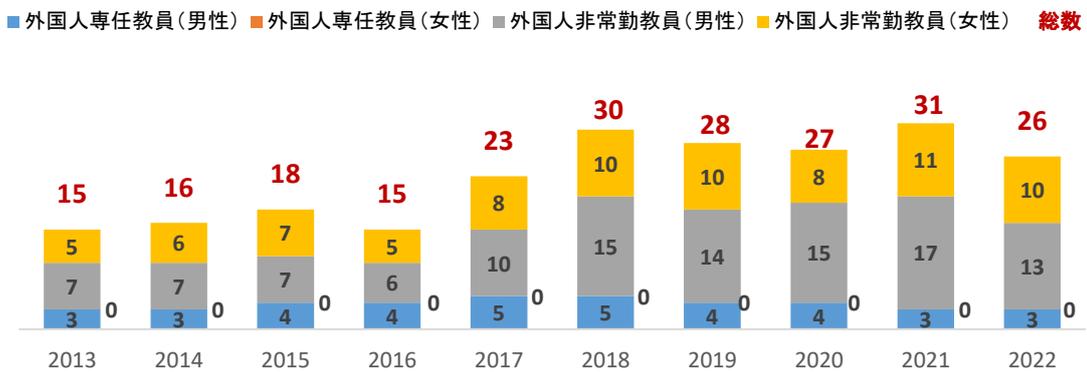
概要

4. 教員・職員 (1) 教員



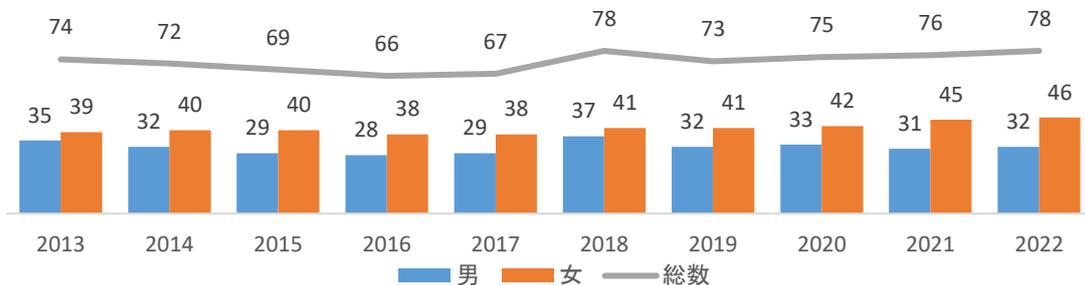
4. 教員・職員 (2) 外国籍教員

外国籍教員数



4. 教員・職員 (3) 職員

専任職員数



概要

5. キャンパス・施設

中目黒・代官山キャンパス

TCMホール(音楽ホール) 422席	
TCMスタジオ(録音・録画)	1
レッスン室	82
教室	20
特大教室	1
練習室	65
コンピュータ室(Windows 30台)	1
コンピュータ室(Macintosh12台)	1
キーボード室(23台)	1
クリエイティブラボ	1
自習室	1
グループ学習室	5
セミナーエリア	1
セミナールーム	2
学生と街のレストラン	1
楽器室	1
カフェ(DEAN&DELUCA)	1
売店(KAWAI)	1

池袋キャンパス

100周年記念ホール(音楽ホール) 806席	
レコーディングルーム	1
レッスン室	49
教室	26
B館スタジオ(大教室・パイプオルガン)	1
J館スタジオ(大教室)	1
練習室	103
B館3階コンピュータ室(Windows 32台)	1
B館4階コンピュータ室(Macintosh12台)	1
J館コンピュータ室(シンセサイザー・PC18組)	1
体育館	1
学生食堂	1
楽器室	1
付属図書館	
付属高等学校	
付属幼稚園	
付属民族音楽研究所	

TCM学生寮

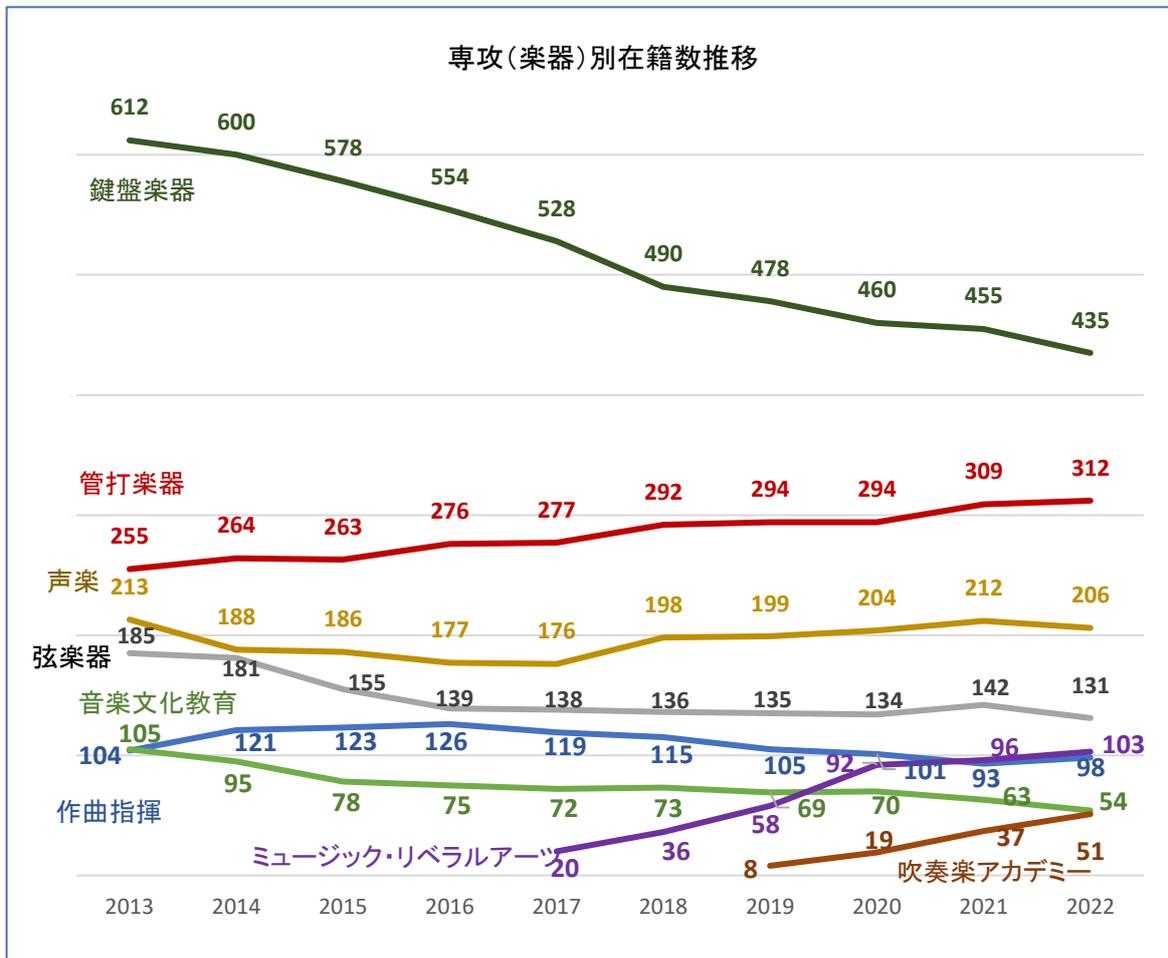
定員	124名
1人部屋	124室

※付属高校生定員20名を含む。

1. 学生数 (学部)

※学生数は各年5月1日付けの数字。

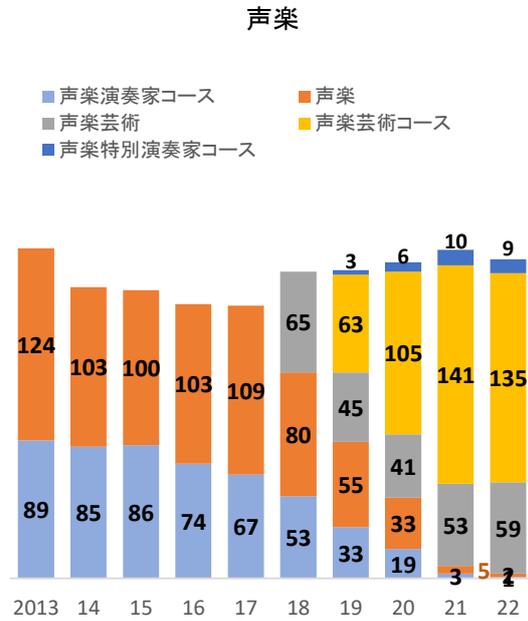
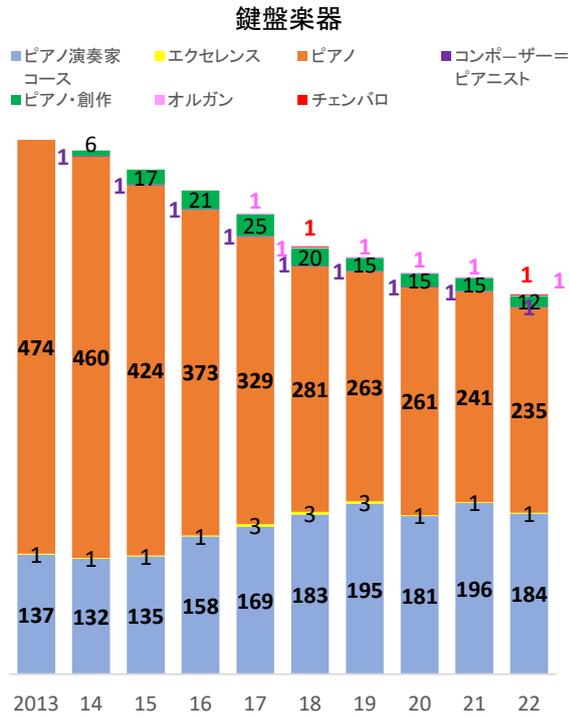
学部在籍数・収容定員充足率推移



鍵盤楽器が大きく減少しているが、ミュージックリベラルアーツで鍵盤楽器を専攻する学生は増えている。2017年度まで減少が続いていた声乐は18年度以降増加傾向にある。2013年度と比較するとほとんどの専攻が減少し、管打楽器と新専攻だけが増加している。専攻のバランスが変化している。

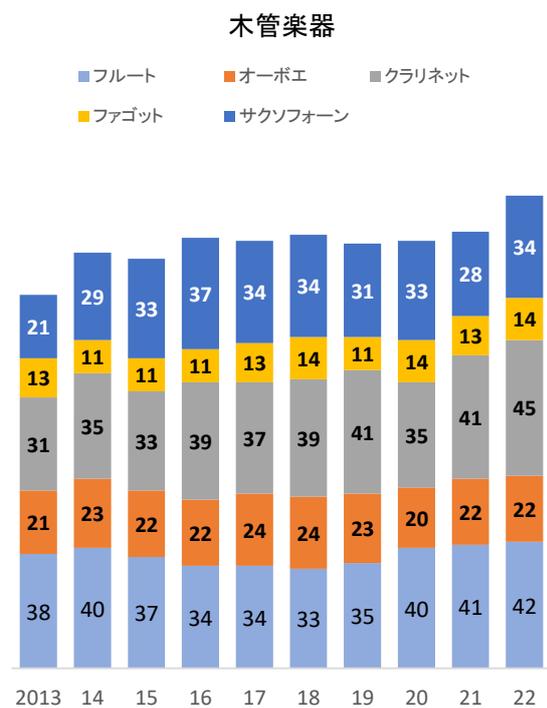
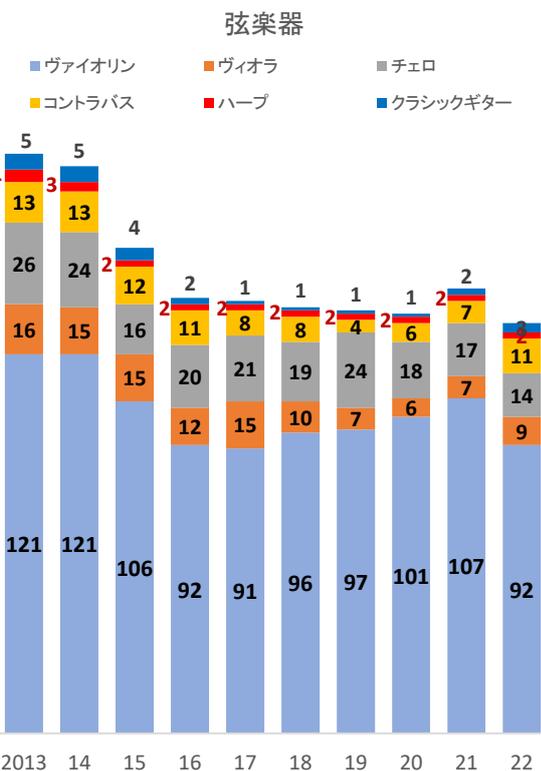
1. 学生数 (学部)

専攻・楽器別在籍数推移



18年度の改編以降増加傾向にある。

学生数の減少とともに、演奏家コースとピアノの学生数の割合が近づいてきている。

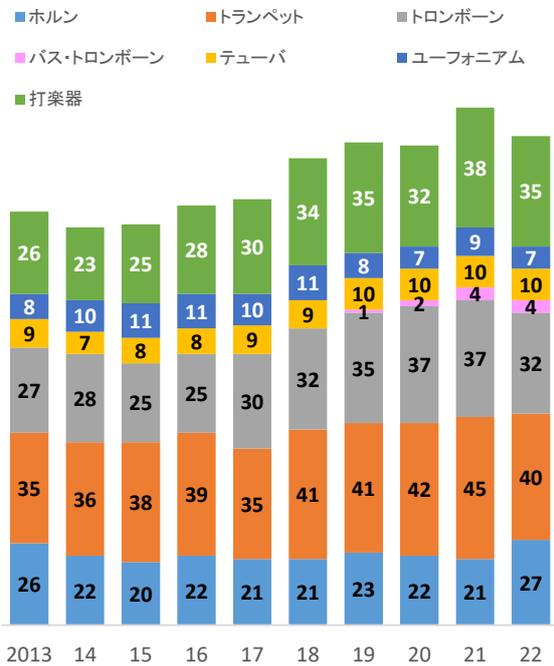


特に減少している楽器はなく、全体として増加傾向にある。

1. 学生数 (学部)

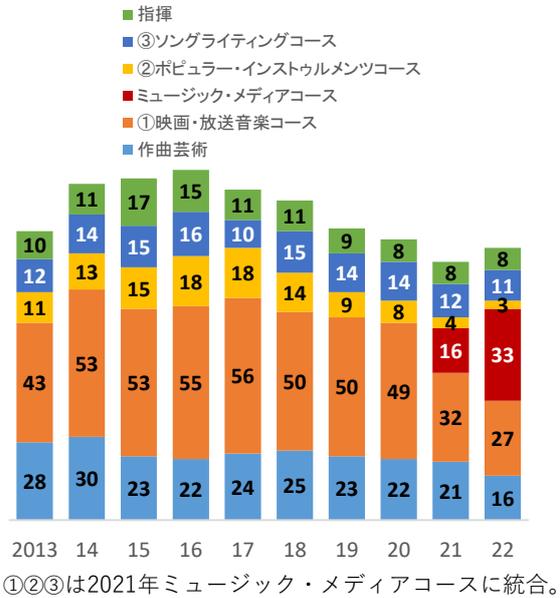
専攻・楽器別在籍数推移

金管・打楽器



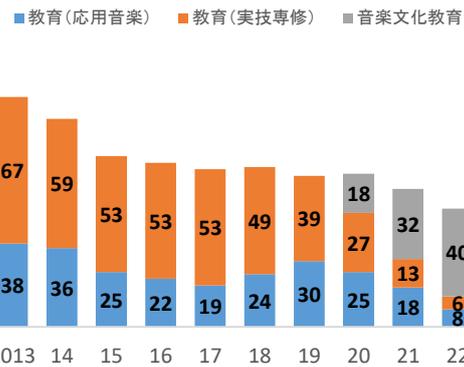
目立って減少している楽器は無く、金管楽器全体として増加傾向にある。

作曲・指揮



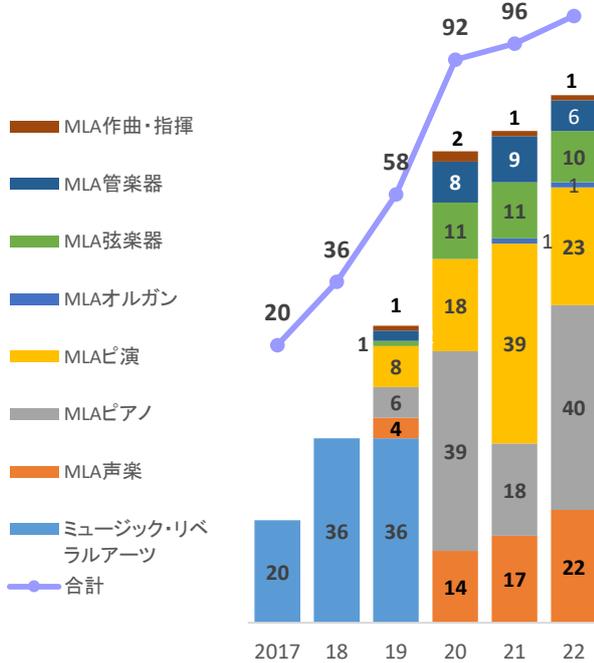
①②③は2021年ミュージック・メディアコースに統合。

音楽文化教育



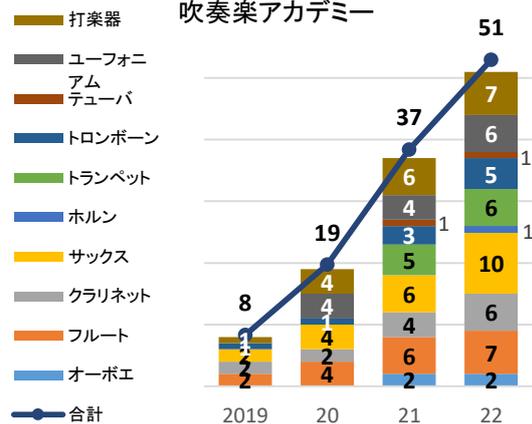
減少の角度は緩やかになってきているが、減少は続いている。

ミュージック・リベラルアーツ



2019年度生から各自専攻に楽器名が入るようになった。

吹奏楽アカデミー



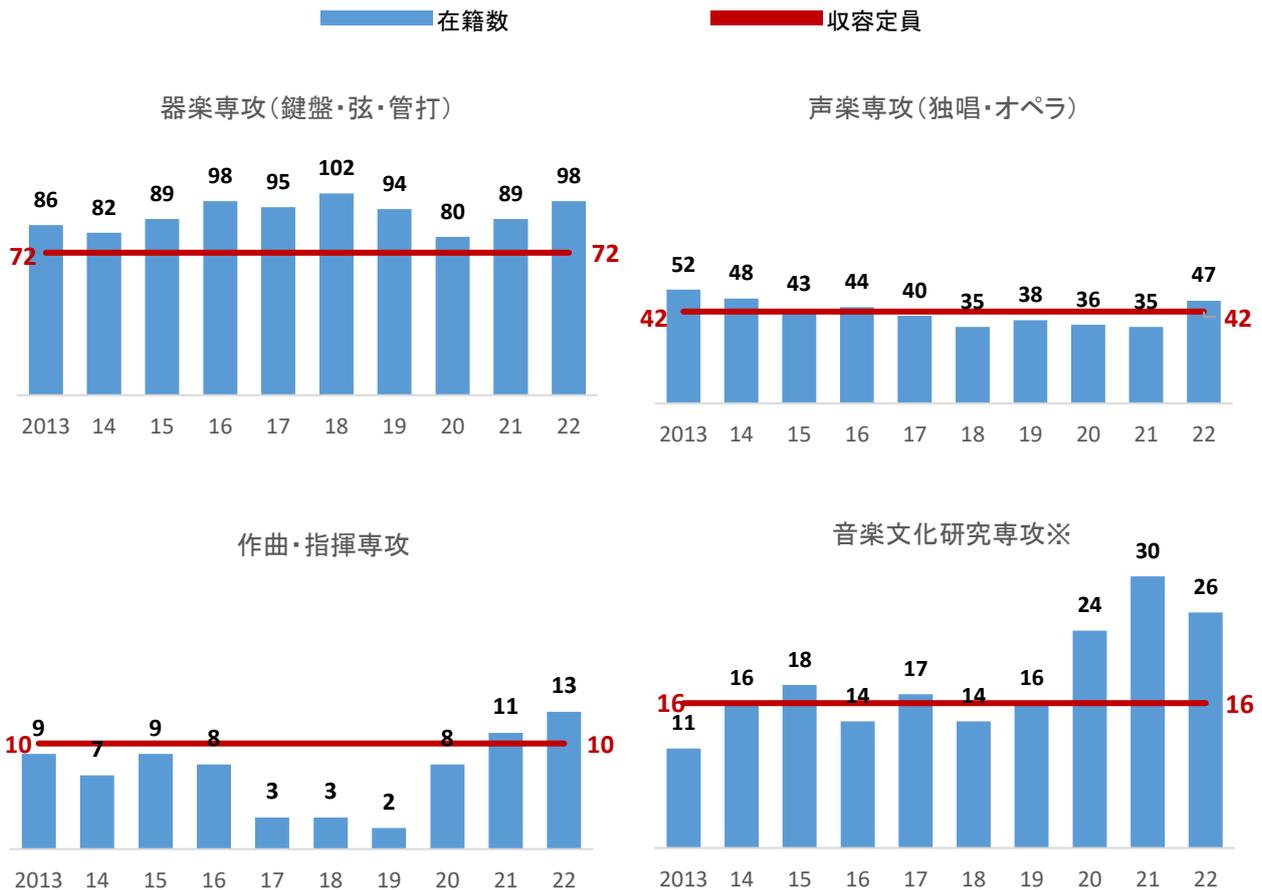
1. 学生数 (修士課程)

大学院修士課程在籍数・収容定員充足率



2016年度以降減少傾向にあったが、2021年度以降増加傾向にある。

修士課程 専攻別在籍数推移

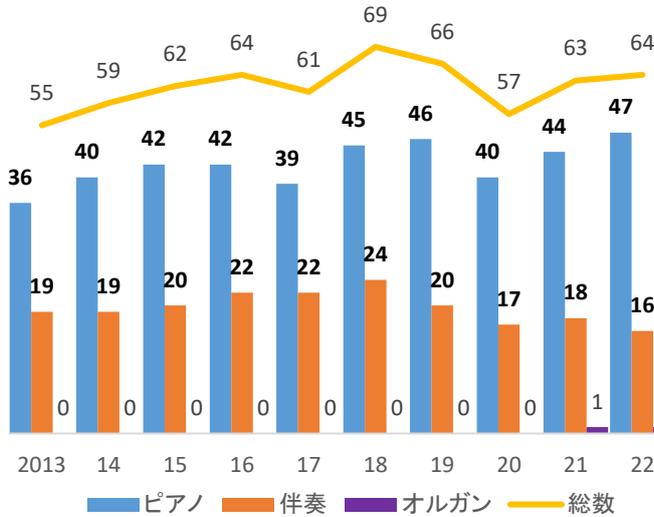


※「音楽教育専攻」は2020年4月「音楽文化研究専攻」に名称を変更。同専攻に「多文化音楽研究領域」を新設。

1. 学生数 (修士課程)

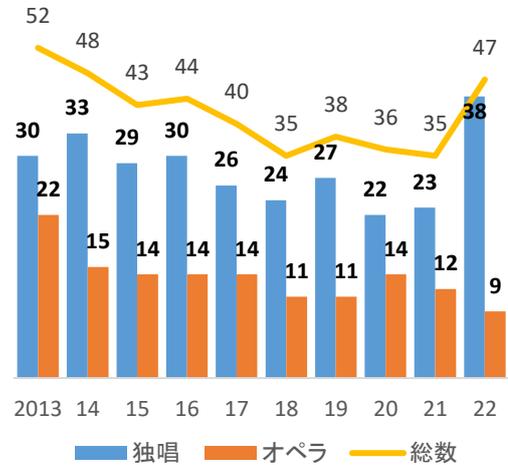
修士課程 研究領域別在籍数推移

鍵盤楽器(ピアノ・伴奏・オルガン・チェンバロ)



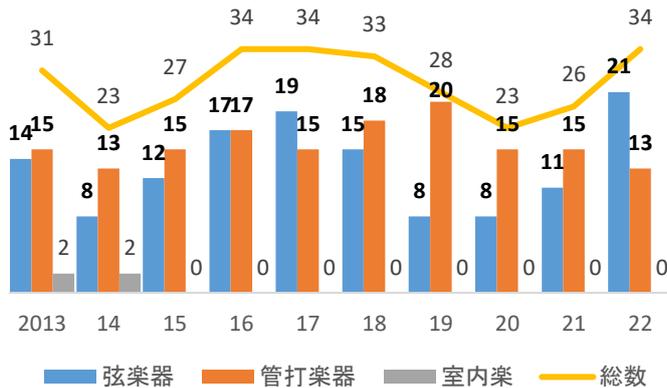
18年度以降伴奏研究領域は減少している。

声楽(独唱・オペラ)



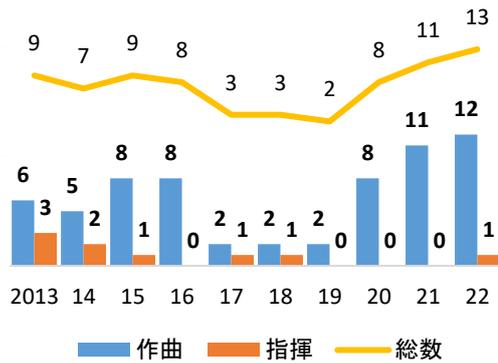
独唱は2022年度入学者増により急増している。

弦管打楽器



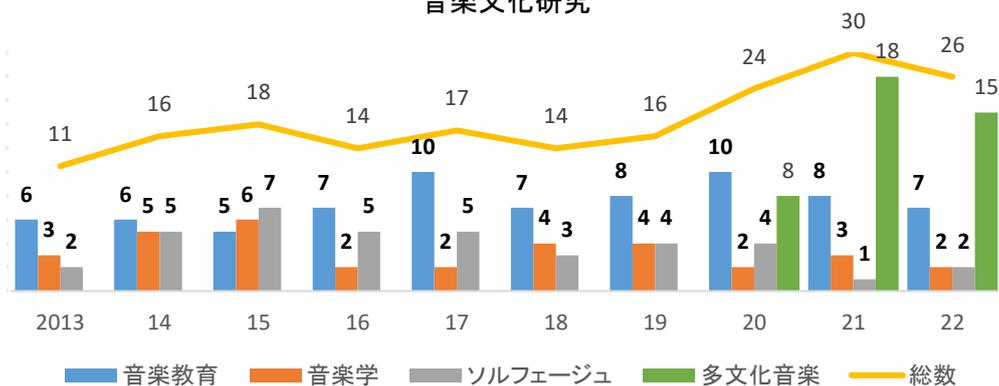
弦楽器は年度によつての差が大きい。

作曲・指揮



作曲はここ数年増加傾向にある。

音楽文化研究



2020年度に新設した「多文化音楽研究領域」は急増している。

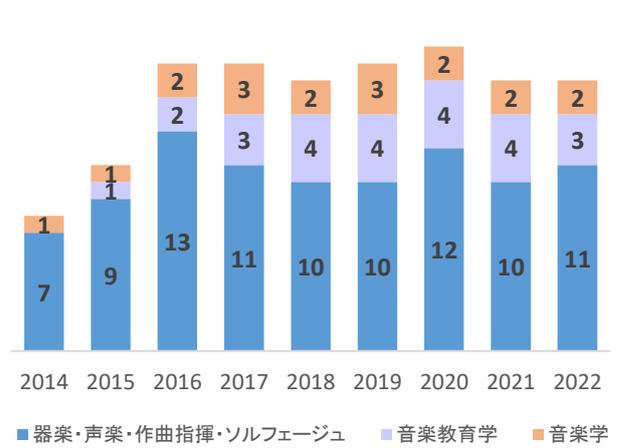
教育

1. 学生数(後期博士課程・科目等履修生)

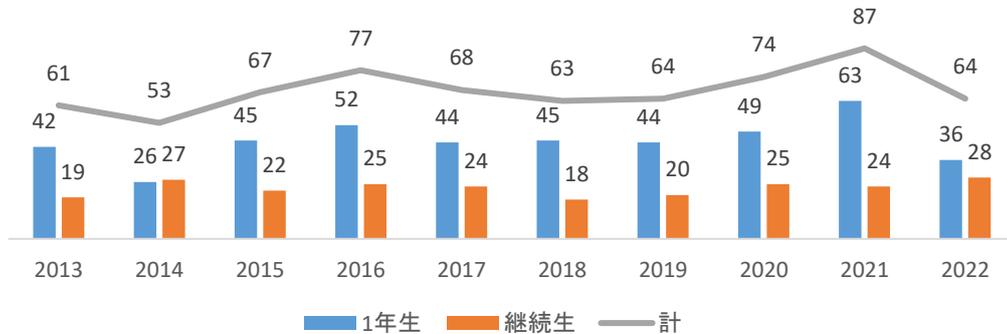
博士後期課程学年別在籍数推移



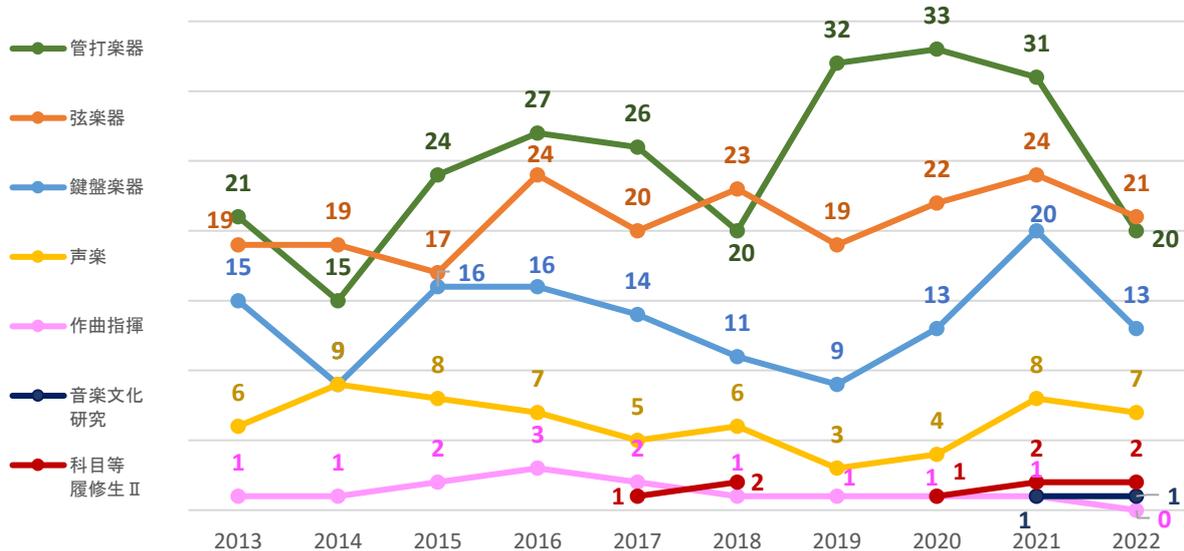
博士後期課程専門領域別在籍数推移



大学院科目等履修生在籍数推移

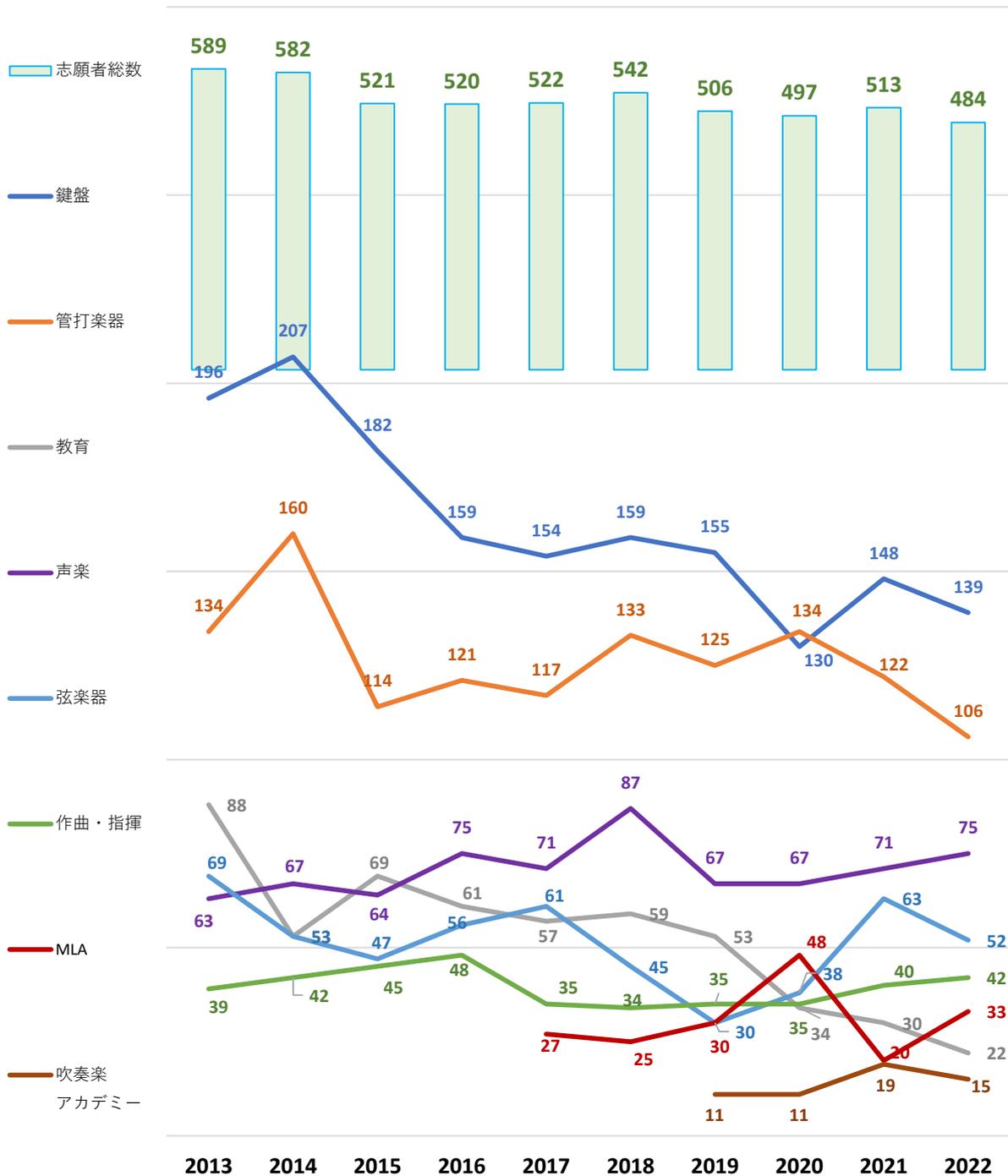


科目等履修生 研究領域別在籍数推移



2. 入試・入学状況 (学部)

入学志願者数推移



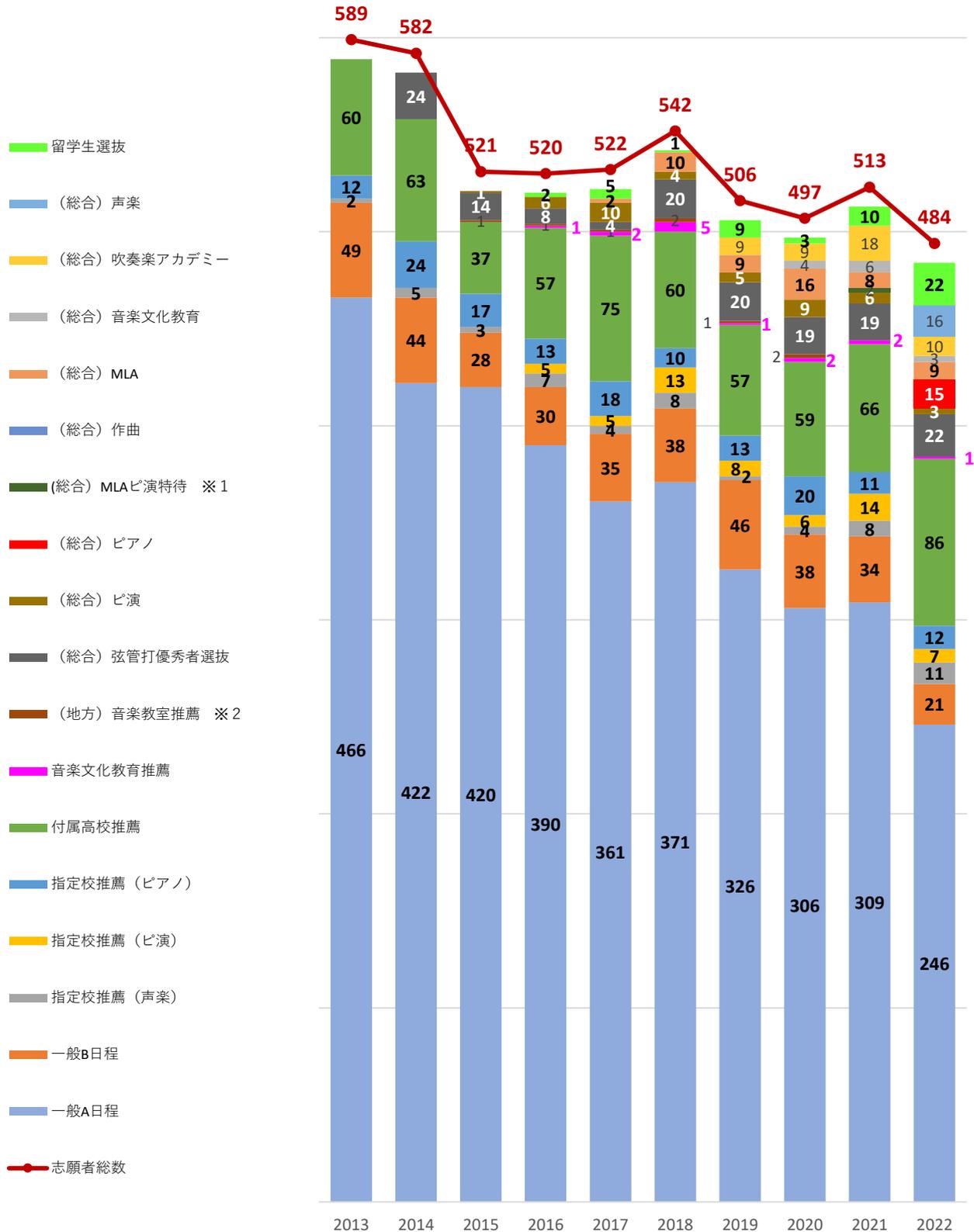
過去10年で志願者数は最も少なくなっている。

今後も18歳人口の減少や、私立音楽大学・私大音楽学部志願者数の減少の影響が出てくる可能性がある。

※巻末資料P100 参照

2. 入試・入学状況 (学部)

入学試験別志願者数推移



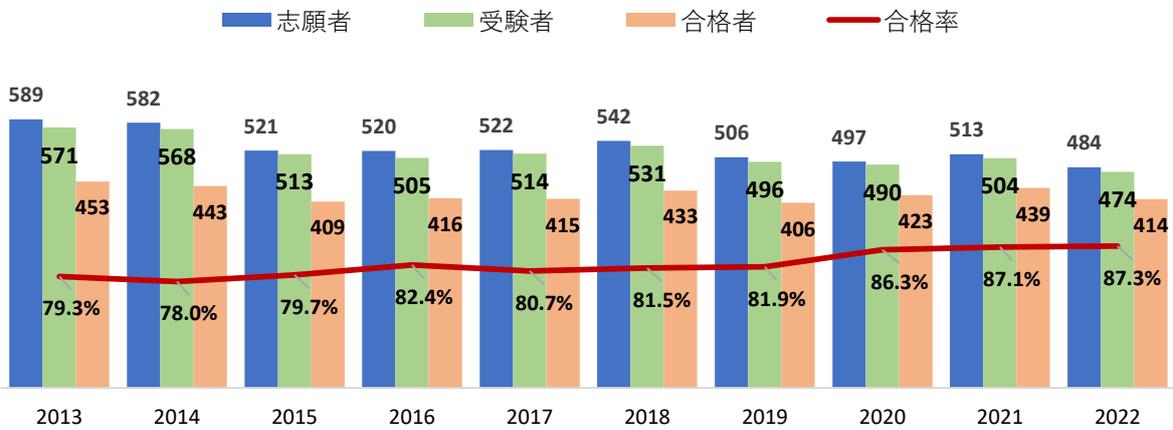
志願者数は減少傾向にある中、一般入試（A・B）以外の志願者の割合が増えている。
凡例項目の※1. 2. については現在実施していない。

2. 入試・入学状況 (学部)

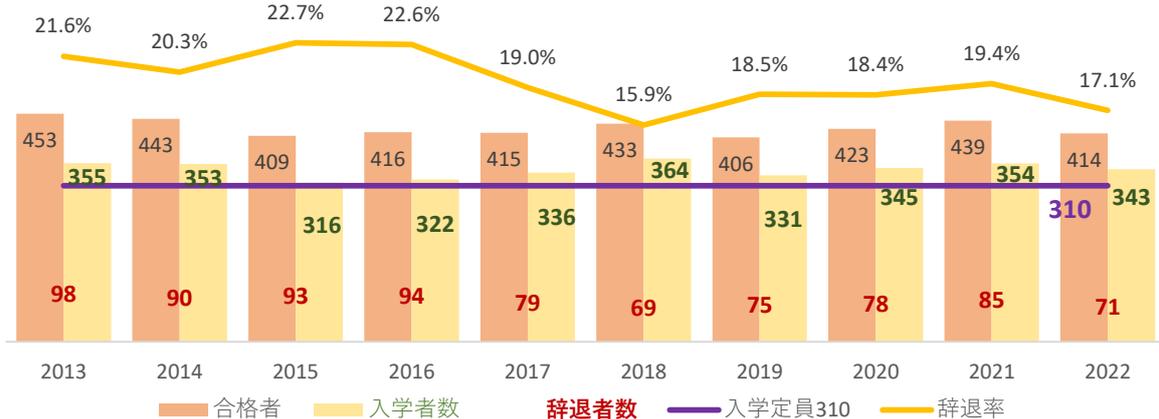
入学試験状況



志願者数・受験者数・合格者数推移



合格者数・入学者数・辞退者数・辞退率



辞退者数は必ずしも合格者数に比例しない。

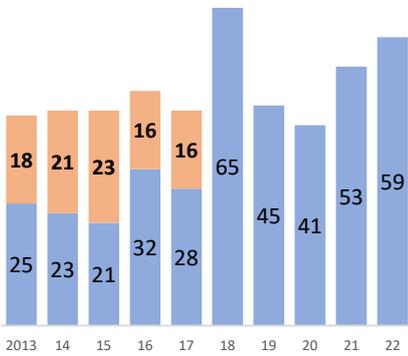
教育

2. 入試・入学状況 (学部)

専攻・コース・楽器別入学者数

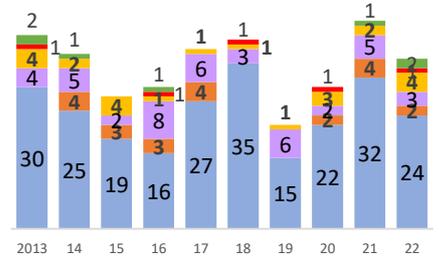
声楽

■ 声楽 (声楽芸術) ■ 声楽演奏家コース



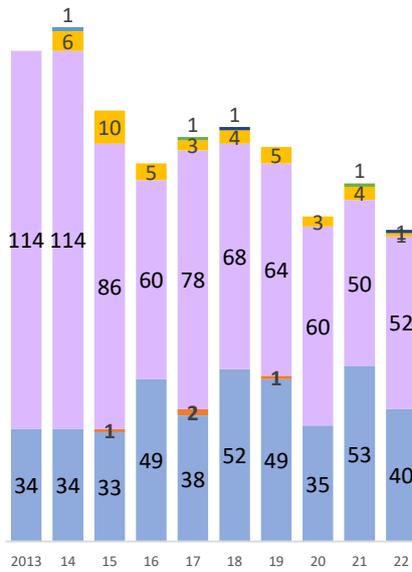
弦楽器

■ ヴァイオリン ■ ヴィオラ
■ チェロ ■ コントラバス
■ ハープ ■ ギター



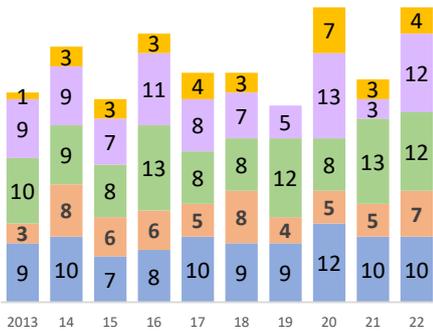
鍵盤楽器

■ チェンバロ
■オルガン
■コンポーザー=ピアニスト
■ピアノ・創作
■ピアノ
■エクセレンス
■ピアノ演奏家コース



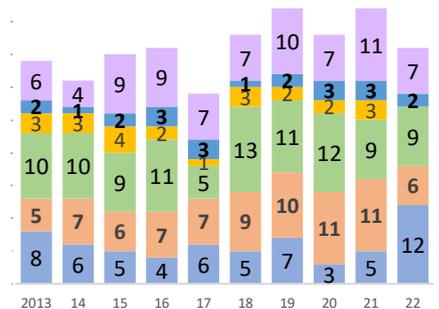
木管楽器

■ フルート ■ オーボエ
■ クラリネット ■ サクソフォーン
■ ファゴット



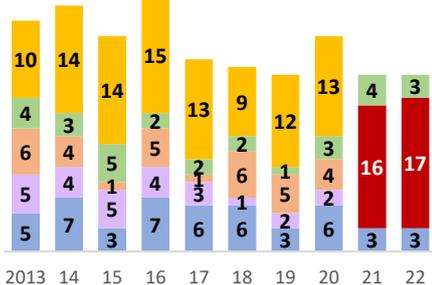
金管・打楽器

■ ホルン ■ トロンボーン
■ トランペット ■ ユーフォニアム
■ テューバ ■ 打楽器



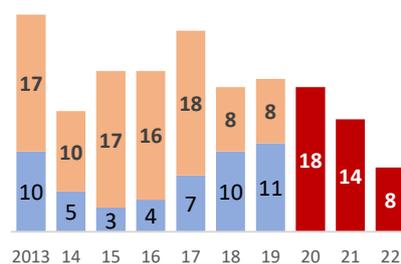
作曲指揮

■ 映画放送音楽コース※1
■ 指揮
■ ソングライティング※3
■ ポピュラーインストゥルメンツ※2
■ ミュージックメディアコース
■ 作曲芸術



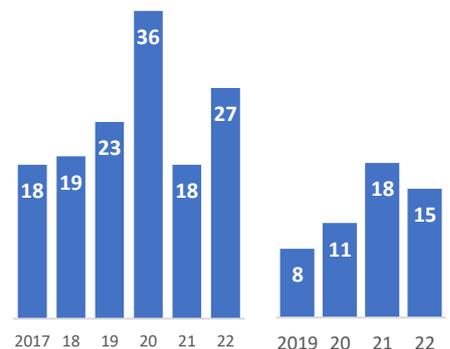
音楽文化教育

■ 応用音楽教育 ■ 実技専修 ■ 音楽文化教育



ミュージック・リベラルアーツ

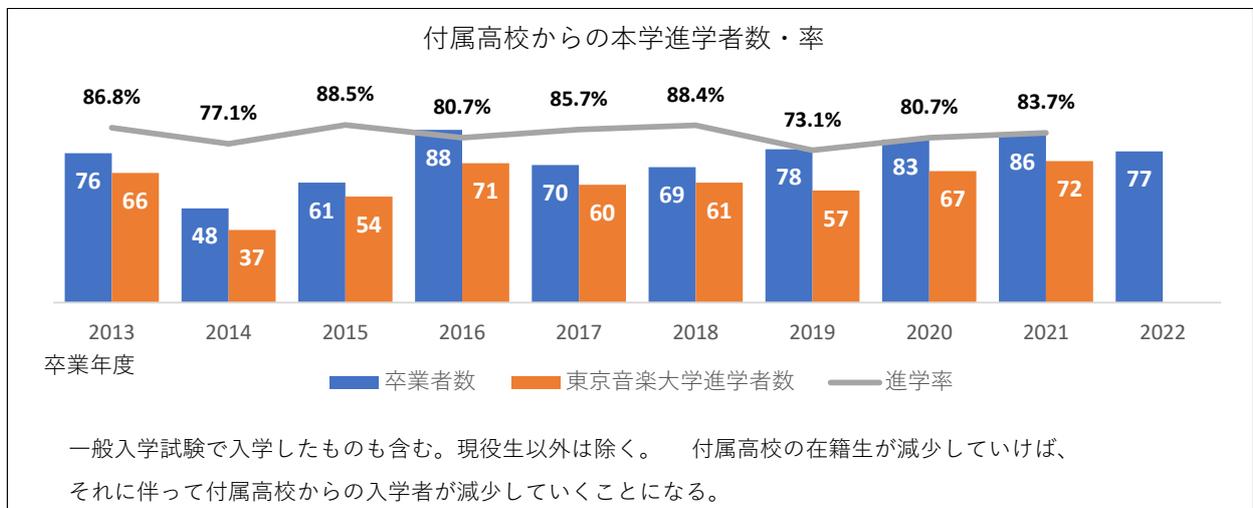
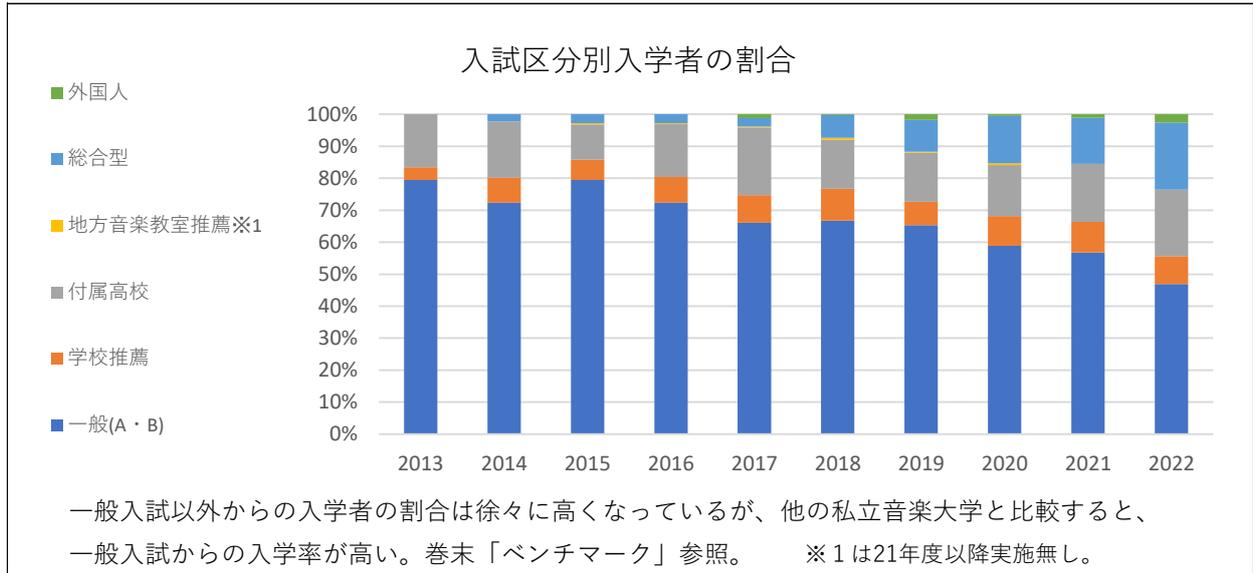
吹奏楽アカデミー



21年度改編により※1, 2, 3は
ミュージック・メディアコースに統合。

20年度音楽教育専攻改変により
音楽文化教育専攻となる。

2. 入試・入学状況 (学部)



	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	計
3年次編入学者	3	2	3	3	5	2	3	2	1	5	29
2年次編入学者			1	4	1	2	2	2	2	0	14
音楽系学部 (短大含)	3	2	4	5	4	2	4	4	3	5	36
一般大学				2	1	2	1				6
その他					1						1

※2年次編入は2015年度開始。

2. 入試・入学状況 (学部)

受験講習会受講者数推移

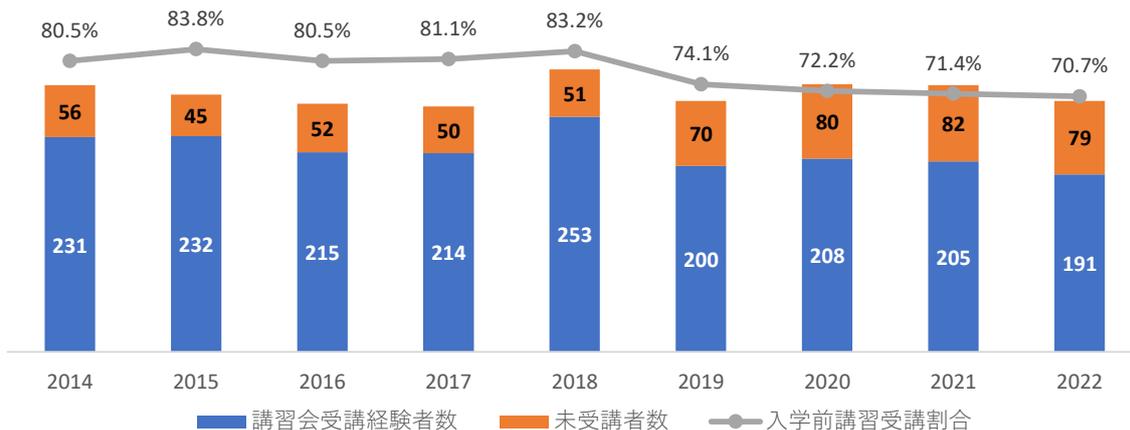


学年別受講生数推移



2013年度以降高校3年生の冬の受講者数が減少しているのは、一般入試以外で冬期講習会前に合格している志願者が増えていることも理由の一つであろう。

本学入学者の入学前講習会受講経験者数 (1~6回)と未受講者数の割合

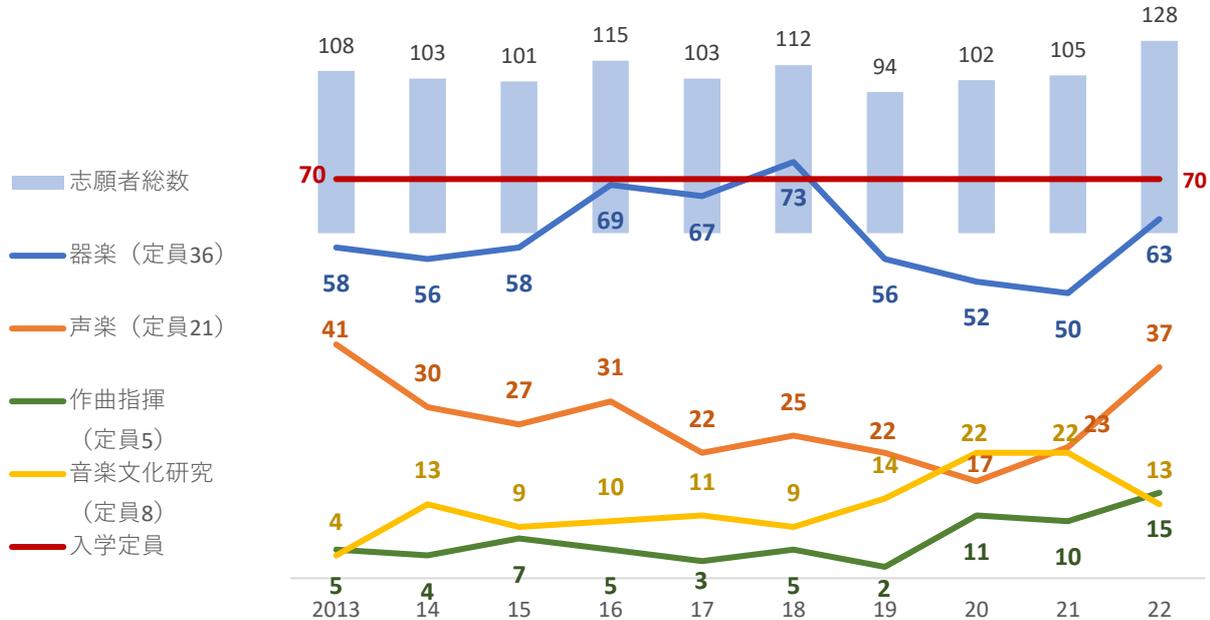


受験講習会を受講して入学してくる学生の割合が下がってきている。

※付属高校出身者は含まない。

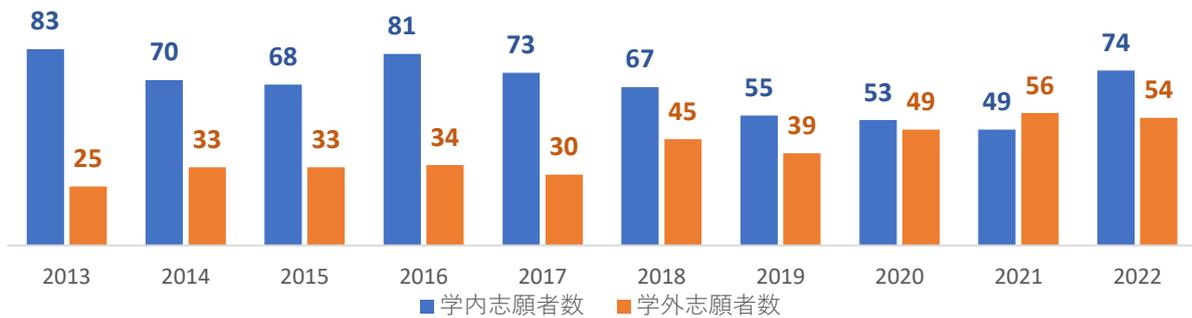
2. 入試・入学状況（修士課程）

修士課程志願者数推移



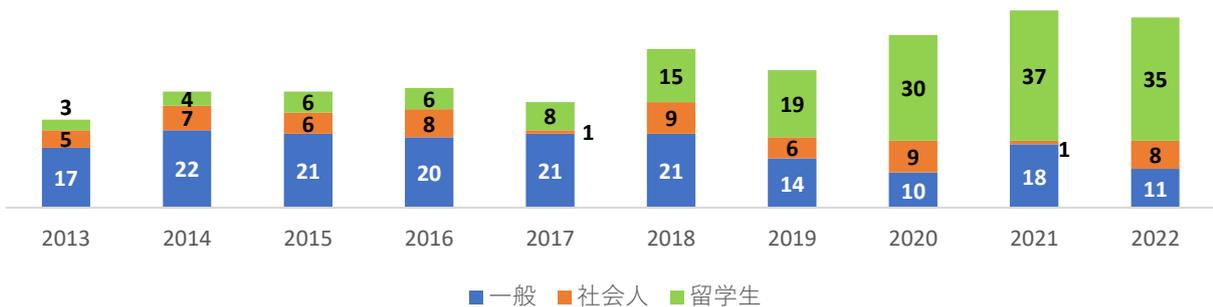
2022年度は器楽と声乐の志願者数が大きく伸びた。音楽文化教育は大きく減少した。

志願者数学内者・学外者の内訳



志願者数全体でも増加傾向にあるが、減少傾向にあった本学出身の志願者数が2022年度大きく伸びた。

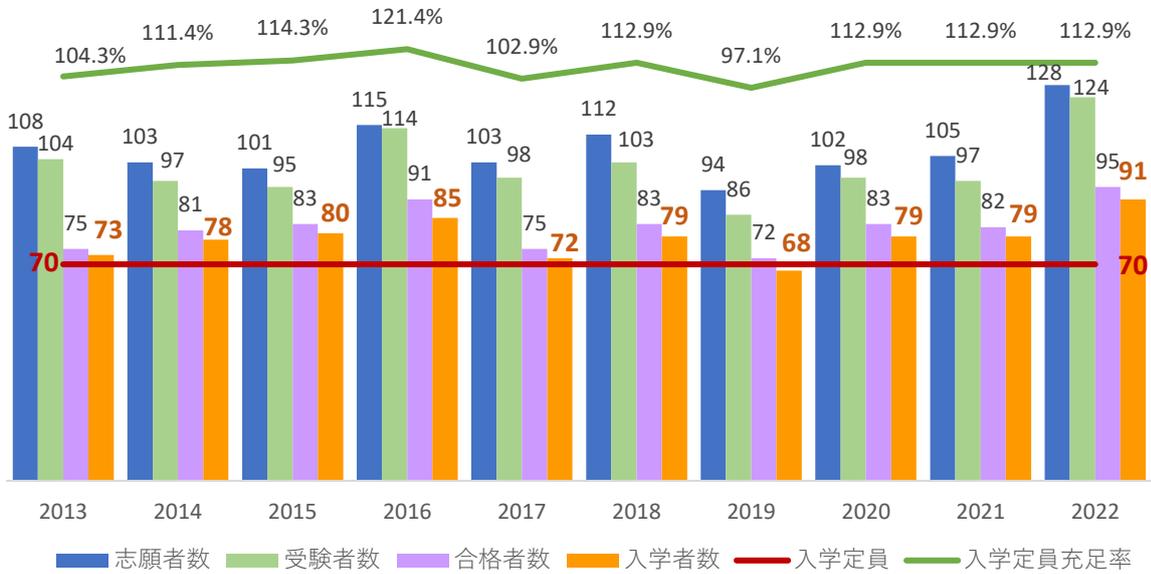
学外志願者の内訳



2017年度以降、留学生の志願者数の伸びが大きい。

2. 入試・入学状況（修士課程）

修士課程入学入学状況

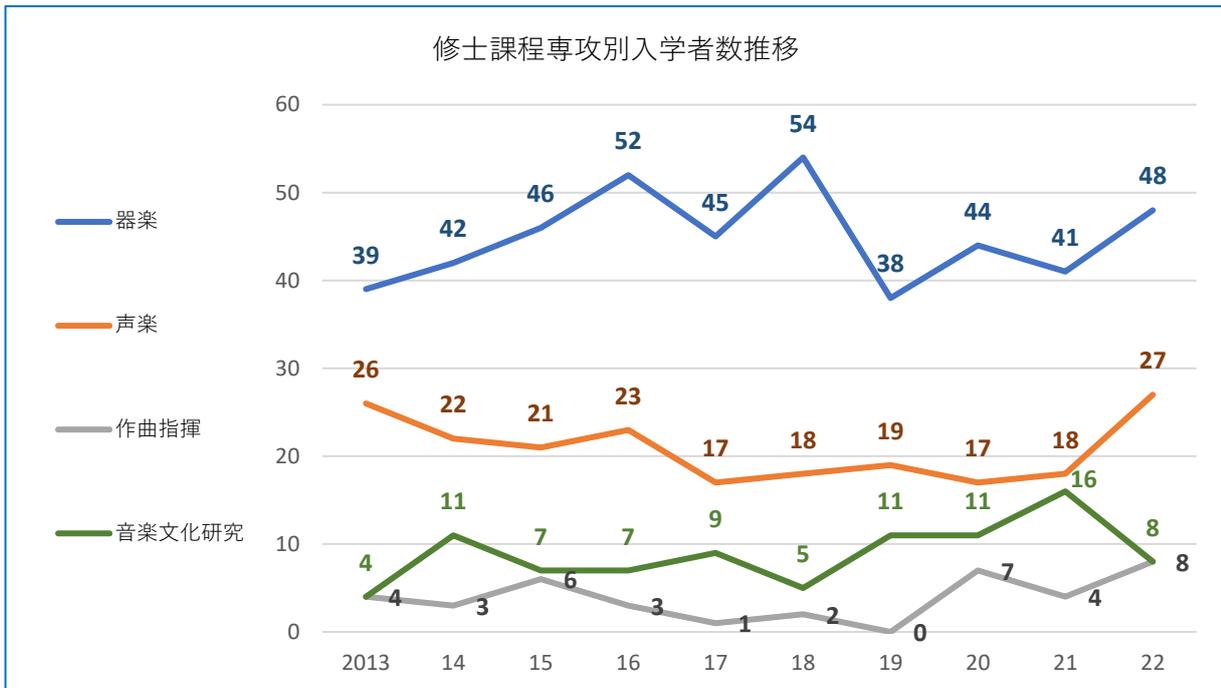


修士課程出身大学分類別入学者数



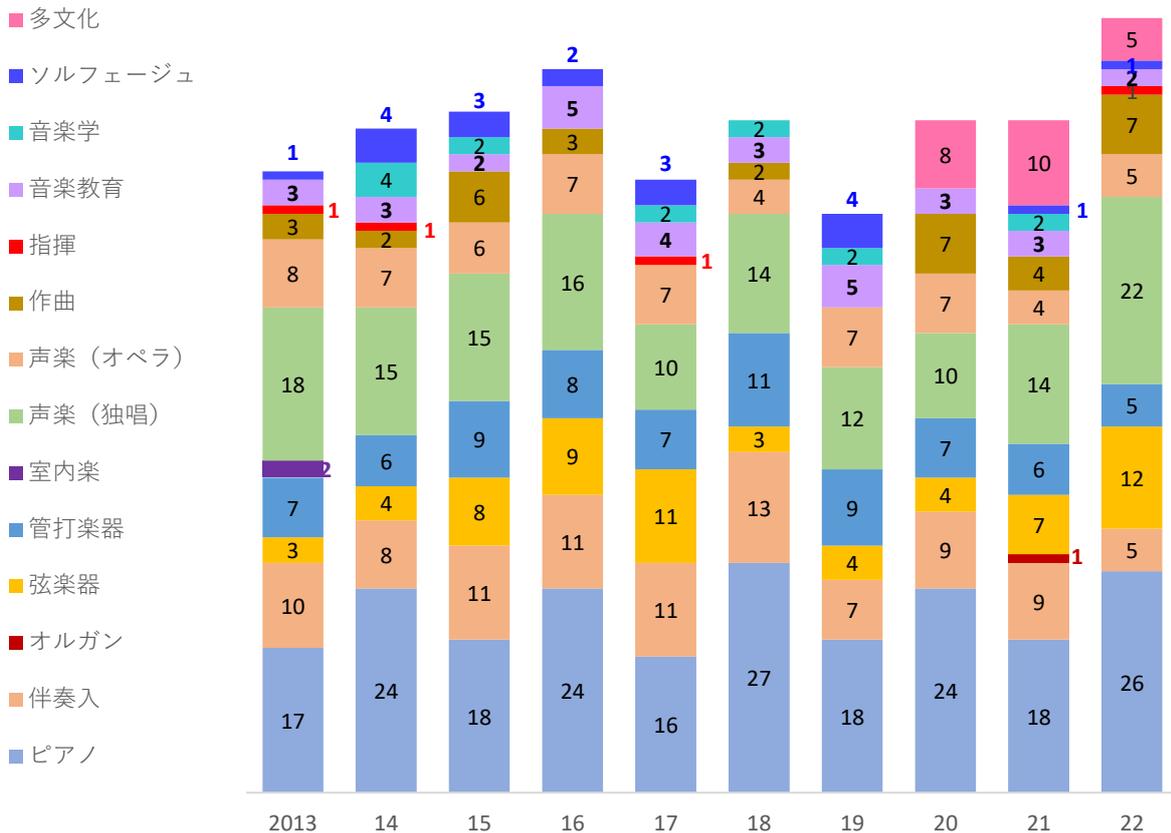
入学者数全体が増加傾向にある中、減少傾向にあった本学出身の入学者数が2022年度大きく伸びた。

2. 入試・入学状況（修士課程）



増加傾向にあった音楽文化研究が2022年度は半減している。

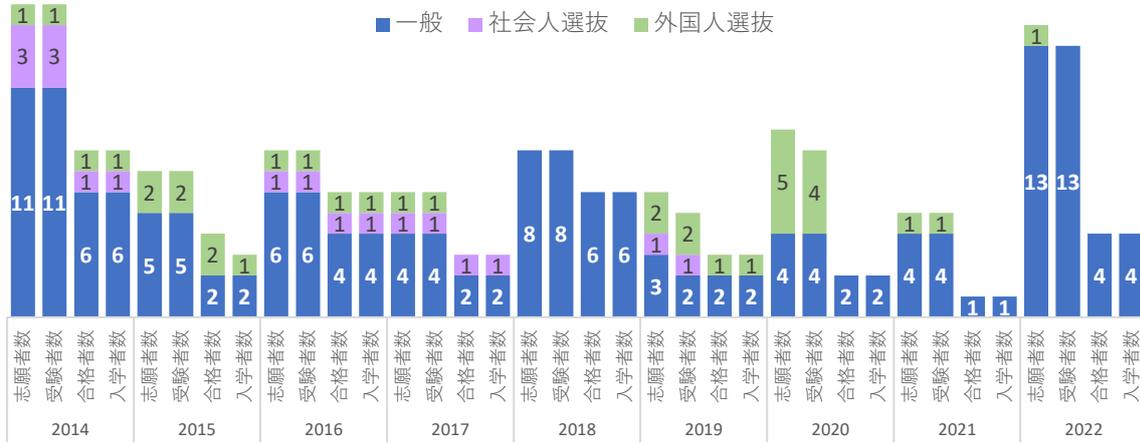
研究領域別入学者数推移



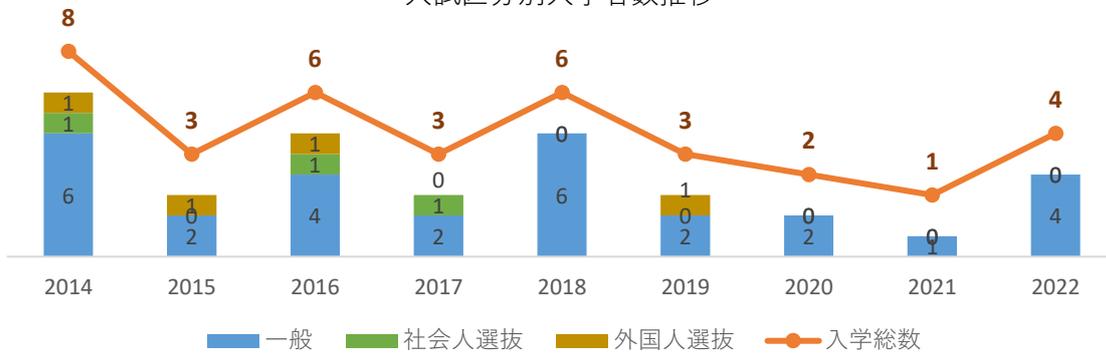
教育

2. 入試・入学状況 (博士後期課程)

博士後期課程入学試験状況

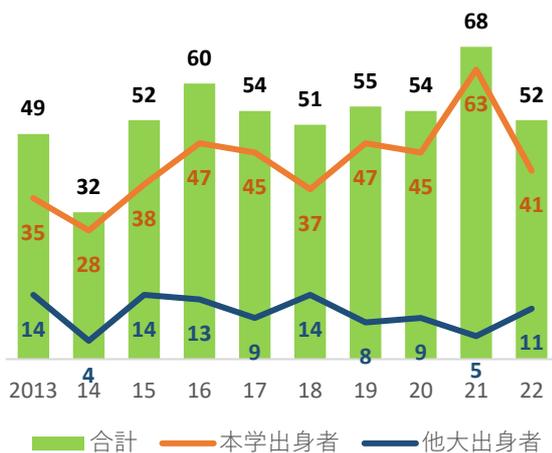


入試区分別入学者数推移

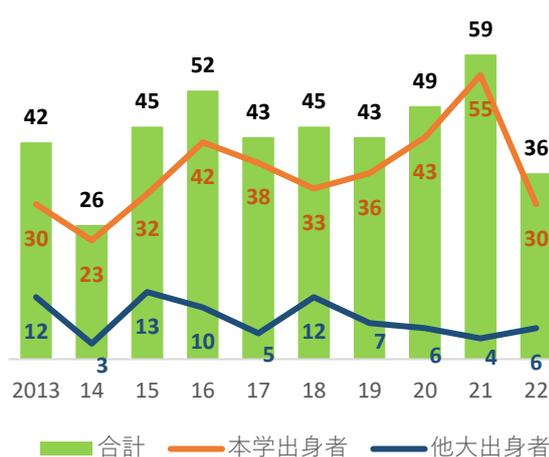


2. 入試・入学状況 (科目等履修生)

科目等履修生志願状況

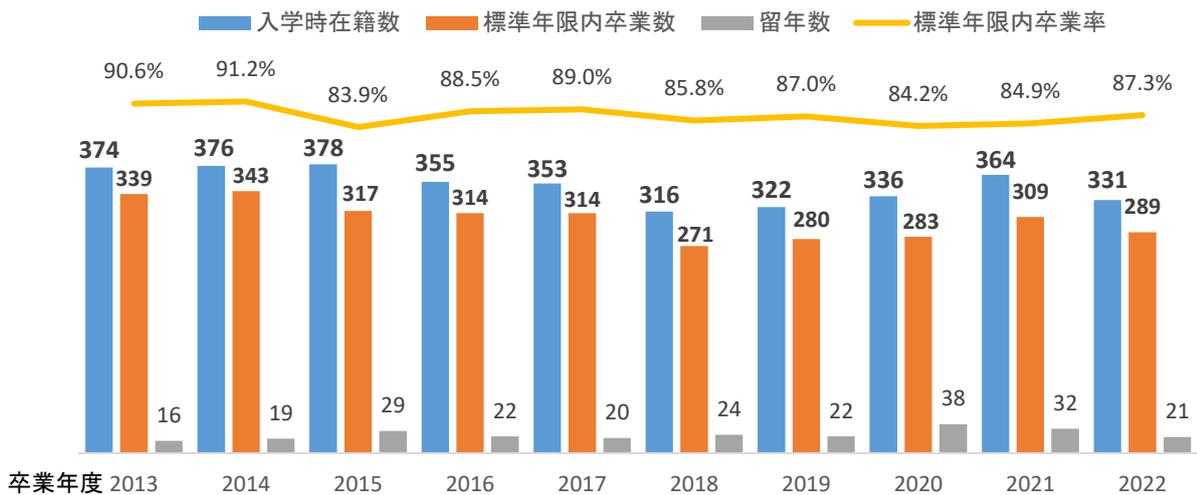


科目等履修生入学状況



3. 卒業・修了(学部)

標準年限(4年)内卒業率(学部)



※編入学者数は含まない。 退学(等)数は表示していない。

専攻別最高学年在籍者(過年度生・編入学生含)の卒業生数と卒業率

専攻	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
声乐	最高学年在籍数	68	49	58	46	48	48	42	52	73	52
	卒業生数	62	45	51	39	39	43	36	43	63	45
	卒業率(%)	91.18%	91.84%	87.93%	84.78%	81.25%	89.58%	85.71%	82.69%	86.30%	86.54%
器楽(鍵盤)	最高学年在籍数	172	154	143	157	164	131	116	124	132	136
	卒業生数	162	146	134	145	159	125	110	108	110	119
	卒業率(%)	94.19%	94.81%	93.71%	92.36%	96.95%	95.42%	94.83%	87.10%	83.33%	87.50%
器楽(弦)	最高学年在籍数	40	56	49	43	42	29	34	40	48	23
	卒業生数	39	52	44	39	36	23	31	33	45	20
	卒業率(%)	97.50%	92.86%	89.80%	90.70%	85.71%	79.31%	91.18%	82.50%	93.75%	86.96%
器楽(管打)	最高学年在籍数	62	65	65	65	65	73	83	65	80	73
	卒業生数	60	61	63	64	58	63	80	58	77	71
	卒業率(%)	96.77%	93.85%	96.92%	98.46%	89.23%	86.30%	96.39%	89.23%	96.25%	97.26%
作曲・指揮	最高学年在籍数	18	27	35	35	34	33	36	29	23	28
	卒業生数	14	23	25	26	26	26	30	22	14	16
	卒業率(%)	77.78%	85.19%	71.43%	74.29%	76.47%	78.79%	83.33%	75.86%	60.87%	57.14%
音楽文化教育	最高学年在籍数	25	35	21	24	15	18	15	23	17	14
	卒業生数	20	32	18	21	14	16	11	20	15	11
	卒業率(%)	80.00%	91.43%	85.71%	87.50%	93.33%	88.89%	73.33%	86.96%	88.24%	78.57%
ミュージック・リベラルアーツ	最高学年在籍数							2	14	20	24
	卒業生数							2	12	18	23
	卒業率(%)							100%	85.71%	90.00%	95.83%
吹奏楽アカデミー	最高学年在籍数										8
	卒業生数										8
	卒業率(%)										100.00%
全体	最高学年在籍数	385	386	371	370	368	332	328	347	393	358
	卒業生数	357	359	335	334	332	296	300	296	342	313
	卒業率(%)	92.73%	93.01%	90.30%	90.27%	90.22%	89.16%	91.46%	85.30%	87.02%	87.43%

※最高学年在籍数は各年度5月1日時点

※2019年度早期卒業生3名は除外。

※各年度9月卒業生数を含む。

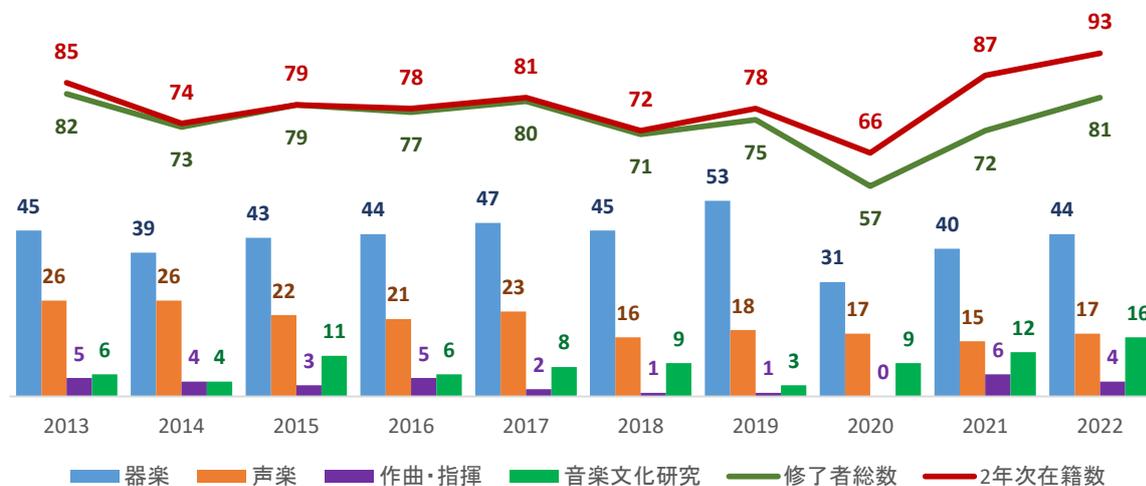
3. 卒業・修了 (大学院)

大学院修士課程標準年限(2年)内修了者数・率

入学年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
入学数	84	73	78	80	85	72	79	68	79	79
中途退学数	1	1	0	2	4	0	4	4	2	0
中途退学率	1.20%	1.40%	0%	2.50%	4.70%	0%	5.10%	5.88%	2.53%	0%
修了年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
標準修業年限内修了者	81	72	78	77	79	68	72	55	65	72
留年数	2	0	0	1	3	4	3	9	12	7
標準修業年限内修了率	96.43%	98.63%	100.00%	96.25%	92.94%	94.44%	91.14%	80.88%	82.28%	91.14%

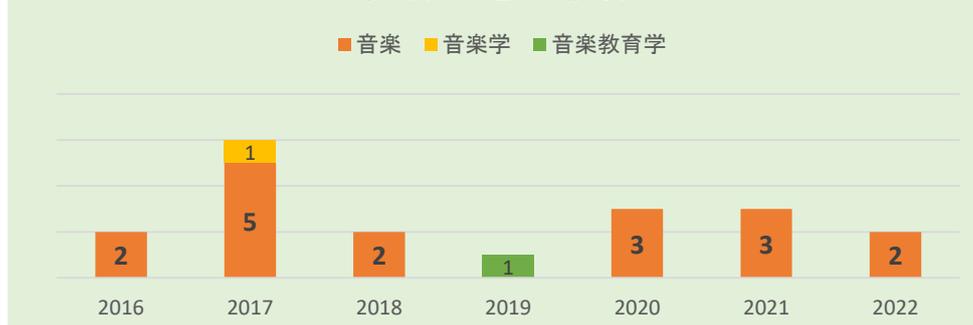
※過年度生を含まない。

修士課程修了者数



※過年度生を含む。

博士後期課程学位授与数

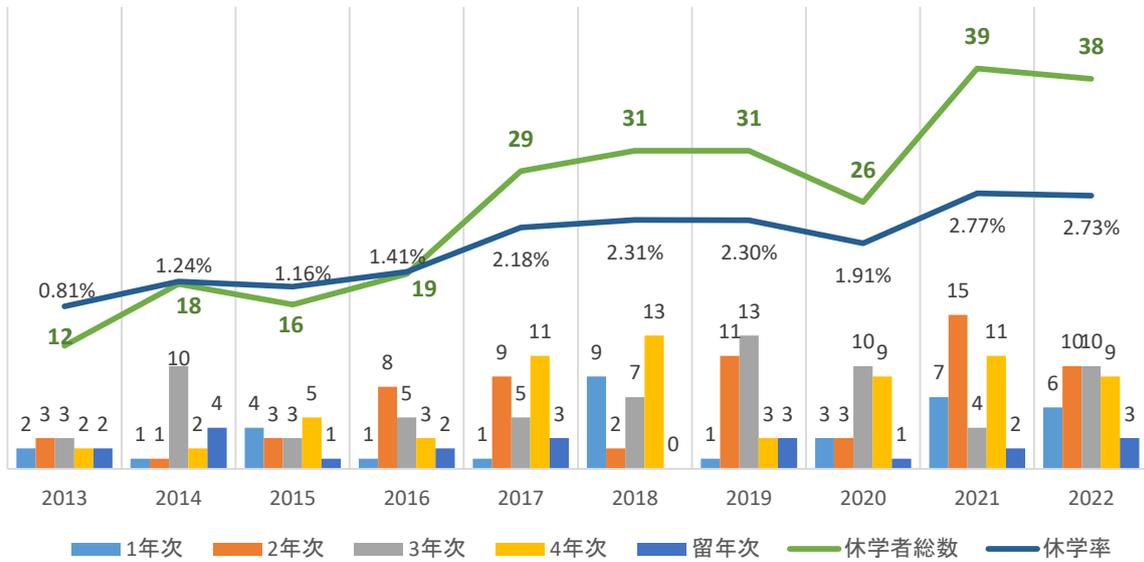


4. 休学・退学 (学部)

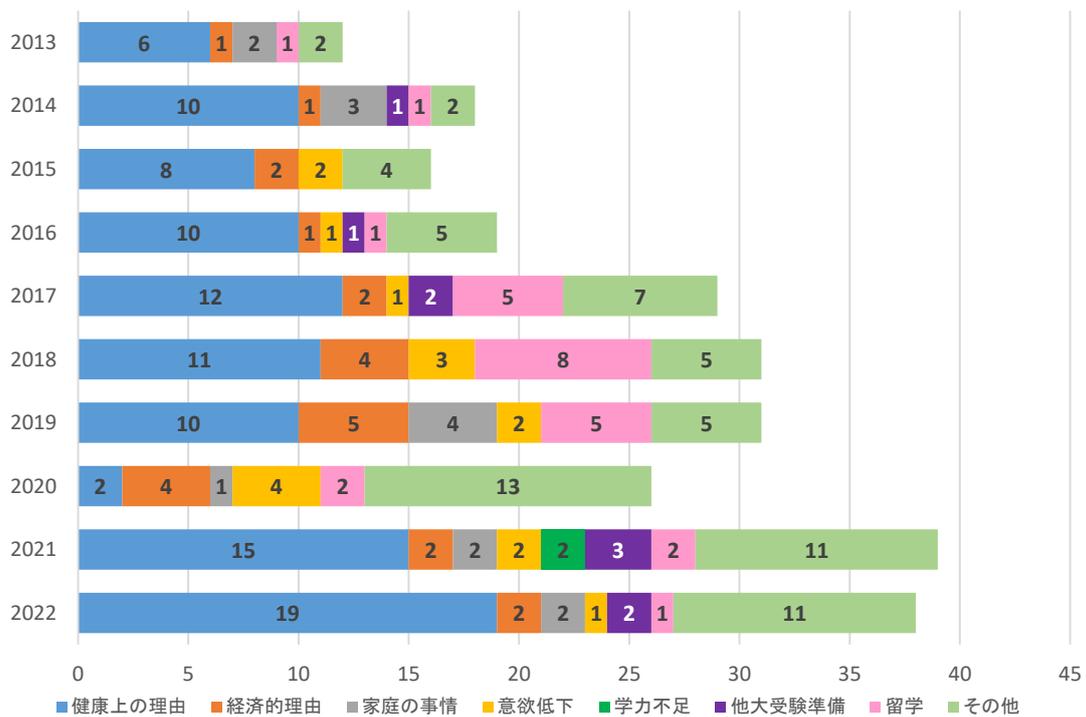
休学

※休学率 = 休学者数 ÷ 在籍数 (各年度5月1日付)

年度・年次別休学者数・休学率(学部)



休学理由の割合



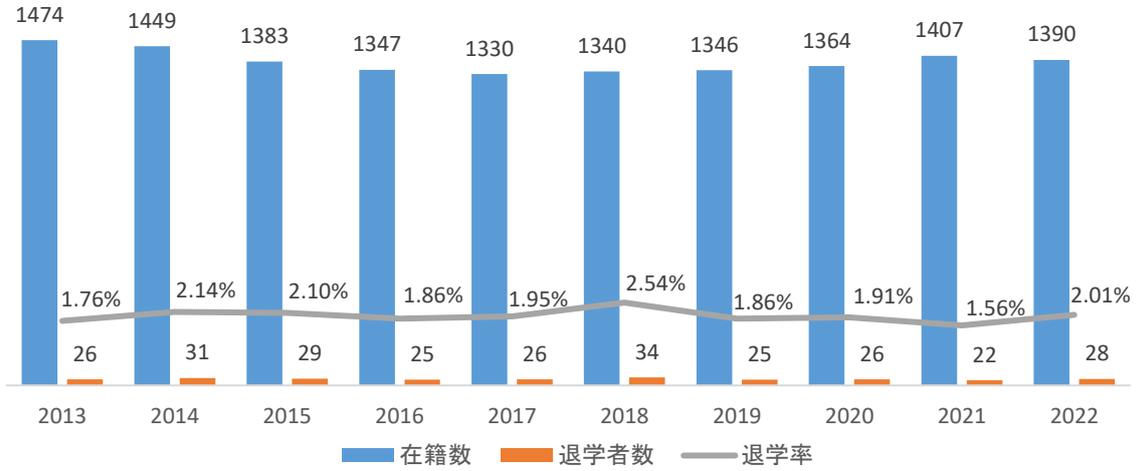
※2020,21,22年度の休学者の内「その他」には、コロナ禍を理由に休学した計17名を含む。

※「その他」には進路変更再考者を含む。

4. 休学・退学(学部)

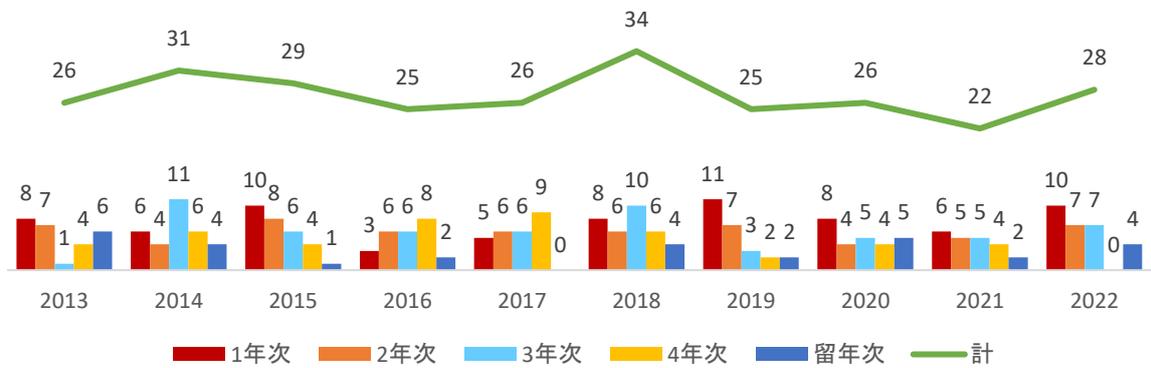
退学

退学者数・退学率推移



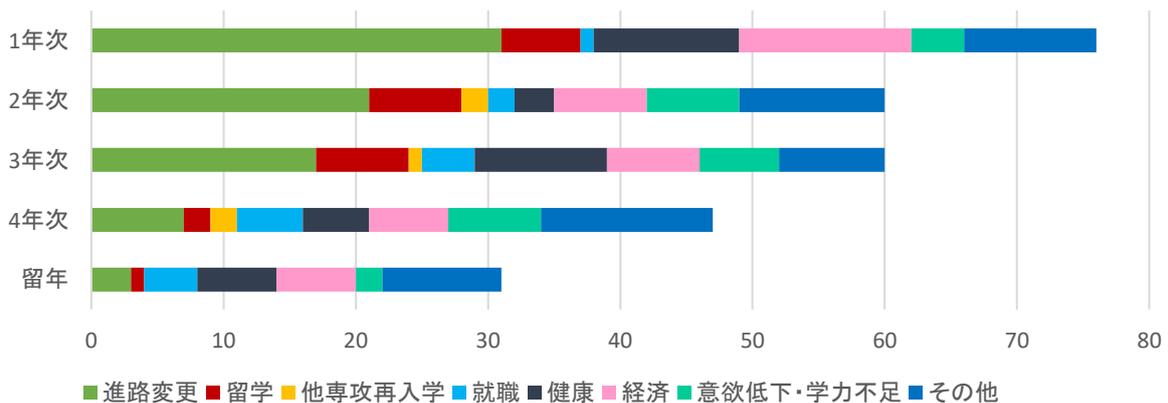
※除籍者数を含む。

退学年次別退学者数



※除籍者数を含む。

学年別退学理由の割合



※進路変更・留学・就職については検討中を含む。 除籍者はその他に含む。

1~3年次においては進路変更(留学含)の割合が高い。

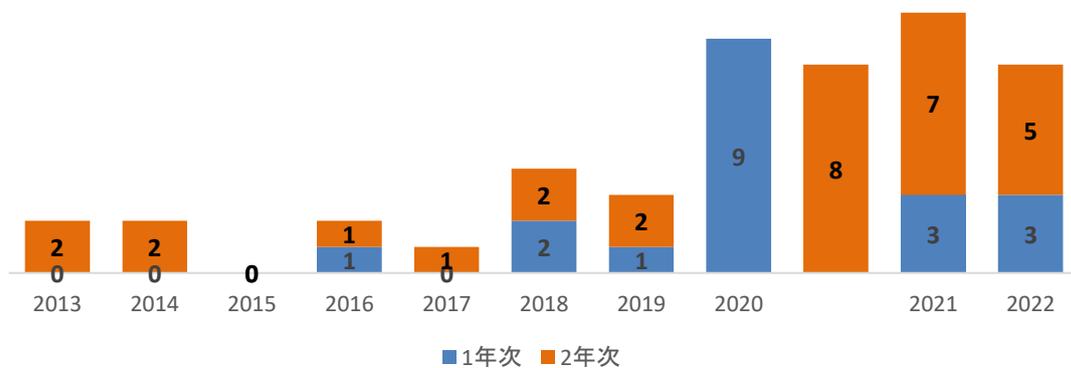
4. 休学・退学（修士課程）

休学

修士課程休学者数・休学率



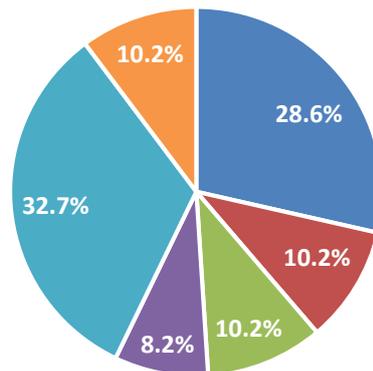
修士課程年次別休学者数



※2020年度は12名、2021年度は4名がコロナの影響による学習環境変化を理由に休学した。

休学理由の割合2013～2022年度

■健康 ■経済 ■留学(準備等含む) ■家庭 ■コロナの影響 ■その他

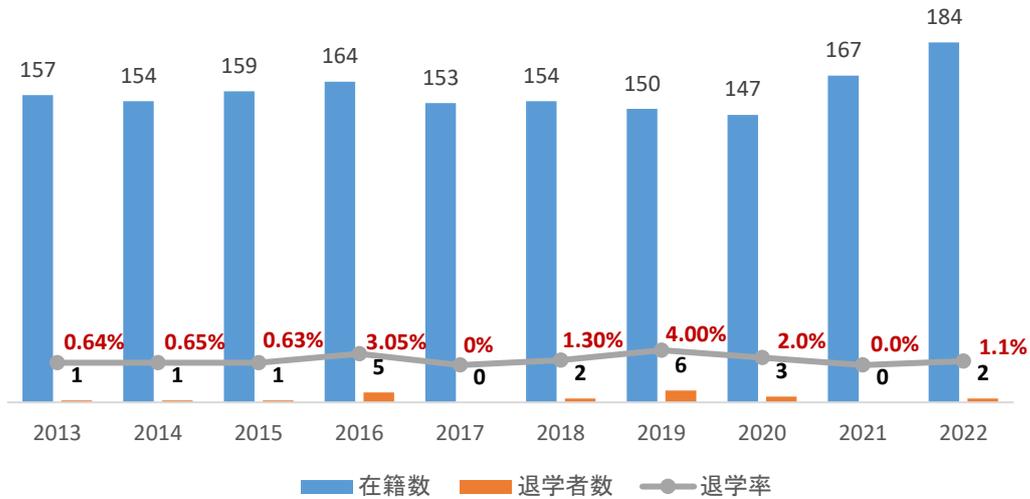


※コロナの影響による休学者は2020～22年度

4. 休学・退学（修士課程）

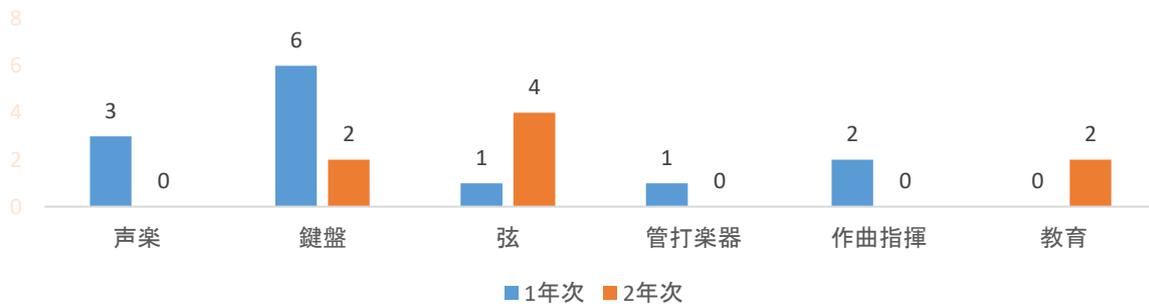
退学

修士課程 年度別退学者数・退学率



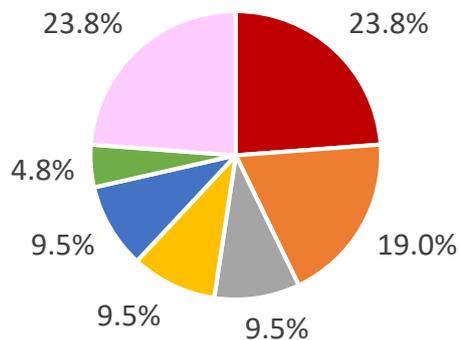
※除籍者数は除く。

修士課程 専攻・年次別退学者数 2013～2022年度

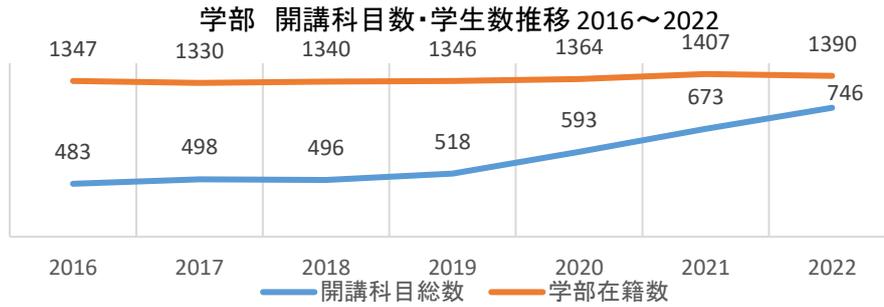


修士退学理由2013～2022年度

■ 経済 ■ 留学 ■ 就職 ■ 健康面 ■ 進路変更 ■ 意欲低下 ■ その他



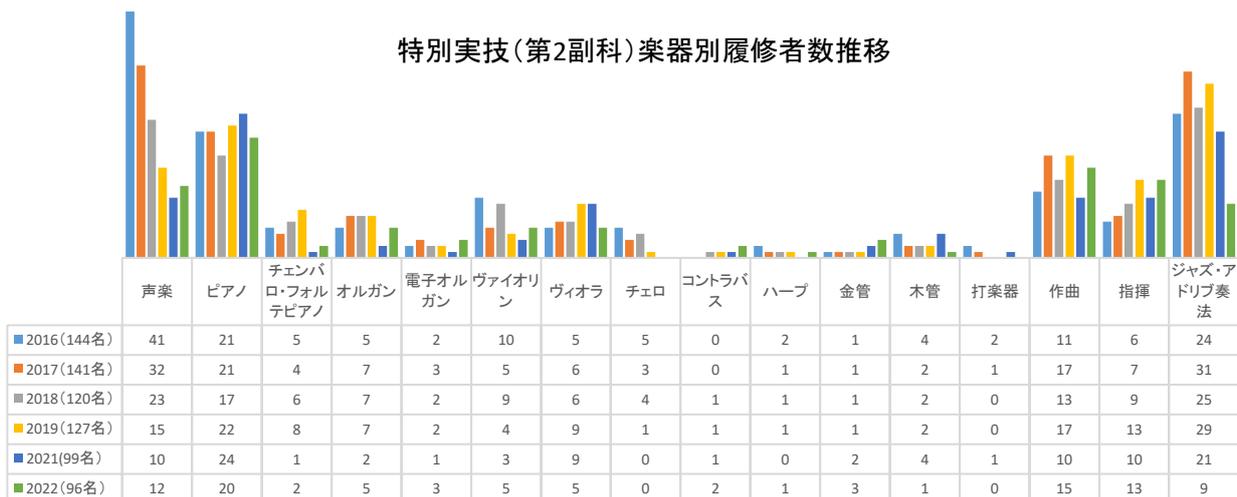
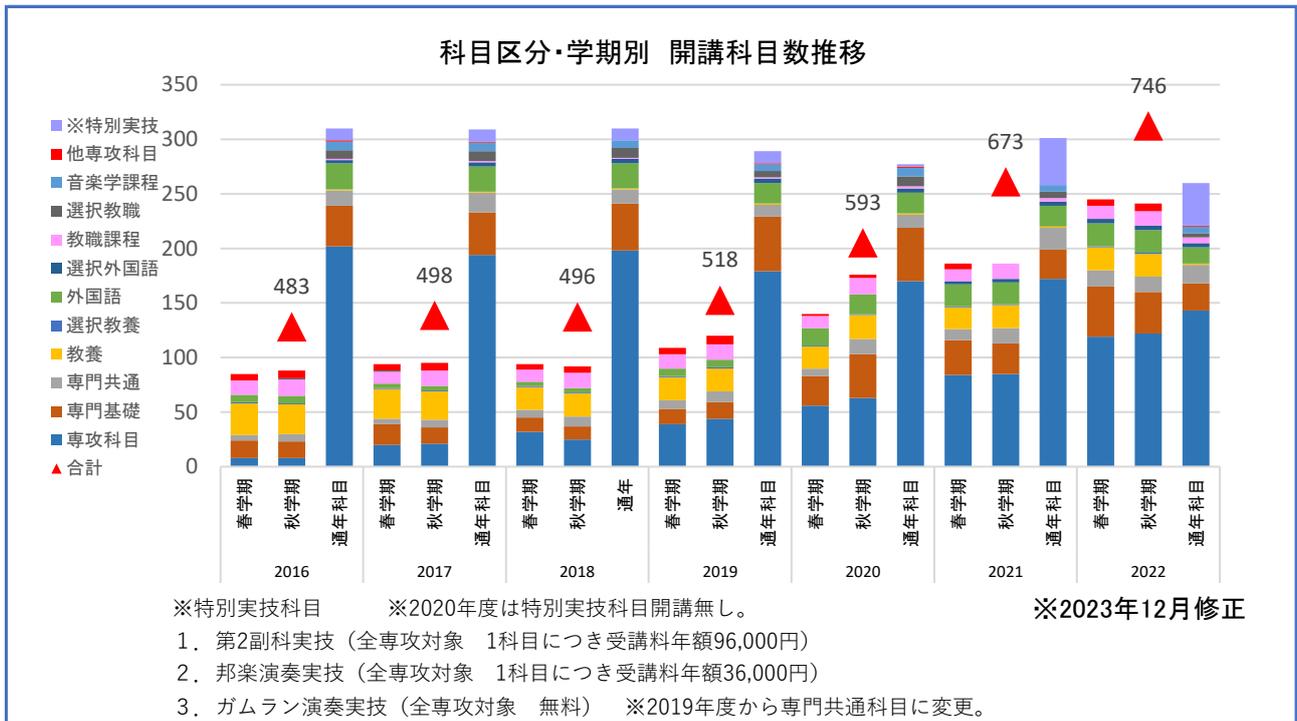
5. 開講科目数 (学部)



※2023年12月修正

新しい専攻ができればそれぞれに専攻科目が必要となり、開講科目数が増える。

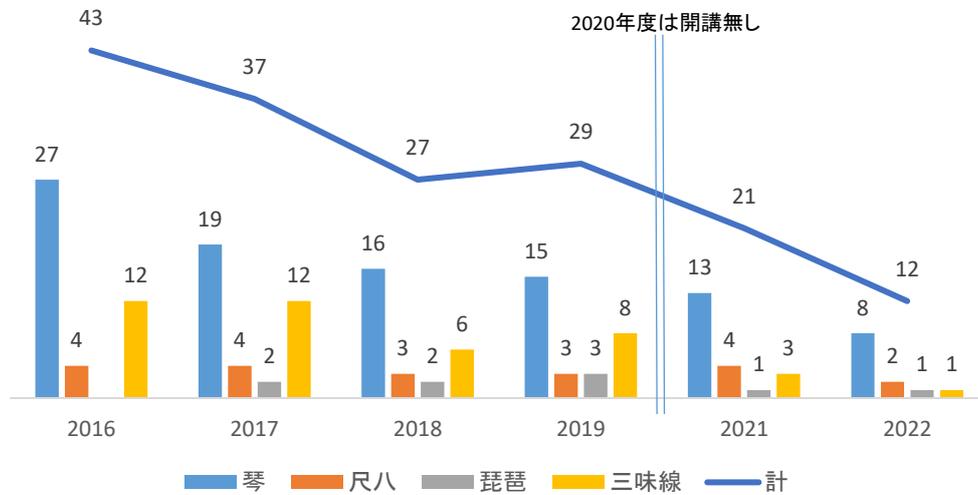
改編後の専攻において、再履修者ために旧カリキュラムの科目が同時に必要なことも科目数が増える原因の一つ。



※2017年度よりピ演・ピアノ専攻は専門基礎科目として副科実技Ⅰ(声楽)が履修可能になった。2020年度は開講無し。

5. 開講科目数 (学部)

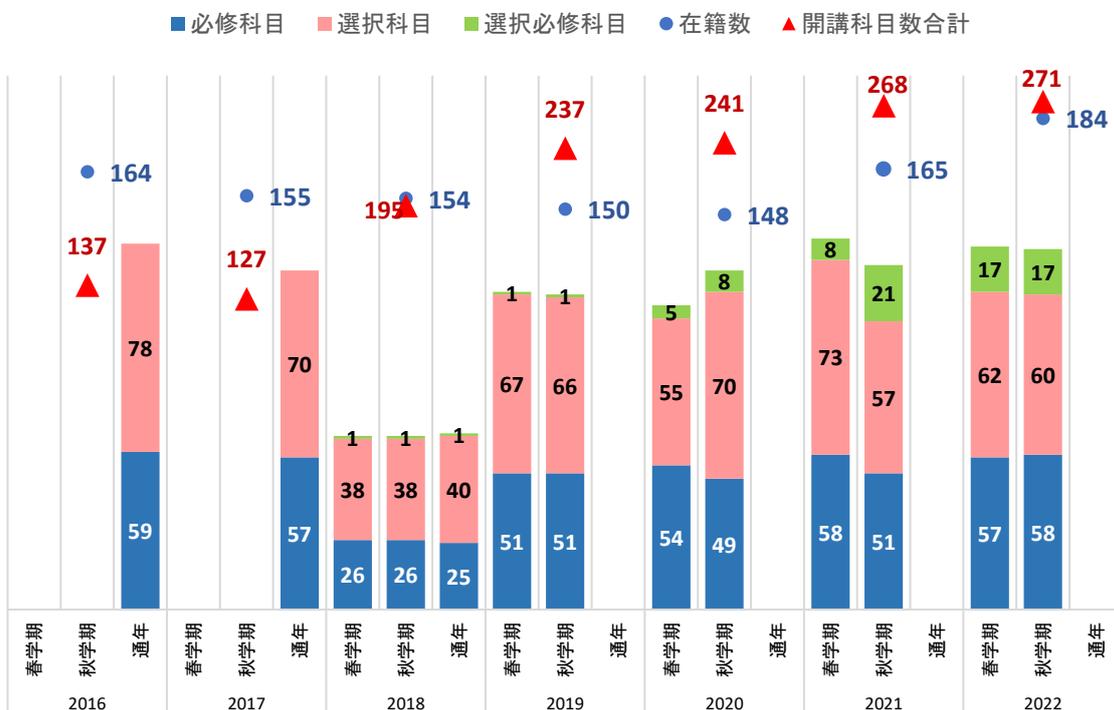
特別実技(邦楽演奏実技)楽器別履修者数(学部)



※2020年度はコロナ禍のため特別実技科目開講無し

5. 開講科目数 (修士課程)

修士課程開講科目数



6. 単位修得状況 (学部)

卒業要件(卒業に必要な単位数: 2022年度入学生)

専攻(コース)	教養科目	外国語科目	必修科目	選択必修	選択科目	計
声楽(声楽芸術コース)	12	20	68	-	24	124
声楽(声楽特別演奏家コース)	12	20	68	-	24	124
器楽(ピアノ演奏家コース)	12	12	54	-	46	124
器楽(ピアノ)	12	12	54	-	46	124
器楽(ピアノ・創作コース)	12	12	70	-	30	124
器楽(チェンバロ/オルガン)	12	12	62	-	38	124
器楽(弦楽器)	12	12	68	-	32	124
器楽(管打楽器)	12	12	68	-	32	124
作曲指揮(作曲「芸術音楽コース」)	16	12	66	-	30	124
作曲指揮(作曲「ミュージック・メディアコース」)	12	12	78	4	18	124
作曲指揮(指揮)	12	12	72	-	28	124
音楽文化教育	12	12	36	16	48	124
ミュージック・リベラルアーツ	0	0	59	26	39	124
ミュージック・リベラルアーツ(専門実技: 指揮)	0	0	73	26	25	124
吹奏楽アカデミー	12	12	66	24	10	124

※転専攻、コース変更した場合、卒業に必要な単位数が124単位を超えることがある。

成績評価 GPA (Grade Point Average)

点数	評語	判定	GPA
90~100点	A+	合格	4
80~89点	A	合格	3
70~79点	B	合格	2
60~69点	C	合格	1
単位認定された科目及び合格と認められた科目の評価	P	合格	
59点以下	F	不合格	0
評価外	X	不合格	0

GPAの種類と算出方法: 「年度GPA」「累積GPA」に区分し、次の方法により算出。
算出された数値の小数点第3位以下は切捨て。

(1) 当該年度のGPAの計算式

$$\frac{\text{当該年度の「秀/A+」の単位数} \times 4 + \text{「優/A」の単位数} \times 3 + \text{「良/B」の単位数} \times 2 + \text{「可/C」の単位数} \times 1}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\frac{\text{全期間の「秀/A+」の単位数} \times 4 + \text{「優/A」の単位数} \times 3 + \text{「良/B」の単位数} \times 2 + \text{「可/C」の単位数} \times 1}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

GPA非対象科目: 1. 卒業要件に算入しない教職に関する科目

2. 卒業要件に算入しない特別実技科目

3. 成績評価が「認定/P」と付く科目

4. 所定の期間に履修登録取り消し手続きをした科目

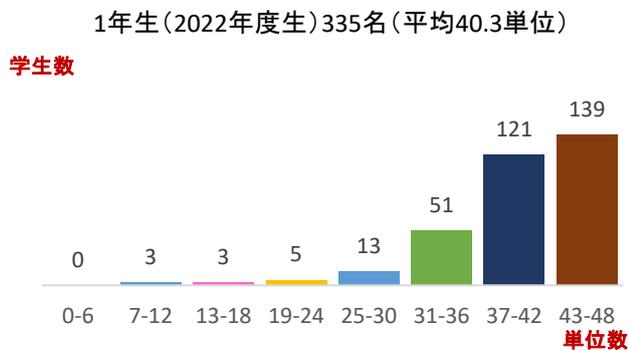
※2022年度学生便覧より

6. 単位修得状況 (学部)

単位の過剰登録を防ぎ、効果的な学習時間（予習復習を含む自主的な学習時間）を確保するために本学では1年間に履修登録できる単位数の上限を48単位と定めている。（CAP制）下のグラフは各学年で2022年度1年間に修得した単位数の分布（左）、22年度までに修得した通算単位数の分布（右）である。縦軸が学生数、横軸が修得単位数。

※多くの学生が1・2年次に履修可能単位数の上限に近い単位を修得している。

2022年度1年間の学年別修得単位数分布



2022年度分を含む通算修得単位数分布

左記グラフと同じ

2年生(2021年度生)342名(平均38.3単位)

単位数	学生数
0-6	8
7-12	3
13-18	3
19-24	1
25-30	23
31-36	86
37-42	128
43-48	90

2年生通算修得単位数(平均79.9単位)

単位数	学生数
0-12	1
13-27	1
28-36	4
37-48	9
49-60	3
61-72	43
73-84	146
85-96	135

3年生(2020年度生)334名(平均27.2単位)

単位数	学生数
0-6	5
7-12	5
13-18	14
19-24	93
25-30	128
31-36	59
37-42	20
43-48	10

3年生通算修得単位数(平均105.8単位)

単位数	学生数
0-27	3
28-36	1
35-54	11
55-75	8
76-90	11
91-108	120
109-126	170
127-144	10

4年生(2019年度生)355名(平均20.5単位)

単位数	学生数
0-6	21
7-12	32
13-18	101
19-24	105
25-30	56
31-36	20
37-42	13
43-48	7

4年生通算修得単位数(平均130.9単位)

単位数	学生数
0-24	0
25-45	0
46-75	7
76-96	11
97-123	30
124-144	251
145-168	50
169-192	6

※留年となった学生を含む。過年度生は含まない。

※留年となった学生を含む。過年度生は含まない。

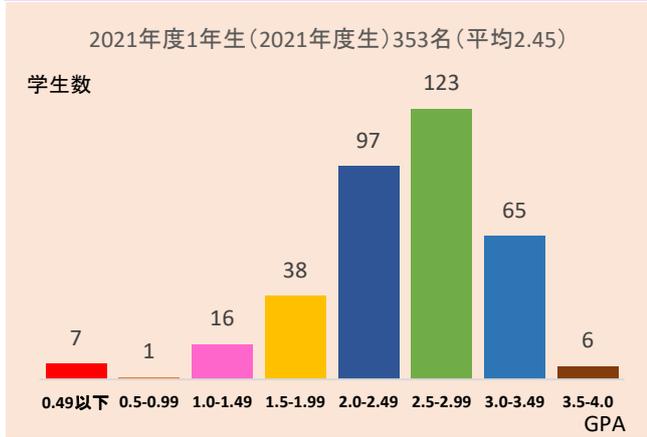
41

6. 単位修得状況（学部）

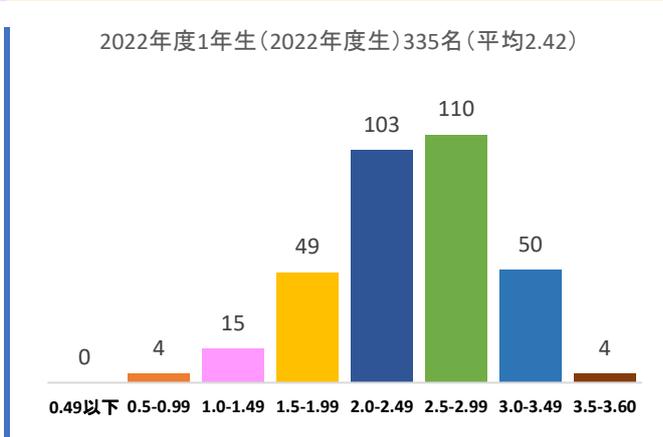
各学年 2021年度、2022年度の「通算GPA」の比較 ※各学年、編入学生・9月入学生を除く

※どちらの年度もどの学年も高いほうにより多く集まっている。

2021年度 学年別「通算GPA」分布



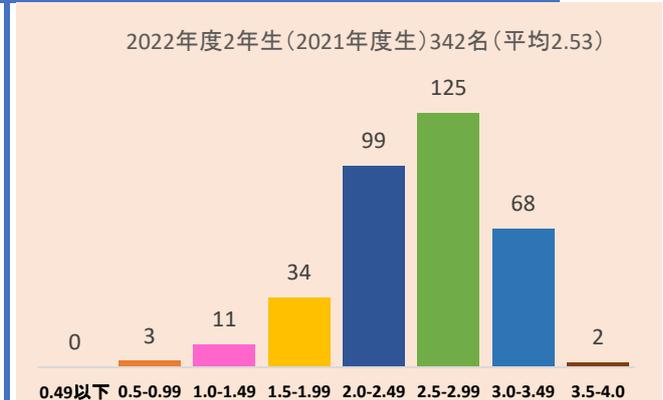
2022年度 学年別「通算GPA」分布



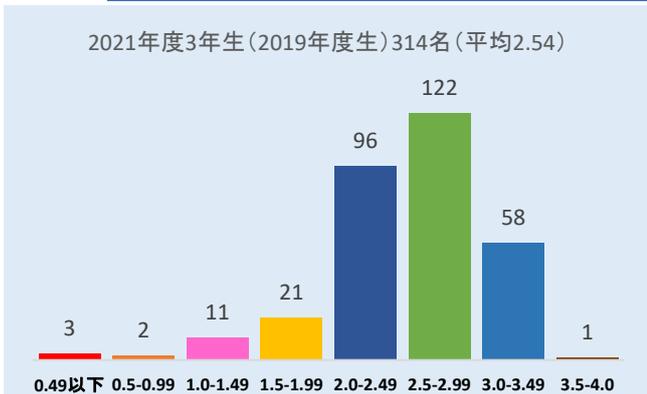
2021年度2年生(2020年度生)336名(平均2.50)



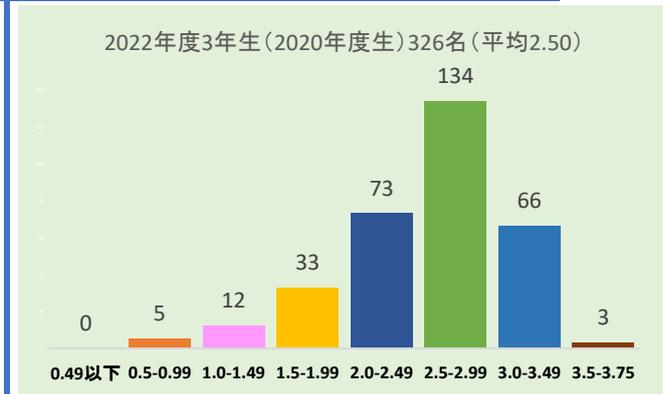
2022年度2年生(2021年度生)342名(平均2.53)



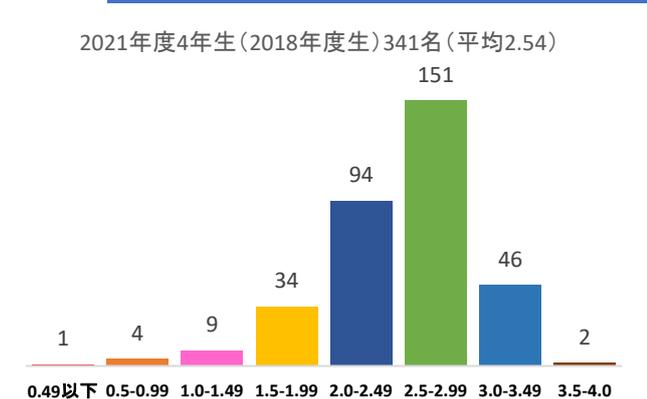
2021年度3年生(2019年度生)314名(平均2.54)



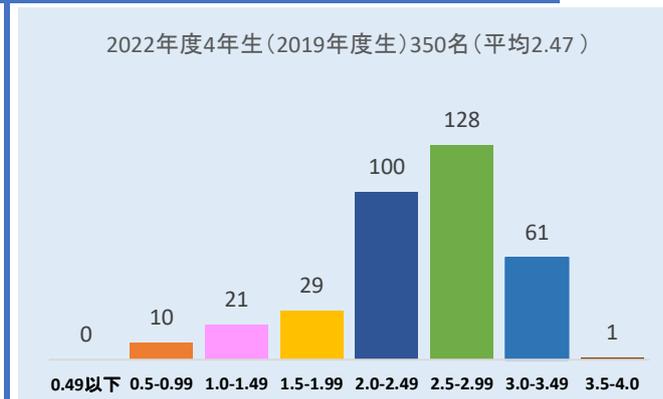
2022年度3年生(2020年度生)326名(平均2.50)



2021年度4年生(2018年度生)341名(平均2.54)



2022年度4年生(2019年度生)350名(平均2.47)



※留年となった学生含む。 ※編入学生・過年度生は含まない。

※留年となった学生含む。 ※編入学生・過年度生は含まない。

6. 単位修得状況（修士課程）

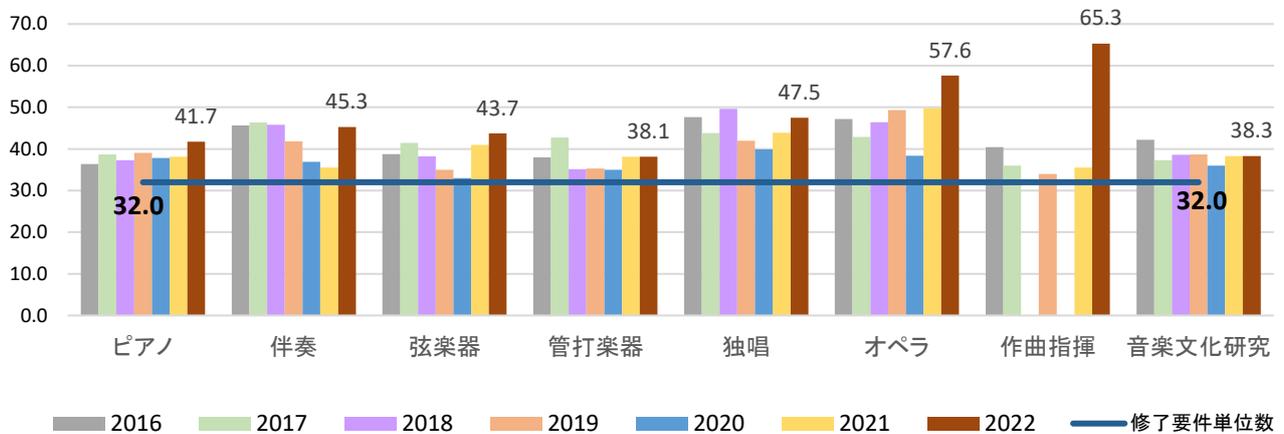
大学院（修士課程）専攻（研究領域）別修了要件単位数

専攻		必修科目	選択科目	修了要件単位数
器楽	鍵盤楽器(ピアノ・伴奏)	28	4	
	鍵盤楽器(オルガン・チェンバロ)	24	8	
	弦楽器	20	12	
	管打楽器	20	12	
	室内楽	20	12	
声楽	独唱	20(8)	12	
	オペラ	12	20	
作曲指揮	作曲芸術	24	8	
	作曲応用	24	8	
	指揮	20	12	
音楽文化研究	教育	20(4)	12	
	音楽学	20	12	
	ソルフェージュ	26(4)	6	
	多文化	16(8)	16	

※（ ）内の数字は選択必修科目の単位数。

修得単位数

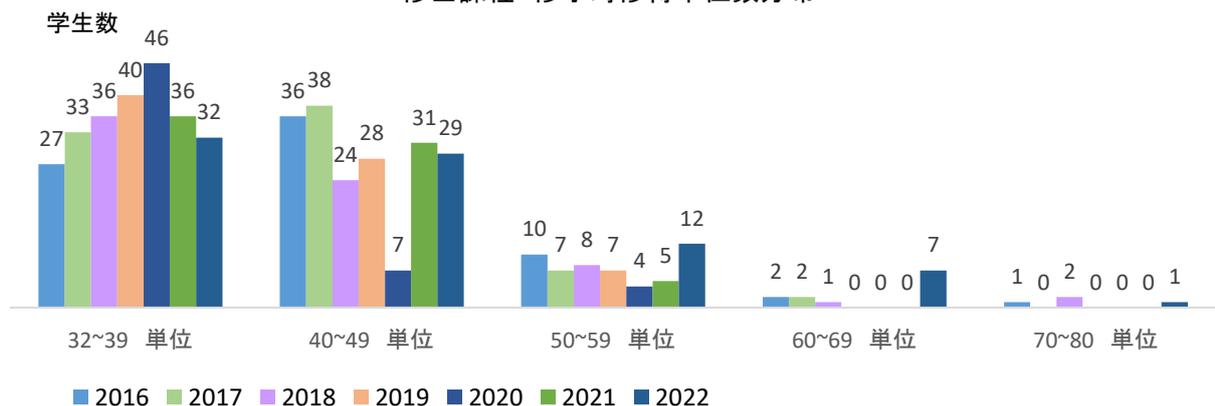
修了時修得単位数 研究領域別平均



※「作曲指揮」及び「音楽文化研究」については専攻の平均。

2022年度は、独唱・オペラ・作曲研究領域の修得単位数の平均が目立って高い。

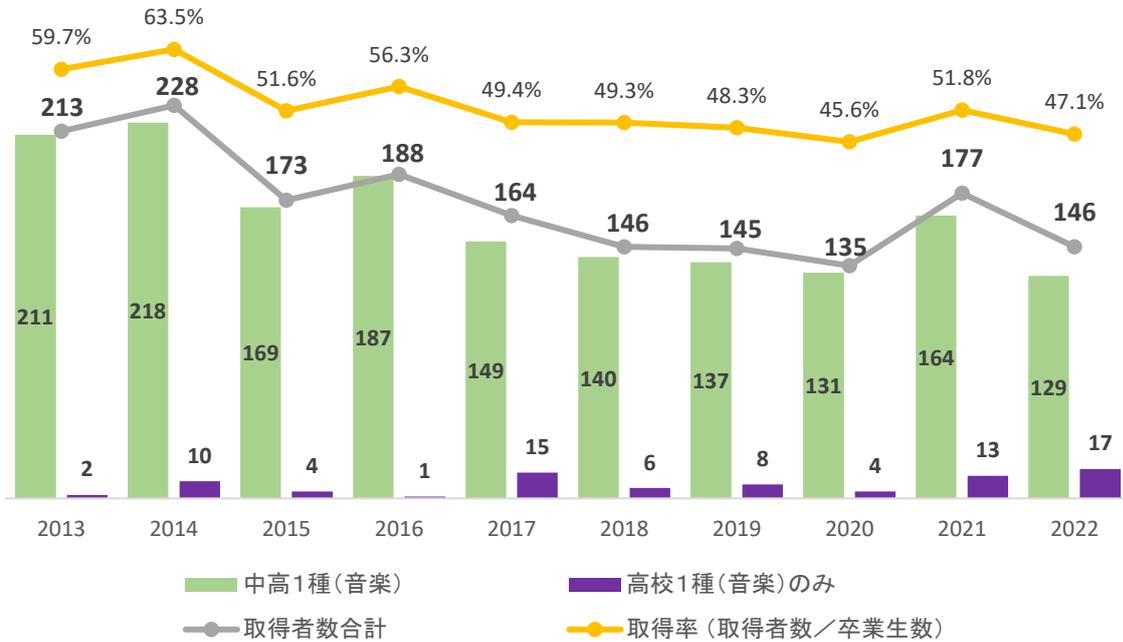
修士課程 修了時修得単位数分布



2022年度は終了要件単位数を大幅に超えて修得する学生が急に増えた。

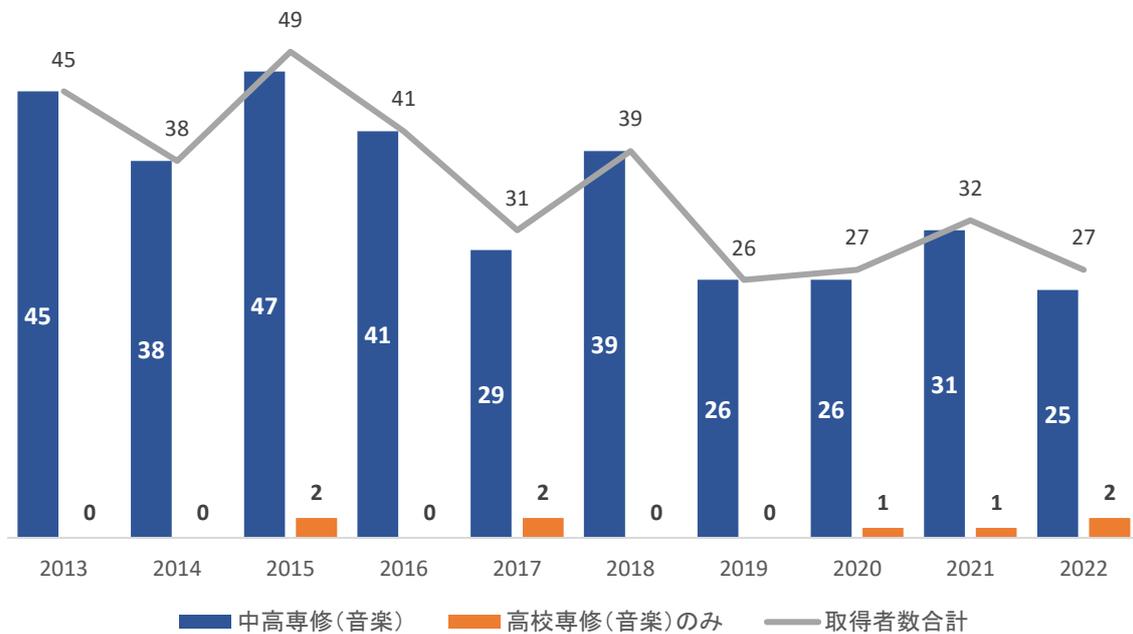
7. 教職課程

教育職員免許状 中高1種(音楽)取得者数



※個人申請者は含まない。

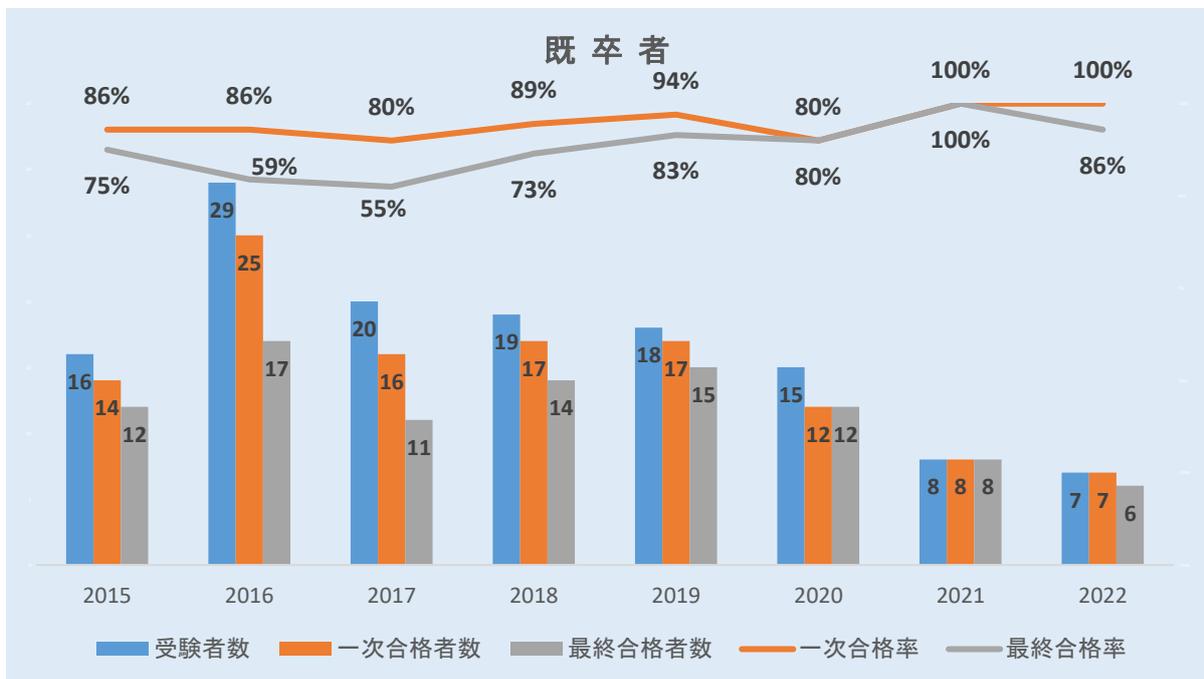
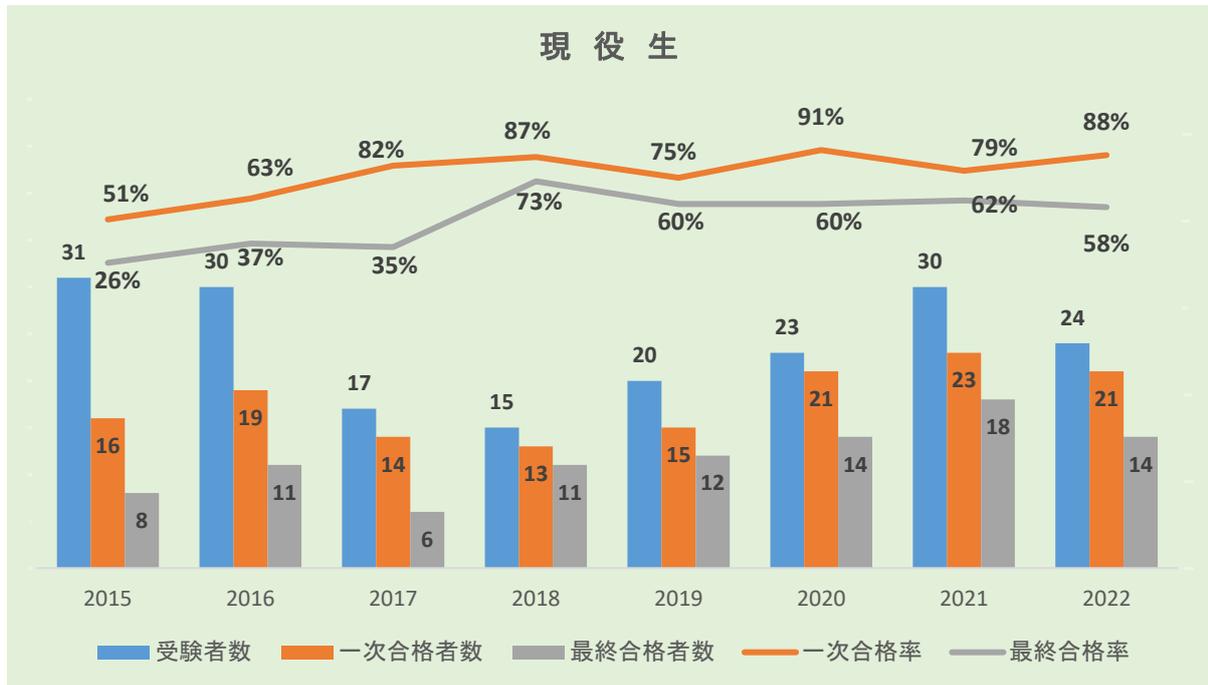
教育職員免許状 中高専修(音楽)取得者数



※個人申請者は含まない。

7. 教職課程

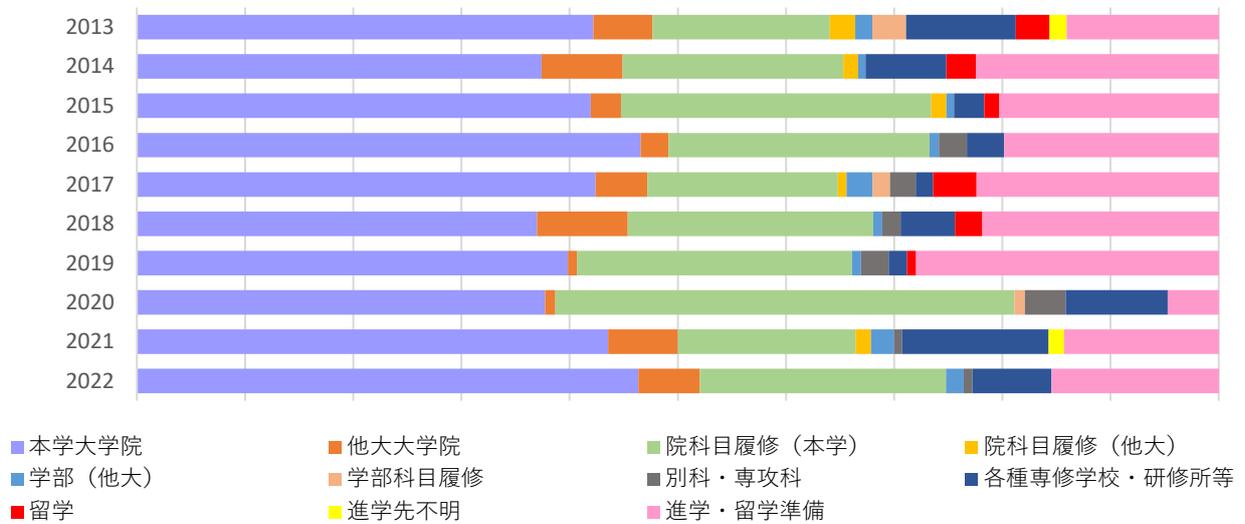
教員採用試験結果 2015～2022



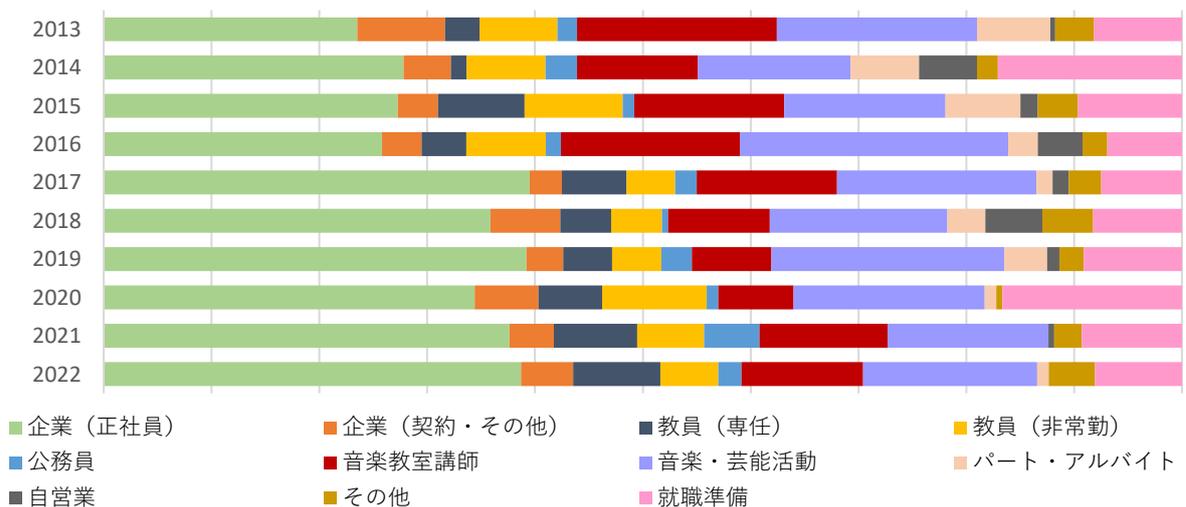
8. 進路 (学部)



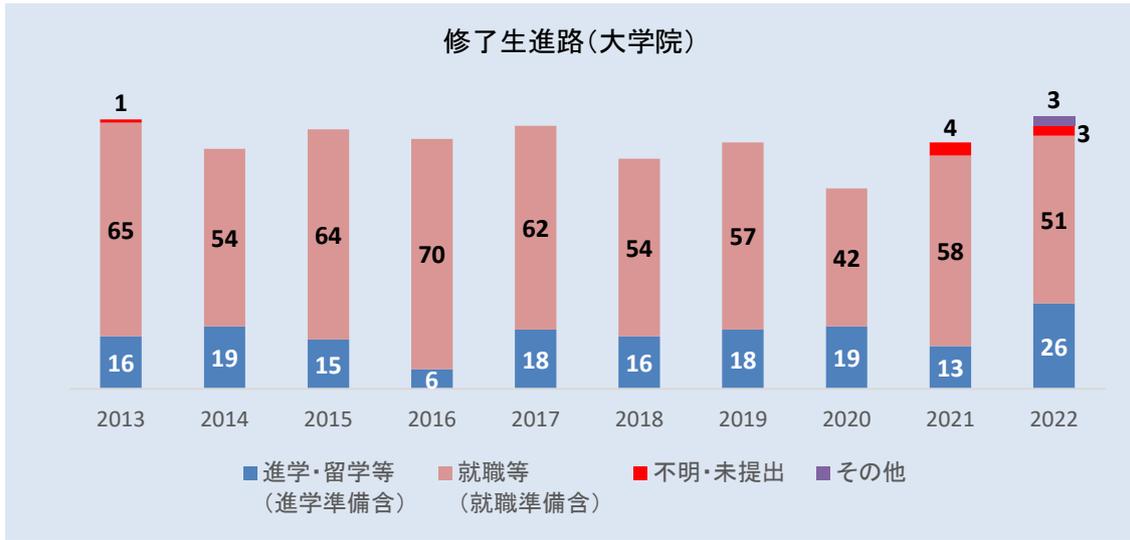
進路区分の構成率 (進学・留学等)



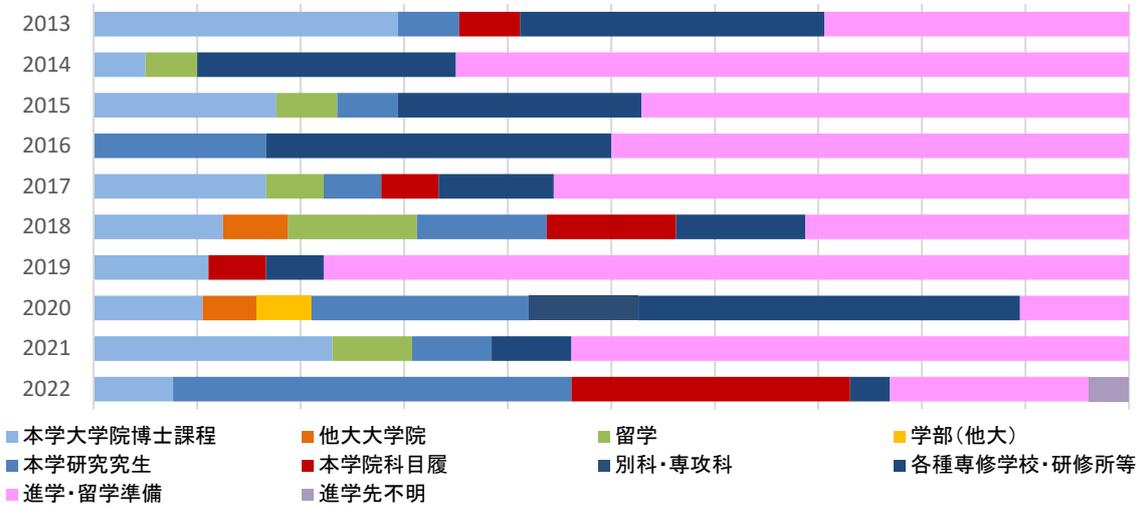
進路区分の構成率 (就職等)



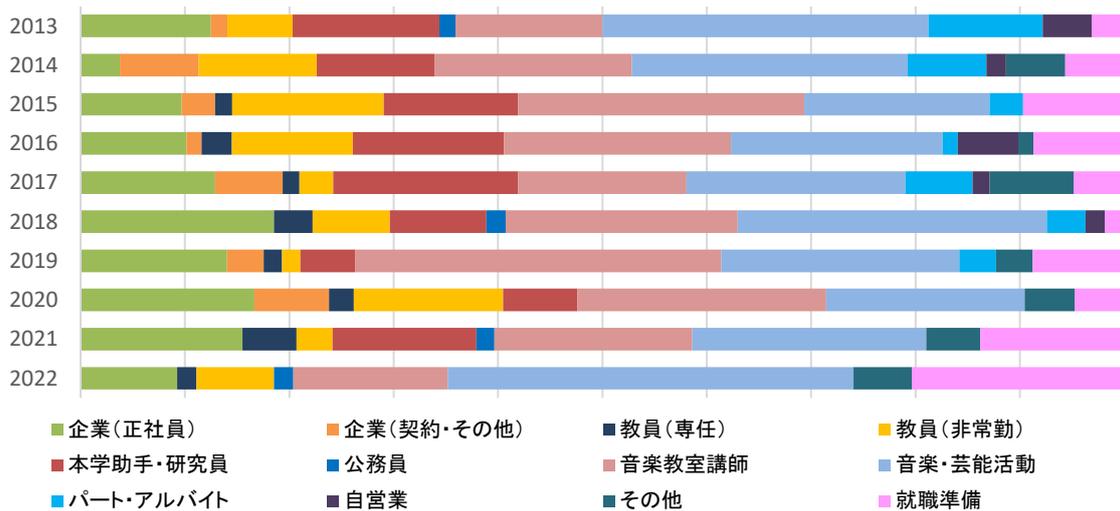
8. 進路 (大学院)



進路区別の構成比(進学・留学等)



進路区分の構成比(就職等)



9. 公開講座・演奏会

特別招聘演奏家公開講座・レッスン 過去5年間

開催年度	開催日	招聘者氏名	内容
2022	5月25日	ザール・ベルガー	ホルン公開レッスン
	6月8日	ボリス・ベルキン	指揮公開レッスン
	6月21日	高島勲／大森万歳／近藤保博	指揮特別講座
	7月2日	ドミトリー・シトコヴェツキー	ヴァイオリン公開レッスン
	7月26日	中村陽一	指揮特別講座
	9月20日	ミヒャエル・フラダー	打楽器公開レッスン
	10月31日	マリオ・ブルネロ	チェロ公開レッスン
	11月8日	ジーン・ポコーニ	チューバ公開レッスン
	11月24日	アーノルド・ベズイエン	テノール公開レッスン
	11月30日	エリン・ヴィルサラゼ	ピアノ コンサート & 公開レッスン
	12月21日	サイモン・ブレンディス	ヴァイオリン公開レッスン
	1月24日	桑田歩	チェロ公開レッスン
	1月30日	宮台真司	指揮特別講座
	2月5日	クロード・ドラングル	サクソフォーン公開レッスン
	2月14日	桑田歩	オーケストラスタディ公開レッスン
3月1日	ヤーノシュ・バーリント	フルート公開レッスン	
3月18日	フローラン・エオー	クラリネット公開レッスン	
2021	9月9, 10日	宮崎泰二郎	打楽器公開レッスン
	12月6, 7日		
	11月29日	フェデリコ・アグスティニーニ	ヴァイオリン公開レッスン
2020	コロナ禍のため実施無し		
2019	5月20日	山澤 慧	作曲公開講座
	6月11日	ボリス・ベルキン	指揮公開レッスンおよびミニコンサート
	6月11日	ソフィー・デルヴォー	ファゴット公開レッスン
	6月12日	ルイス・クラレット	チェロ公開レッスン
	6月13日	マリア・バーヨ	声楽公開レッスン
	6月28日	高島 勲	特別講座《バイロイト音楽祭の経験・思い出》
	7月8日	フランチェスコ・ディロン	作曲公開レッスン
	7月13日	ヴィンチェンツォ・スカレーラ	声楽公開レッスン
	7月26日	カロリーネ・グルーパー	声楽公開レッスン

9. 公開講座・演奏会

特別招聘演奏家公開講座・レッスン 過去5年間

開催年度	開催日	招聘者氏名	内容
2019	9月10日	カロリーネ・グルーバー	声楽公開レッスン
	9月17日	WILFRIED STREHLE	ヴァイオラ公開レッスン
	9月18日	カロリーネ・グルーバー	声楽公開レッスン
	9月19日	デイヴィッド・パイアット	ホルン公開レッスン
	10月11日	ロマン・ギュイオク	クラリネット公開レッスン
	10月22日	フェデリコ・アゴ스티ーニ	ヴァイオリン公開レッスン
	10月22日	小田美樹	指揮公開講座
	11月7日	クリストフ・プレガルディエン&ミヒャエル・ゲース	声楽公開レッスン
	11月29日	アーミン・ザナー	声楽公開レッスン
	12月13日	山澤 慧	作曲公開講座
	12月17日	徳永二男	指揮公開レッスン
	1月23日	エリソ・ヴィルサラゼ	ミニコンサート及び公開レッスン
	1月29日	セルゲイ・クラフチェンコ	ヴァイオリン公開レッスン
	2月5日	ディートリヒ・ヘンシェル	声楽公開レッスン
2018	9月3日	ヨハネス・グマインダー	クラリネット公開レッスン
	10月18日	ルドヴィート・カンタ	チェロ公開レッスン
	10月22日	ヴィルフリート・シュトレーレ	ヴァイオラ公開レッスン
	10月29日	山本華子 鄭圭祥	作曲公開講座
	11月7日	ムソ・ウンフィ	チェロ公開レッスン
	11月21日	トーマス・レヒナー	ティンパニ公開レッスン
	12月13日	エリソ・ヴィルサラゼ	ピアノ公開レッスン
	1月9日	吉田紗苗	作曲公開講座
	2月12日	トルステン・ケール	声楽公開レッスン
	4月11日	トマ・ルルー	チューバ公開レッスン
	4月26日	ジャン＝ルイ・ポーマディエ	ピッコロ公開レッスン
	5月29日	山本華子 鄭圭祥	作曲公開講座
	6月7日	ザムエル・ザイデンベルク	ホルン公開レッスン
	6月8日	汐澤安彦	指揮科公開レッスン
	7月10日	安野太郎	作曲公開講義
	7月12日	ハンストニ・カウフマン	クラリネット/リート 公開講座
7月13日	エディクソン・ルイス	コントラバス公開レッスン	

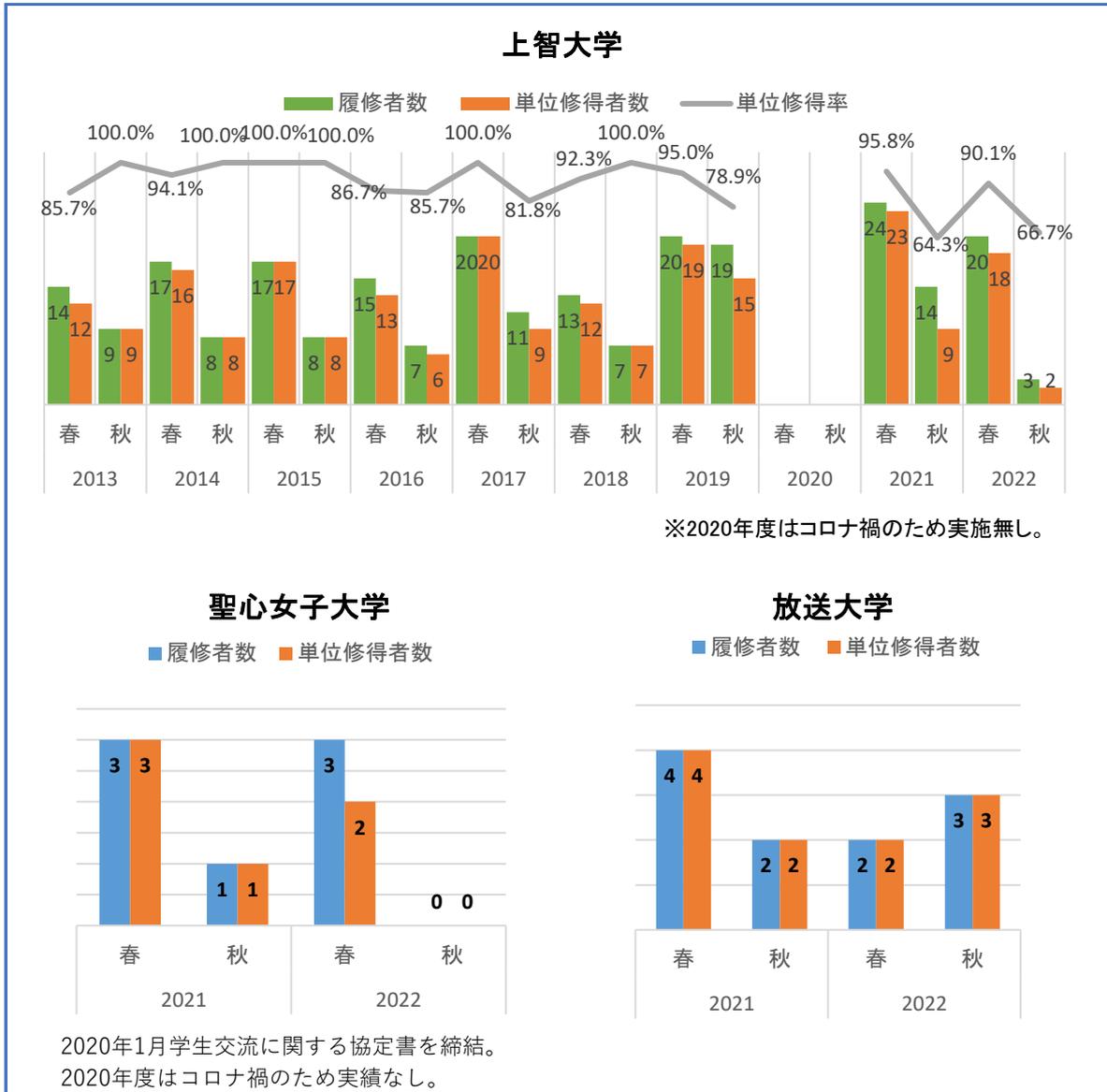
9. 公開講座・演奏会

2022年度の本学主催演奏会

3月	卒業演奏会 浜離宮朝日ホール 270名／552席
7月	シンフォニックウインドアンサンブル第53回定期演奏会 東京芸術劇場コンサートホール 1261名／1,999席 ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～ 東京文化会館小ホール 第1部：119名 第2部：125名 第3部136名／649席
8月	TCM高校・大学合同演奏会 本学100周年記念ホール 278名／806席
9月	弦楽アンサンブル 第32回 演奏会 本学TCMホール 257名／422席
10月	東京音楽大学 創立115周年特別演奏会 本学創立のとき、1907年のピアノ・シーン サントリーホール大ホール 899名／2006席 オーケストラと合唱 歓喜の歌 サントリーホール大ホール 1325名／2006席 学内オーディション合格者によるソロ・室内楽の饗宴Ⅰ サントリーホールブルーローズ 159名／384席 学内オーディション合格者によるソロ・室内楽の饗宴Ⅱ サントリーホールブルーローズ 206名／384席 吹奏楽のチカラ サントリーホール大ホール 894名／2006席 吹奏楽アカデミー名曲撰～今、求められる吹奏楽とは？～ サントリーホール大ホール 932名／2006席 管弦楽の革命 サントリーホール大ホール 1308名／2006席 創立115周年学内公募選出による特別企画 未来へ～想いをのせて奏でる私の“音”～ サントリーホールブルーローズ 182名／384席 声楽の魅力 サントリーホールブルーローズ 204名／384席
11月	東京音楽大学コンクール優勝者コンサート 本学TCMホール 205名／422席

10. 大学間連携

1. 交流大学単位認定制度



2. 明星大学との教育業務提携

2015年に明星大学通信教育学部と教育業務提携を締結。小学校教諭二種免許状が取得可能になる。

- 2015年度生 7名
- 2016年度生 8名
- 2017年度生 9名
- 2018年度生 8名
- 2019年度生 2名
- 2020年度生 7名
- 2021年度生 6名

2021年度までに受講の学生数合計 **47名**

3. 音楽系2大学連携事業

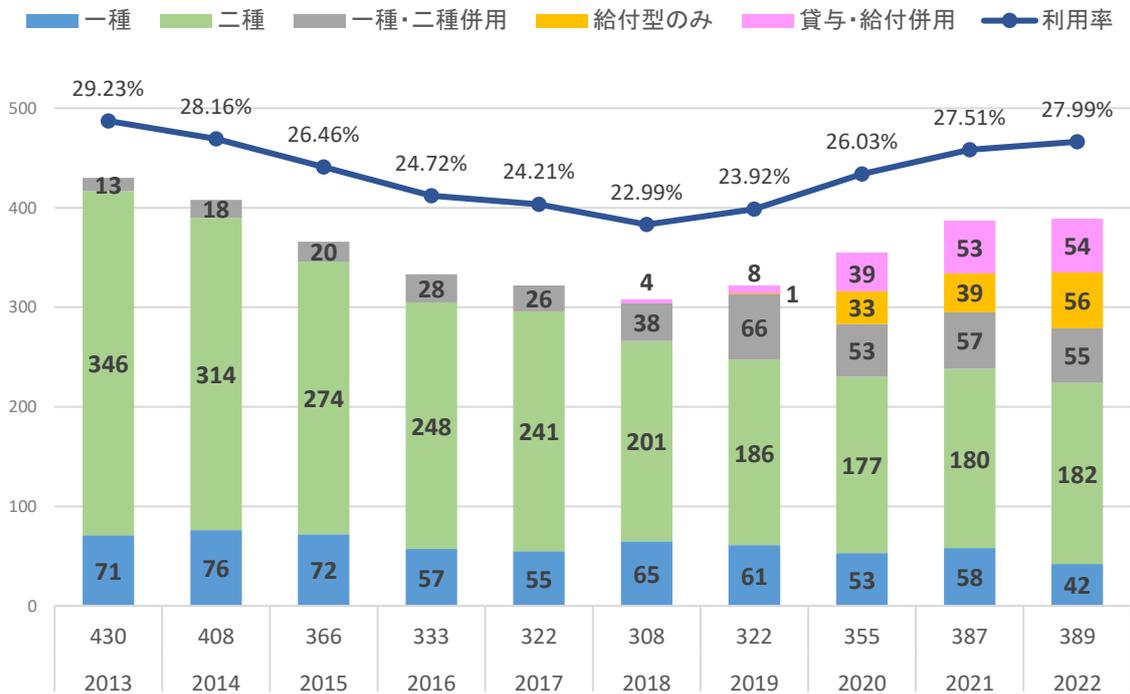
「ミュージック・コミュニケーション講座」

平成21年度に、文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定された「音大連携による教育イノベーション 音楽コミュニケーションリーダー養成に向けて」として3大学、東京音楽大学・昭和音楽大学・神戸女学院大学で開始。

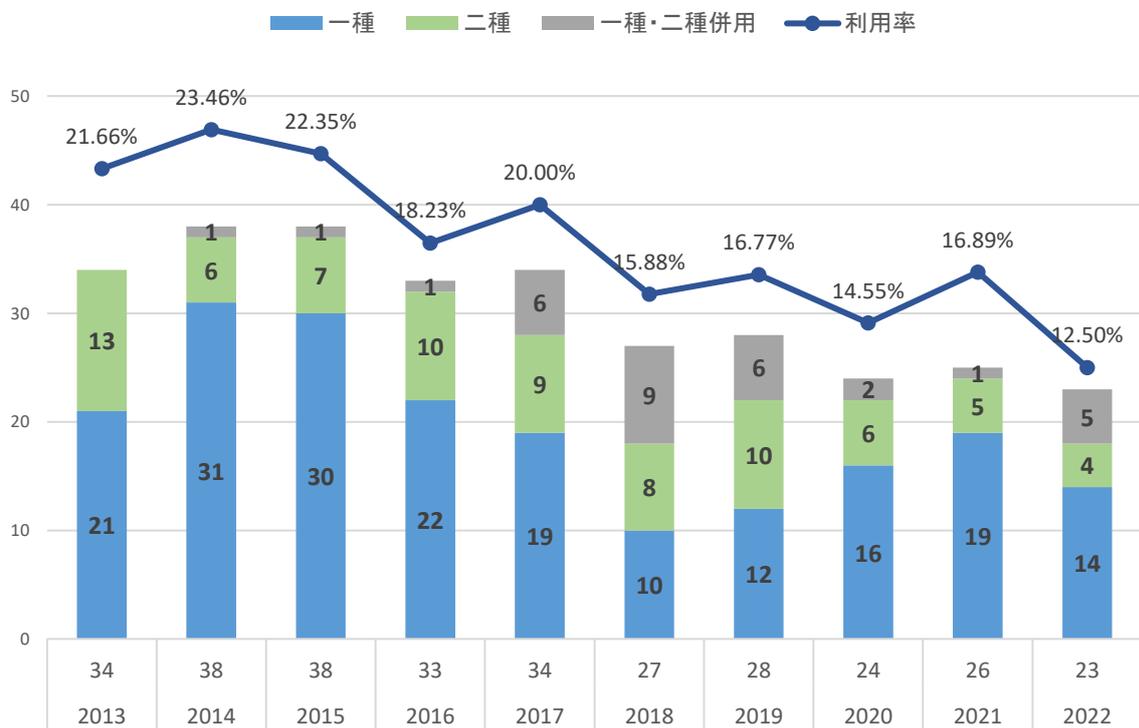
現在は、東京音楽大学と神戸女学院大学音楽学部が継続・展開している。インターネット配信による同時中継授業を通じて、教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学ぶ。

1. 奨学金・授業料減免

日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(学部)

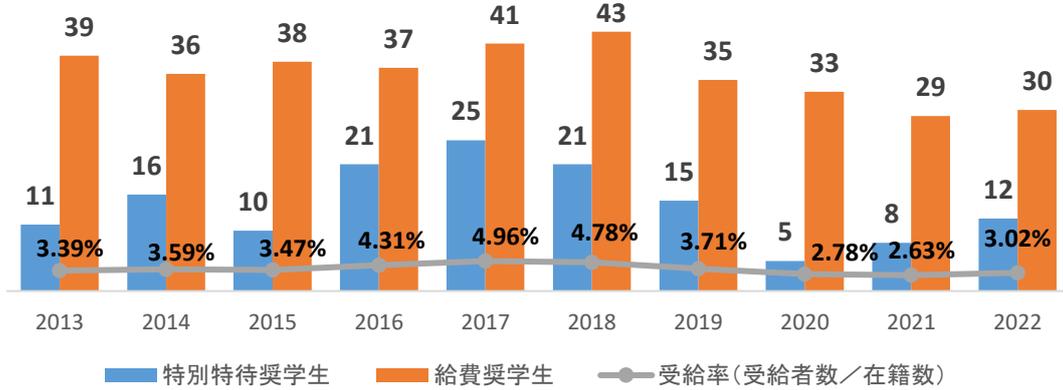


日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(大学院:修士・博士)

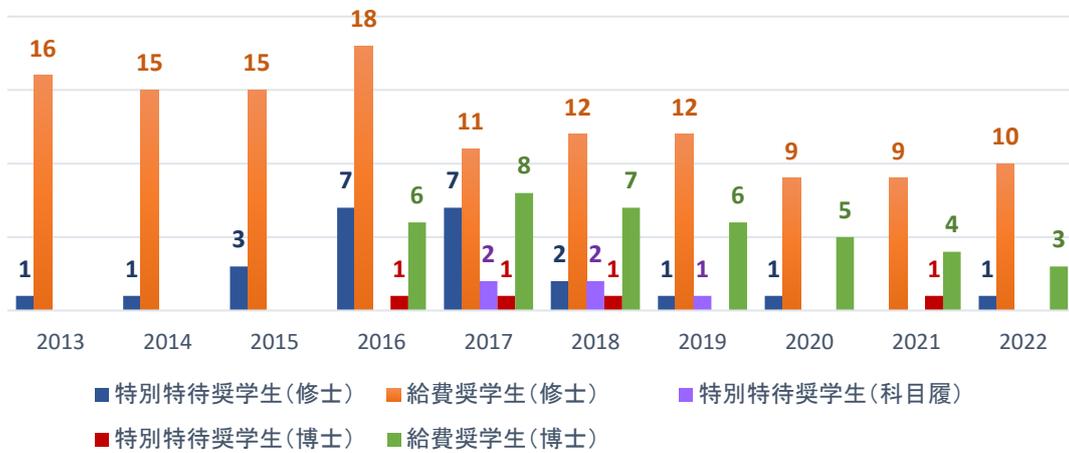


1. 奨学金・授業料減免

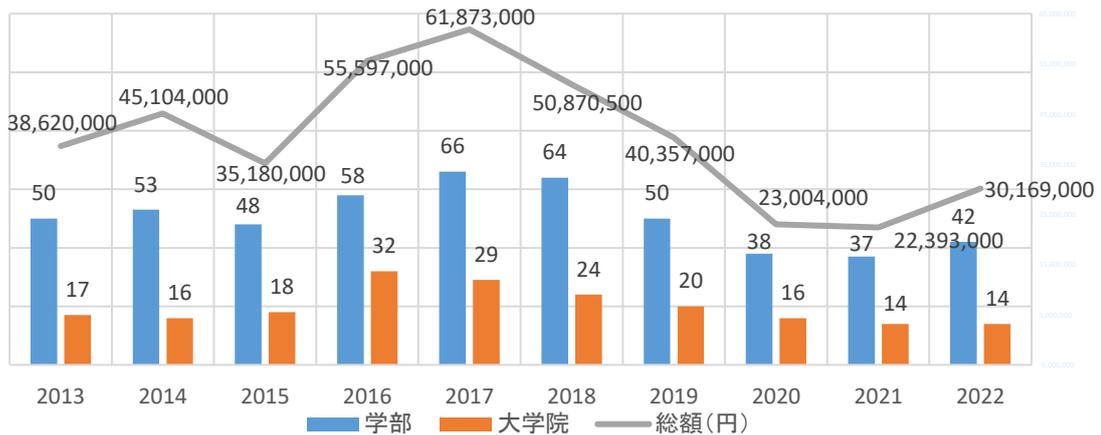
学内給費奨学金受給者数・率(学部)



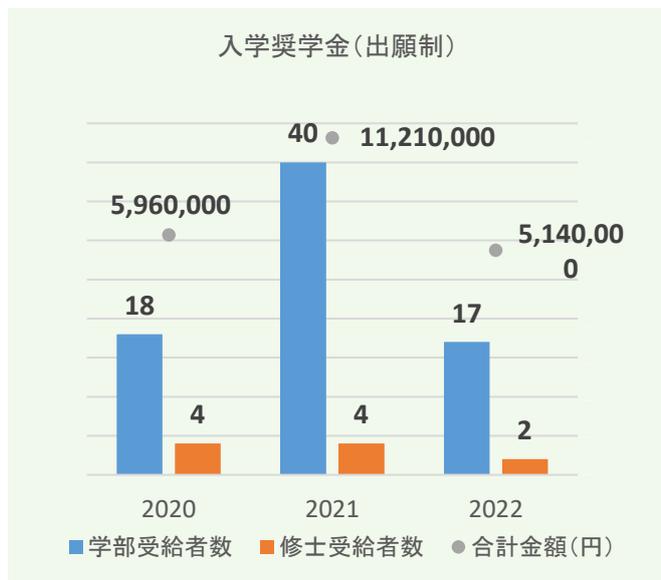
学内給付奨学金受給者数(大学院)



学内給費奨学金受給者数・総額



1. 奨学金・授業料減免



家計急変者奨学金(出願制)

2020年度 2件

2021年度 1件

2022年度 2件

5件=3,669,900円

大規模自然災害被災学生への授業料減免 2011～2021

	延べ件数	総減免額(円)
東日本大震災	97	85,520,850
熊本地震	8	7,626,100
西日本豪雨	3	4,089,250
令和元年台風19号	1	446,100

新型コロナウイルス感染拡大に伴う家計急変者への
授業料減免措置(出願制)

年度	件数	金額
2020	16	1,600,000円
2021	3	300,000円
2022	5	500,000円

複数就学者授業料減免 2013～2022

年度	件数	総減免額(円)
2013	15件	3,944,800
2014	15件	2,867,800
2015	14件	2,765,000
2016	15件	4,063,000
2017	12件	2,788,000

年度	件数	総減免額(円)
2018	15件	3,882,000
2019	13件	3,294,000
2020	14件	3,780,000
2021	13件	2,727,000
2022	14件	2,646,000

1. 奨学金・授業料減免 (外部団体奨学金)

よんでん文化振興財団奨学金(給付型) 四国電力株式会社

対象：四国出身者で、財団の選考委員会で選択された芸術大学に在学し、大学から推薦された者。

金額：月額5万円、最長2年間(在学期間)

本学採用件数：1999年～2021年 各年 1名採用 (2013～17年募集無し)

公益財団法人 戸田育英財団奨学金(給付型)

対象：財団指定大学学部1～2学年及び大学院(学部在籍中財団の奨学生であった者)に在籍し、
大学が推薦する日本人学生。 1年生：高校評定平均4.00以上

2年生：前年度の成績GPA3.00以上 大学院生：学部の成績平均がGPA3.00以上

金額：大学生：月額3万円 大学院生：月額3万5千円 (正規の最短修業期間)

本学採用件数：2006年～2022年 各年1名採用 (2010・11年募集無し)

公益財団法人 山田貞夫音楽財団奨学金(給付型)

対象：愛知県出身者で、クラシック音楽を専攻する音楽大学、大学院に在学する学生。

クラシック音楽の演奏家をめざして、在学する大学の推薦を受けた者。

金額：月額3万円(1年分一括給付) 給付期間：1年間(最長4年まで延長可)

本学採用件数：2014年～2022年 各年2～4名 採用

公益財団法人 青山音楽財団奨学金 (給付型)

対象：財団により選定された大学の学部1～4年生として在籍し、大学の推薦を受けた専門分野の
成績が極めて優秀な者。(採用された奨学生は、毎年3月開催予定の青山音楽
記念館パロクザールにおいて成果披露演奏会に出演することが条件)

金額：月額5万円(年間60万円) 原則として1年間

本学採用件数：2015年～2022年 各年2名 採用

一般財団法人 福島育英会奨学金(給付型)

対象：東京都に居住し、財団指定の音楽関係大学に在籍し、学業人物ともに優秀で高い勉学意欲
を有し、経済的理由によって修学が困難な者。在籍大学からの推薦を受けた者。

金額：月額7万5千円(2022年4月改訂) 最短修了期間

本学採用件数：1988年～2022年 各年1名 採用

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学金

対象：声楽・作曲・指揮専攻で学部3年生以上 大学が推薦する者

金額：年間30万円/年2回に分けて各15万円支給 2年間

本学採用件数：1999年～2022年 各年1名 採用

一般財団法人 藤澤記念財団 音楽奨学金

対象：音楽大学又は音楽学部在籍し学業優秀であって、卯木のいずれにも該当しなければ
ならない。 (1)学資の援助をすることが必要であると求められる者

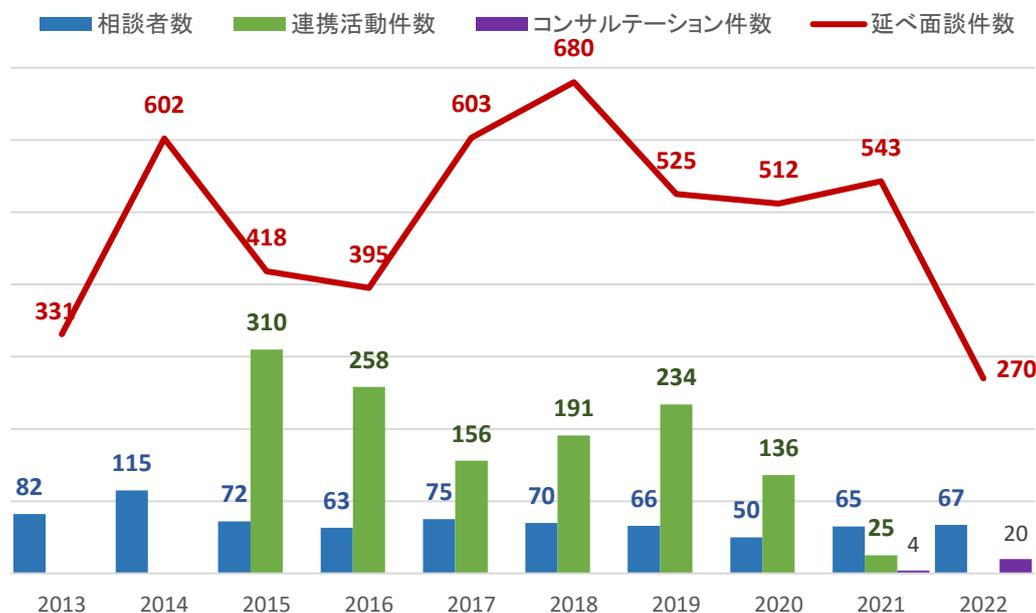
(2)将来社会的に有益な活動を目指す者

金額：年額36万円 月額3万円の6か月分を年2回

本学採用件数：2022年度 1名 採用

3. 学生相談室

学生相談室 相談件数・面談件数



※保護者や教職員の相談件数を含む。

※2021年8月より「連携活動件数」は「コンサルテーション件数」に変更

4. 学生寮

寮生数推移 2013～2022

(付属高校生分は含まない)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2020	2021	2022
計	88	80	74	84	90	89	77	89	96
1年生	23	27	21	31	36	24	29	44	37
2年生	20	17	23	18	25	33	10	23	36
3年生	25	16	14	21	14	22	16	6	17
4年生	20	20	16	14	15	10	22	16	6

2013～2021年度は目白台学生寮（旧学生寮） 学部生用46室 定員92名

2022年度はTCM学生寮（新学生寮 池袋キャンパス内） 学部生用一人部屋 104室

1. 地域・社会連携

▶ 協定等

災害時における相互協力に関する協定（豊島区） 平成15年4月1日
 東京音楽大学と北本市との音楽文化事業の連携に関する協定書 平成22年7月7日
 癒しの森協定（信濃町、信濃町森林療法研究会）平成24年2月22日
 東京音楽大学と公益財団法人新国立劇場運営財団との連携・協力に関する協定書 平成24年6月19日
 東京音楽大学と日本現代音楽協会との連携・協力に関する協定書 2013年3月26日
 上目黒一丁目地区プロジェクト基本協定（目黒区、東京都） 平成27年9月25日
 豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定書 平成27年11月13日
 東京音楽大学と株式会社東急文化村との連携・協力に関する包括協定書 2019年4月23日
 災害時における協力体制に関する協定書（目黒区） 令和元年9月10日
 「災害時における協力体制に関する協定書」に関する確認書（目黒区） 令和3年10月1日
 「災害時における協力体制に関する協定書」に関する確認書（目黒区） 令和4年12月20日

▶ 連携事業

「ナカメをデザインする会議」の準備会

この準備会は、目黒区、一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメントを中心に地元事業者が連携し、令和5年度策定の「未来ビジョン」に係る準備のために組織され、本学は8月23日から参加している。

「なかなか中目黒」

（一社）中目黒駅周辺地区エリアマネジメントが運営する、「なかなか中目黒」公開編集会議（12月22日）に、本学の学生・職員が参加し、次年度以降の関わり方を模索した。

豊島区 学長・総長と区長との懇談会（令和4年11月25日）

「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定書」に基づき、毎年、テーマを決め、豊島区長と区内の総長・学長の懇談会を開催している。

令和4年度のテーマは、『豊島区制施行100周年に向けた、区と大学とのさらなる連携について』であった。

本学は、「豊島区との音楽普及に係るアウトリーチ活動の更なる推進」について報告をした。

中目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会

第1回：2022年10月〔eラーニングによる事前学習訓練の実施、滞留者支援手順の確認訓練〕

第2回：2023年1月 令和4年度訓練の振り返り、実行性のある協議会活動に向けた対応方針の検討

第3回：2023年3月（書面開催）〔第2回協議会を踏まえた対応方針（案）・中目黒駅周辺滞留者支援ルール・行動計画、マニュアルの更新・今後の課題および来年度の活動内容〕を行った。

都市伝説ツアーズ in めぐる（（一社）めぐろ観光まちづくり協会）

（一社）めぐろ観光まちづくり協会の「都市伝説ツアーズ」の中目黒・代官山キャンパスの取材（令和5年3月23日）協力。

めぐろキッズレポーター

目黒区子育て支援課の「めぐろキッズレポーター」を、中目黒・代官山キャンパスの施設見学・取材（9月10日（土））において支援。次のURLにレポート掲載。

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/kosodate/kids_reporter/kidsreporter2022.files/kidsreport_202202.pdf

社会人のための講座紹介（株式会社ライボ Laibo Inc.）

株式会社ライボ Laibo Inc.が運営する「JobQ」（キャリアや転職に特化した匿名相談サービス）に、社会人講座の情報提供。令和5年3月29日公開。 <https://job-q.me/articles/14899>

「中目の黒本Vol.7」（令和5年3月26日発行）

「中目黒をさらに良くする連絡会」に協力し、本学外国人教員へのインタビュー記事「中目黒がウィーンになる日」、SDGs推進学生委員会支援の「中目黒アストラタワー・クリスマスツリー点灯式 音楽イベント」記事の編集。

1. 地域・社会連携

▶受託協力事業

広上マエストロがすべて見せます！ 音楽づくりの「舞台裏」（令和4年4月12・13日）

トヨタ自動車株式会社の依頼を受け、東京オペラシティ・紀尾井ホールにて、本学のシンフォニーオーケストラ、指揮科合同レッスンオーケストラが演奏。

第22回 別府アルゲリッチ音楽祭2022 ピノキオ支援コンサートオーケストラ・コンサート（令和4年5月16日）

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団からの依頼を受け、付属オーケストラ・アカデミーが演奏。

7月10日（日）投開票「参議院議員選挙」の啓発告知のポスター」 掲示（令和4年6月24日）

目黒区選挙管理委員会の依頼を受け、参議院議員選挙の啓発告知ポスターの掲示の依頼。

第4回としまおやこコンサート（令和4年6月26日）

東京商工会議所 豊島支部青年部の依頼を受け、Aホールにて、豊島区立高南小学校 高南ジュニアバンドと本学 シンフォニック ウインド アンサンブルの共演など。

ウクライナ支援チャリティーコンサート（令和4年7月3日）

目黒区、駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センターの共催により、TCMホールにて、ウクライナ出身のオクサーナ・ステパニウックの歌唱、本学の津野絢音（ピアノ）五十嵐 健太（サクソフォン）等の演奏。

フェスタサマーミュージア KAWASAKI2022**山本直純生誕 90 年と新日本フィル創立 50 年を祝う！**（令和4年8月3日）

公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団の依頼を受け、ミュージア川崎にて、本学の有志合唱団が共演。

としまコミュニティ大学「地域伝統芸能とまちづくり」（令和4年9月7日）

豊島区（学習・スポーツ課生涯学習グループ）の依頼を受け、本学 A 館A200にて、本学の福田裕美准教授の講演。

としまコミュニティ大学「アメリカのポピュラー音楽と社会」（令和4年10月21日）

豊島区（学習・スポーツ課生涯学習グループ）の依頼を受け、本学 A 館A200にて、本学の和田俊之特任教授の講演。

第21回みないけコンサート（令和4年10月22日）

豊島区立南池袋小学校の依頼を受け、Aホールにて、本学シンフォニック ウインド アンサンブルが演奏。

目黒区・金沢市 友好交流都市協定締結5周年記念イベント（令和4年10月22日）

金沢市の依頼を受け、クラフトビレッジ西小山にて、付属オーケストラ・アカデミーの有志が演奏。

中目黒GTプラザ商店会創設20周年 オータム フェスティバル2022（令和4年10月23日）

中目黒GTプラザ商店会の依頼を受け、GTタワー前広場にて、本学アクト・プロジェクトが演奏。

としまコミュニティ大学「3つのリセットワークで疲れにくいカラダ」（令和4年11月3日）

豊島区（学習・スポーツ課生涯学習グループ）の依頼を受け、本学 A 館A200にて、本学の長井芽乃講師の講演。

烏森小学校学芸音楽会に向けての指導・助言（令和4年11月7日）

目黒区教育委員会の依頼を受け、烏森小学校において、本学の神谷百子教授と学生がマリンバ演奏の指導・助言。

東京修学旅行コース別研修「特別講義」（令和4年11月11日）

岡山県立岡山操山中学校の依頼を受け、TCMホールにて、本学の栗田雅勝教授の講義。

豊島区制施行90周年記念事業**presents STAND UP! CLASSIC FESTIVAL'22 in TOSHIMA**（令和4年11月13日）

豊島区の依頼を受け、池袋西口公園野外劇場にて、本学の茂木大輔助教と学生が出演。

1. 地域・社会連携

▶受託協力事業

中目黒アトラスタワー クリスマスツリー点灯式 音楽イベント（令和4年11月26日）

中目黒アトラスタワーテナント会の依頼を受け、中目黒アトラスタワー クリスマスツリー設置前広場にて、SDGs推進学生委員会と付属オーケストラ・アカデミー有志が協働してイベント運営。

アラブ首長国連邦建国記念式典国歌演奏（令和4年12月2日）

駐日アラブ首長国連邦大使館の依頼を受け、ホテルオークラにて、本学の杉本正毅准教授の指揮の下有志学生が、アラブ首長国連邦と我が国の国歌を演奏。

シルバー大学の定例学習会「地域伝統芸能とまちづくり」（令和5年2月15日）

シルバー大学の依頼を受け、中目黒GTプラザホールにて、本学の福田裕美准教授の講演。

目黒区教育委員会連携講座『3つのリセットワークで疲れにくいカラダ～だれでも知っておきたい「カラダ」のこと～』（令和5年3月3日）

目黒区教育委員会の依頼を受け、本学のTCMホールにて、本学の長井芽乃講師の講演。

洗足駅開業100周年記念イベント（令和5年3月11日）

洗足商店街振興組合の依頼を受け、プリモ芸術工房にて、本学学生有志による演奏。

第37回中目黒桜まつり「ナカメ音楽祭2023」（令和5年3月26日）

中目黒商店街連合会の依頼を受け、合流点遊び場にて、本学の付属オーケストラ・アカデミーの有志が演奏。

▶演奏アルバイト

令和4年度から、演奏依頼者の意向を踏まえ複数の学生グループが提案をし、その提案の中から依頼者が受託者を決定して行く「演奏アルバイト」を開始した。令和4年度は、4件実施した。

東京豊島東ロータリークラブ

日時：令和4年6月22日（水）16:00～19:00 場所：ホテルメトロポリタン池袋
内容：式典での演奏 応募数：11グループ

東京商工会議所目黒支部

日時：令和5年1月18日（水）18:00～20:00 場所：ホテル雅叙園東京 2F「舞扇」
内容：「東京商工会議所目黒支部 新年賀詞交歓会」における出迎演奏とミニ演奏会
応募数：10グループ

西武信用金庫

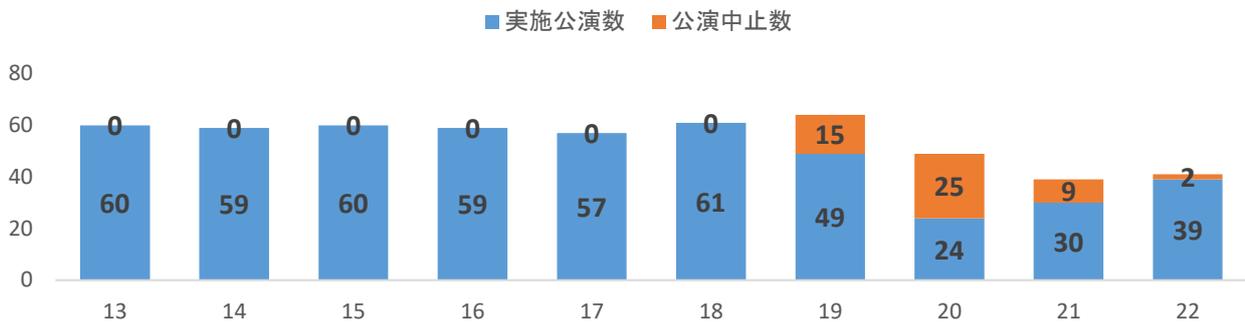
日時：令和5年2月9日（木）18:00～20:00 場所：中國飯店 花壇
内容：西武会総会新年会での演奏 応募数：3グループ

株式会社中目黒ジーティー

日時：令和5年4月2日（日）11:50～12:10 場所：中目黒GTタワー前広場
内容：中目黒GTスプリング・ゴスペル・フェスタのオープニングでの演奏
応募数：3グループ

2. 外部依頼演奏会

外部からの依頼演奏会 公演数推移 2013～2022



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1.みないけコンサート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2.としまおやこコンサート		1				1				1
3.回遊キャラバン	9	10	8	8	8	8	7	1	2	7
4.豊島区庁舎コンサート	5	5	4	6	6	6	4	2	4	6
5.マナビト開講式	1	1	1	1	1	1	1			
6.イケビズフェスタ					1	1	1	1	1	1
7.豊島区関連			2	3	6	4	4			1
8.目黒区関連					2	2	6		3	1
9.東京共済病院						3	3			
10.北本市文化センター	4	3	4	5	4	4	4	2	3	4
11.ラ・フォル・ジュルネ	1	1	2	1		1	1			
12.癒しの森コンサート	1	1	1	1	1	1	1			
13.マエストロ白熱教室	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
14.音大オケフェス	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2
15.合唱	5	6	8	6	4	7	4	4	5	4
16.京都国際音楽フェス	1	1	1	1	1	1	1			
17.ペーゼンドルファー	12	12	12	12	11	6	4	6	1	
18.表参道サロン	4	4	4	4	4	4	3	5	4	4
19.その他	13	10	9	7	4	7	2		3	7
公演数合計	60	59	60	59	57	61	49	24	30	39

1. みないけコンサート

主催：豊島区立南池袋小学校 開始：2002年12月15日（日）

実施対象：南池袋小学校児童とその保護者および近隣住民 会場：本学 100周年記念ホール

2. としまおやこコンサート

主催：東京商工会議所豊島支部青年部 開始：2012年11月11日（日）

実施対象：豊島区在住の小学生およびその保護者 会場：本学100周年記念ホール

3. 豊島区民ひろば 回遊音楽キャラバン

主催：豊島区 地域区民ひろば課 開始：2012年6月7日（木）

実施対象：豊島区在住の乳幼児およびその保護者をはじめとした多世代

会場：豊島区内の区民ひろば（回ごとに区民ひろばを変えて開催）

4. 豊島区庁舎ランチタイムコンサート（旧：豊島区庁舎ロビーコンサート）

主催：としま未来文化財団 開始：1988年11月10日（水）

実施対象：一般 会場：としまセンタースクエア（豊島区庁舎の多目的スペース）

5. としまコミュニティ大学「マナビト」開講式

主催：豊島区 学習・スポーツ課 開始：2011年6月4日（土）

実施対象：としまコミュニティ大学の年間登録者 会場：としまセンタースクエア

2. 外部依頼演奏会

6. イケビズフェスタ

主催：IKE・Biz としま産業振興プラザ指定管理者 としまのちから 開始：2017年11月23日（木・祝）
 実施対象：豊島区民 会場：IKE・Biz としま産業振興プラザ
 概要：ミニコンサート、楽器体験会等。

7. 豊島区関連

主催：豊島区、東京商工会議所豊島支部、豊島消防署など、開催内容により異なる
 開始：明確な開始時期は不明
 実施対象：開催内容により異なるが、主に豊島区民 会場：開催内容により異なる
 概要：本学は、2007年11月に「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定」を締結。

8. 目黒区関連

主催：目黒区、商工会議所目黒支部、目黒区芸術文化振興財団など 開始：2017年6月29日（木）
 実施対象：開催内容により異なるが、主に目黒区民 会場：開催内容により異なる
 概要：「上目黒一丁目地区プロジェクト」の事業について、まちづくり計画に目黒区と連携していくこととしており、音楽での地域貢献をまちづくりに資する取組としている。

9. 東京共済病院 コンサート

主催：東京共済病院 医療サービス推進委員会 開始：2018年4月2日（月）
 実施対象：東京共済病院で療養中の患者およびその家族、近隣住民
 会場：東京共済病院 南館1階・エントランス

10. 北本市文化センター 東京音楽大学提携事業シリーズ

主催：北本市文化センター指定管理者 acTrC 北本ネットワーク 開始：2010年9月23日（木・祝）
 実施対象：一般 会場：北本市文化センター ホールロビー
 概要：北本市と本学との音楽文化事業の連携に関する協定により、音楽による地域文化の創造をめざし、活力ある個性豊かな地域文化の形成と発展に寄与することを目的としたものである。

11. ラ・フォル・ジュルネ

主催：ラ・フォル・ジュルネTOKYO運営委員会 開始：2012年5月3日（木・祝）
 実施対象：一般 会場：東京国際フォーラム、東京芸術劇場
 概要：ラ・フォル・ジュルネは、1995年フランス西部ナントで始められたクラシック音楽祭であり、日本では2005年から東京国際フォーラムで開催が始まったイベントである。

12. 癒しの森コンサート

主催：癒しの森コンサート実行委員会 開始：2011年9月3日（土）
 実施対象：信濃町民、信濃町への観光客 会場：信濃町総合体育館
 概要：2012年2月に、本学と長野県信濃町、信濃町森林療法研究会の三者により「癒しの森協定」を締結。心豊かで活力ある地域社会の実現を主目的のひとつとして開催される演奏会。

13. マエストロの白熱教室

主催：青葉区民文化センター フィリアホール 開始：2013年9月29日（日）
 実施対象：一般 会場：青葉区民文化センター フィリアホール
 概要：本学で指揮を学ぶ学生たちと、広上淳一教授による対話型の公開授業（レッスン）として開催。生涯にわたって音楽を楽しんでいくためのより深い「学び」を提供する企画。

14. 音楽大学オーケストラフェスティバル／音楽大学フェスティバルオーケストラ

主催：音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会、東京芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール
 開始：2009年12月13日（日） 実施対象：音楽大学の学生、一般
 会場：東京芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール

16. 京都・国際音楽学生フェスティバル

主催：ロームミュージックファンデーション 開始：2001年5月26日（土）～30日（水）
 実施対象：一般 会場：京都府立府民ホール「アルティ」
 概要：国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催。本学では、数年に一度、代表校として出演している他、選抜学生が合同演奏に参加している。

17. ベーゼンドルファー ランチタイムコンサート／アフタヌーンコンサート

主催：ベーゼンドルファー東京 開始：2013年4月19日（金）
 実施対象：一般 会場：ベーゼンドルファー東京 展示サロン（ランチタイムコンサート）

18. 東京音楽大学表参道サロンコンサートシリーズ

主催：カワイ音楽振興会 開始：2008年1月28日（月）
 実施対象：一般、カワイ表参道店利用者 会場：カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」

社会貢献

3. 社会人講座

1. 付属民族音楽研究所主催 実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座 (有料)

ガムラン講座 (年間30回程度)

ガムランの演奏・舞踊を広く学んで頂けるよう社会人を対象としたガムランの講座を開講。

1.合奏コース 2.舞踊コース

民族楽器入門講座 (春、秋各6回)

世界各国の珍しい民族楽器の奏法や歴史を学ぶ講座を開講 ※2020年度以降は開講無し

民族音楽等 社会人特別講座

邦楽、古楽器及び民族楽器を習得しようとする社会人が、本講座における個人レッスン(含アンサンブル)で、楽器もしくは舞踏の実技を学ぶ。

1.教養コース 2.研究コース

個人レッスン 年間25回、1回40分 講義 年間20回、1回80分
 〈民族楽器〉 〈民族舞踊〉 〈邦楽器〉 〈古楽器〉

アンサンブル講座 初級・中上級 全6回 1回90分

箏 二胡 コムズ リコーダー 定員：各10名

入門講座 グループ・個人レッスンの組み合わせ 全6回 1回90分

馬頭琴 古箏 定員：各1名 リュート 定員7名

※上記講座の過去の実績は「民族音楽研究所」のページ参照。

2. 社会人講座 ピアノ個人レッスン (有料)

東京音楽大学ピアノ実技担当教員による初心者から上級者、プロフェッショナルな方々までを対象にした個人レッスン形式の社会人講座。

本学ピアノ、ピアノ演奏家コースの専攻実技の指導、研究にあたっているピアノ教員が、それぞれの目標と課題に沿って適切な指導を行う。

受講料 1回40分 事前にレッスンチケット5回分をご購入。

レッスンチケット 5回分/40,000円(税込み)

※レッスンチケットは発行日から1年間有効。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
受講者数	29名	25名	29名	募集無し	募集無し	75名

※2020、21年度はコロナ禍のため開講無し 2022年7月再開

3. 東京音楽大学指揮研修講座 (有料)

指揮にかかわる技術や知識を体系的かつ実践的に修得することを通して、創造力に満ちたリーダーを育てる東京音楽大学作曲指揮専攻の独創的な教育を、社会人などを対象に広く一般に公開。

内容 ①指揮レッスンの受講(半期15回程度)

②指揮マスタークラスへの参加(不定期)

	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
受講者数	募集無し	31名	50名	55名	65名	70名

※2020年度春期はコロナ禍のため開講無し。

4. SDGs

▷ SDGs推進の歩み

東京音楽大学環境方針の制定 令和4年7月12日

SDGs推進センターの発足 令和4年7月26日

SDGs推進学生委員会の発足 令和4年7月26日

SDGs推進施策の決定 令和4年9月22日

▷ 東京音楽大学環境方針

東京音楽大学は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたSDGsが掲げる目標に対し、「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを目指し、教育・研究・社会貢献に係る活動において、持続可能な社会の実現に貢献します。さらに、カーボン・ニュートラル社会の形成を目指し、環境に配慮し、大学の社会的責任として環境負荷の軽減と環境汚染の予防やキャンパス環境の改善に努めます。これらのことを実現するために、次を実施して参ります。

1. 持続可能な社会の実現に係わる教育・研究を意欲的に展開し、社会が必要とする能力の高い人材を養成します。
2. SDGsが掲げる目標に対し、音楽を通じ、地域社会を含むあらゆる人々に対する教育、啓発、普及活動などに取り組みます。
3. 環境負荷の軽減等を踏まえ、環境マネジメントシステムを構築しキャンパス環境の継続的改善を図ります。
4. 環境方針をすべての構成員に周知し、実行するとともに、その結果を広く一般にも公開します。

▷ 2022年度の活動

① SDGs推進学生委員会ミーティング 令和4年8月8日（月）～

SDGs学生委員会代表と社会連携部職員との打合せ 原則週一回

② 「演奏会での標準的なSDGsの取組」 令和4年9月22日発表

本学の学生・教職員が演奏会の際に、SDGsの3番（健康・安らぎ）、4番（生涯学習）、10番（平等）、11番（まちづくり）、16番（平和）、17番（パートナーシップ）の6つの目標を意識して活動することを発表。

③ ナカメをデザインする会議 令和4年10月27日（金）・12月8日（木）

令和5年度に策定する「未来ビジョン」とエリアプラットフォーム構築のための準備会にSDGs学生委員会代表と社会連携部職員で参加

④ エコプロ SDGs Week EXPO 2022 令和4年12月8日（木）

SDGs学生委員会の学生と社会連携部職員で参加。上智大学サステナビリティ推進本部の学生等の情報交換。

⑤ なかなか中目黒編集会議 令和4年12月22日（木）

SDGs学生委員会の学生と社会連携部職員で参加。ナカメをデザインする会議が掲げる施策「ローカルメディア」の中で本学ができることを検討。

⑥ 中目の黒本Vol.7 令和5年3月26日発行

SDGs学生委員会の学生が、「中目黒アトラスタワー・クリスマスツリー点灯式 音楽イベント」における、本学が掲げる「演奏会での標準的なSDGsの取組」状況取材し、「中目の黒本Vol.7」に投稿。

1. 国際交流

2022年度 短期留学協定校

- ・ギルドホール音楽演劇学校(イギリス)
- ・リセウ高等音楽院(スペイン)
- ・ザルツブルク・モーツァルテウム大学(オーストリア)
- ・ショパン音楽大学(ポーランド)
- ・ハノーファー音楽・演劇・メディア大学(ドイツ)
- ・シベリウス・アカデミー(フィンランド)
- ・リスト音楽院(ハンガリー)

2022年度 長期留学協定校

- ・ハダースフィールド大学(イギリス)
- ・サセックス大学(イギリス)
- ・バーミンガム音楽院(イギリス)

インドネシア国立芸術大学スラカルタ校 (Institut Seni Indonesia Surakarta)との 教育研究連携

2019年8月28日、インドネシア国立芸術大学スラカルタ校 (Institut Seni Indonesia Surakarta) において、本学と同大学との教育研究連携に関する学術協定覚書 (Memorandum of Understanding for Educational Cooperation between Tokyo College of Music (TCM) Japan and Institut Seni Indonesia (ISI) Surakarta) の調印式が行われました。協定は、学生の交流、教員ならびに研究者の交流、視聴覚資料や学術書に関する研究交流、共同研究、演奏会やセミナーの共同開催、そのほか人的・物的資源の相互活用など、密接に協力、連携し、芸術文化の振興に寄与することを目的としています。

国際交流演奏会 2015～

2015	10月	第一回東京音楽大学・ローマ・サンタチェチーリア音楽院交換留学生紹介コンサート
2017	6月	New Connections 東京音大の学生による国際交流コンサート
2017	7月	ソウル芸術高校・東京音楽大学交流演奏会 東京音楽大学教師によるマスタークラス
2017	12月	リスト音楽院・東京音楽大学交換留学プログラム2017修了演奏会
2017	1月	モーツァルテウム大学・東京音楽大学交換留学プログラム2017演奏会
2018	5月	ソウル芸術高校・東京音楽大学交流演奏会 東京音楽大学教師によるマスタークラス
2019	6月	京都・国際音楽学生フェスティバル2019
2019	5月	東京音楽大学&南京芸術学院 交歓演奏会
2019	6月	日本・ポーランド国交樹立100周年記念交流コンサート
2019	11月	東アジア文化都市2019豊島パートナーシップ事業「東アジアとクラシック音楽その現在と未来」
2019	11月	国立台北芸術大学 東京音楽大学 交流演奏会
2020	2月	交換留学プログラム 2019年度修了演奏会
2022	12月	ブータン・日本伝統音楽の交流レクチャーコンサート 王立ブータン大学パロ教育カレッジ

1. 国際交流

海外演奏旅行

1978年	管弦楽団・吹奏楽団「創立70周年記念アメリカ親善演奏旅行」 ロサンゼルス／アリゾナ／オレゴン／サクラメント（指揮：森正）
1979年	管弦楽団・吹奏楽団「中国親善演奏旅行」 北京／杭州／上海（指揮：森正）
1981年	管弦楽団・吹奏楽団「東西ドイツ演奏旅行」 カール・マルクス・シュタット／ゲーラ／ベルリン／ボン（指揮：森正）
1983年	管弦楽団・吹奏楽団「オーストリア・ハンガリー演奏旅行」 リンツ／ウィーン／ブダペスト／デブレゼン（指揮：森正）
1984年	管弦楽団「東西ドイツ演奏旅行」 シュタスフルト／西ベルリン／ライプツィヒ／ドレスデン／イエナ／ワイマール ／東ベルリン／ホイエルスヴェルダ（指揮：オラフ・コッホ）
1988年	合唱団「ハンガリー・オランダ演奏旅行」 ブダペスト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
1993年	シンフォニーオーケストラ「アメリカ演奏旅行」 シカゴ／ニューヨーク／ワシントンD.C.（指揮：広上淳一）
1998年	合唱団・ピアノ協奏曲ソリスト「オランダ演奏旅行」 ユトレヒト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
2000年	室内楽アンサンブル「ドイツ・オーストリア演奏旅行」 ハノーファー／ベルリン／ケルン／ザルツブルク（指揮：西村朗）
2009年	シンフォニーオーケストラ「ドイツ・チェコ・オーストリア演奏旅行」 ミュンヘン／プラハ／バンベルク／ウィーン（指揮：広上淳一）
2011年	吹奏楽「台湾演奏旅行」 台北／台中／高雄（指揮：汐澤安彦）
2012年	シンフォニーオーケストラ「チェコ・ハンガリー・オーストリア演奏旅行」 テプリツェ／プラハ／ブダペスト／グラーツ（指揮：小林研一郎）

バイエルン州立青少年オーケストラ 合宿・演奏会派遣学生数

楽器	2015		2016		2017		2018		2019		2022		合計
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏*	冬	夏	冬	夏	冬	
ヴァイオリン	3	4	3	1	1	1		1	1	1	1	1	18
ヴィオラ	3	3	3	3	1	2		3	3	3	4	3	31
チェロ		3		1		1		1	1		1		8
コントラバス	4	2	2	2		1		1	1		2	2	17
指揮の勉強					1								1
合計	10	12	8	7	3	5		6	6	4	8	6	75

* 2018年夏期は、大学の授業と重なった為、派遣を中止。2020,21は派遣無し。

グローバル

2. 派遣留学生

短期留学奨学生数 2013～2022

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計	声楽	ピアノ	弦	管打	作曲
モーツァルト音楽大学 夏期国際音楽アカデミー	10	9	8	8							35	12	7	9	7	
シベリウス音楽院			1	1		2	1				5		3	1	1	
英国国立音楽院	2		1	1	1	1					6		5(1)	1		
ギルドホール音楽演劇学校	3	2	2	2	4	6	6			7	32	11	17	4		
ハノーファー音楽演劇メディア大学			1	1	2	1	1			1	7		6(1)	1		
リュエイク＝マルメゾン地方音楽院	1	2	4	1	2	1					11					11
リスト音楽院		1	2			2	2				7		7			
ローマ・サンタチェチーリア音楽院			1		2	5					8	8				
folkwang芸術大学					1						1		1			
国際・ホルンターゲ					2		2				4					4
国際アンサンブル・モデルン・アカデミー					1	1					2					2
サセックス大学						2					2		1(1)	1(1)		
中国中央音楽院						1					1					1
リセウ高等音楽院							1			1	2	1	1			
シヨパン音楽大学							1			1	2		2			
ロイヤルバーミンガム音楽院							1				1					1(1)
モスクワ音楽院							1				1		1			
ハダースフィールド大学							2				2		1(1)			1(1)
年度別合計	16	14	20	14	15	22	18	0	0	10	129	32	52	17	25	3

()内はミュージック・リベラルアーツ専攻生。

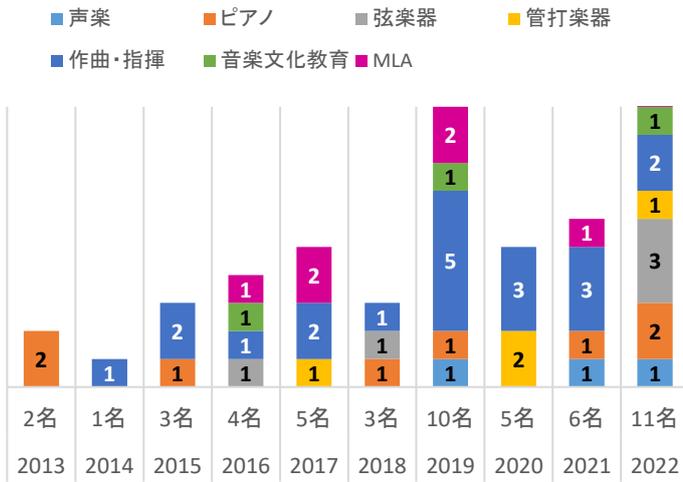
グローバル

3. 受入留学生(交換留学生)

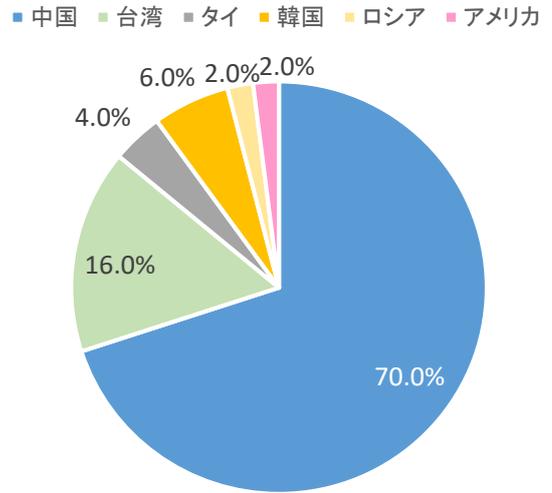
年度	提携学校名	専門	人数
2015	ローマ・サンタチェチーリア音楽院	作曲	1
2016	シベリウス・アカデミー	作曲	1
2016	シベリウス・アカデミー	民族音楽	1
2017	モーツァルト音楽大学	ヴィオラ	1
2017	リスト音楽院	ピアノ	1
2018	リスト音楽院	民族音楽	1
2019	シベリウス・アカデミー	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ギター	1
2022	バーミンガム音楽院	MLA	1
2022	シベリウス・アカデミー	コントラバス	1

3. 受入留学生

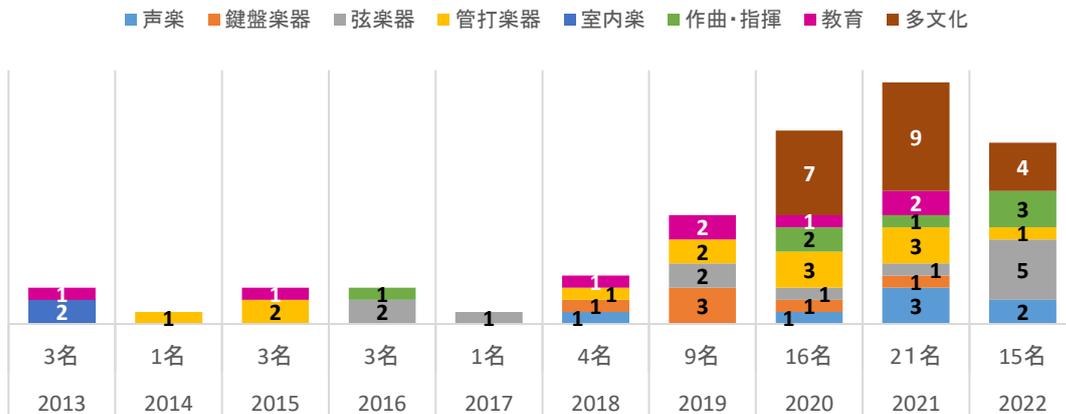
留学生入学者数(学部)



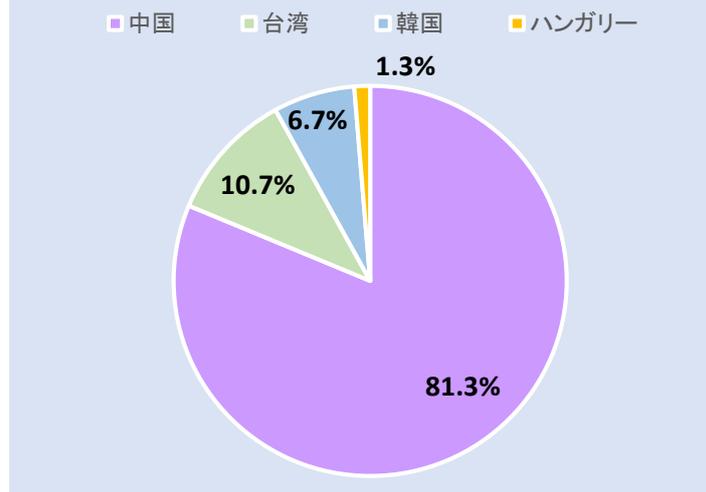
留学生・国籍分布(学部)2013~2022



留学生入学者数(修士)



留学生国別分布(修士)2013~2022



1. 研究助成金等

科学研究費採択件数・獲得金額の推移



年度	研究者	研究課題
2012～2014	太田暁子	菊亭家旧蔵資料にみる江戸期の公家における雅楽に関する研究
2015～2017	大和田和治	構文に基づいた英語の自動詞・他動詞の習得を促す教材の開発
2014～2016	下道郁子	寮歌の形成過程とその展開に関する研究—変容する音楽文化としての再検討
2015～2017	藤田 茂	アンリ・デュティユー研究：20世紀ポスト調性音楽におけるシステムと自由の問題
2015～2017	太田暁子	三味線譜を主軸とする義太夫節の音楽学的基礎研究
2013～2018	福田裕美	日本の民俗芸能の記譜資料に関する基礎的研究-音楽の伝承の観点から-
2015～2017	武石みどり	洋楽受容とジャンル形成・分化の軌跡—演奏記録・レコード・楽譜・演奏者の観点から
2018～2019	小日向英俊	在日インド系コミュニティの音楽とその動態
2018～2019	武石みどり	明治～昭和初期の洋楽受容の諸相—演奏の場・人・曲目・ジャンル・メディア
2019～	福田裕美	民族芸能公演をめぐるアートマネジメントの基礎的研究—伝承と創造の観点から
2020～2023	金城 厚	琉球王国の儀礼芸能の再現に関する芸能史的研究
2020～2024	藤田 茂	現代音楽のフォルムの想像力：メシアン・デュティユー・プーレーズの言説と草稿の検証
2020～2024	早坂牧子	三浦環の歌：録音と演奏評分析による20世紀初期日本人声楽家の歌唱スタイル考察
2021～2014	下道郁子	明治・大正期の旧制高等学校の応援歌の研究—集団歌唱の需要と変容
2021～2025	太田暁子	女流義太夫に関する音楽学的基礎研究
2022～2025	武石 みどり	洋楽合奏から交響楽へ —明治末期～昭和初期の洋楽受容史再考

1. 研究助成金等

科学研究費獲得金額 私立大学内本学順位

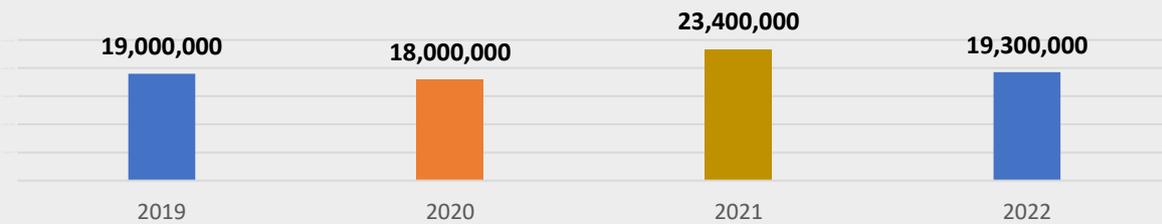


本学獲得金額 私立音楽大学内順位



※私立大学等順位は教育学術新聞より。

文化庁 文化芸術振興費補助金（大学における芸術推進事業）補助金額（円）



2019~2021年度

日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント人材育成

～「伝統×伝統」, 「伝統×現代」, 「伝統×地域」のクロスオーバーによる新たな価値の創出を目指して～

2022年度～

伝承を担うフィールドからまなび、とものつくり、地球へつなぐアートマネジメント人材育成

—伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創出を目指して—

※2022年度の活動内容詳細は民族音楽研究所H.P.参照。

2. リポジット

研究紀要掲載論文数 2013～2022



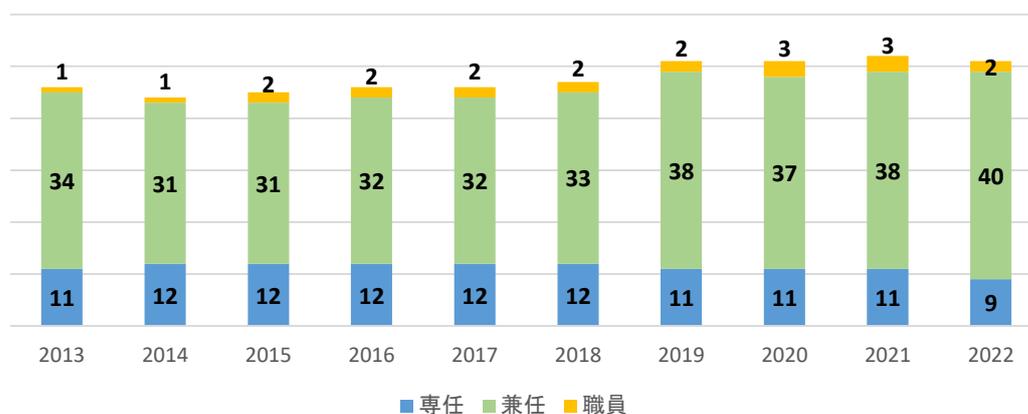
Ⅱ. 付属高等学校

1. 沿革

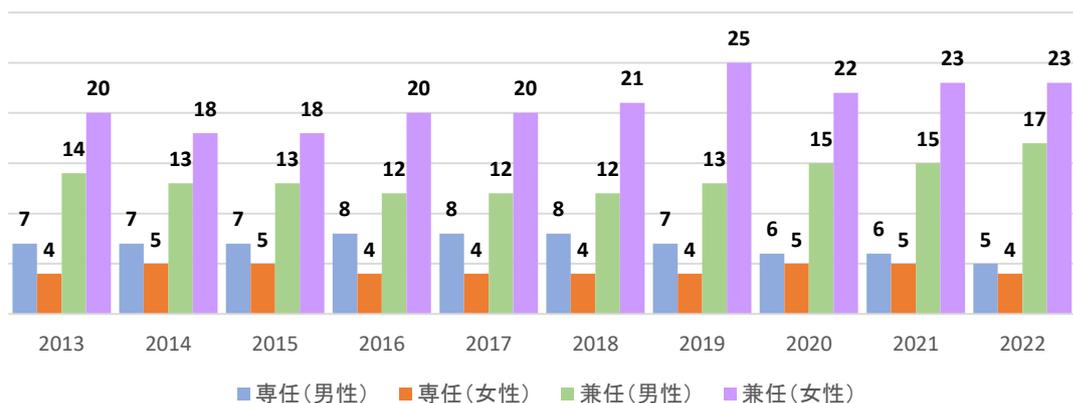
1932年	東洋音楽学校普通科設立
1943年	東洋高等実業女学校開設
1949年	東洋高等学校(音楽科)開設
1963年	大学設置に伴い東洋音楽大学付属高等学校に改称
1969年	東京音楽大学付属高等学校と改称
1977年	文京区関口に移転
2004年	音楽総合コース開設
2021年	豊島区雑司が谷(東京音楽大学池袋キャンパスJ館)に移転

2. 教職員数

教職員数推移



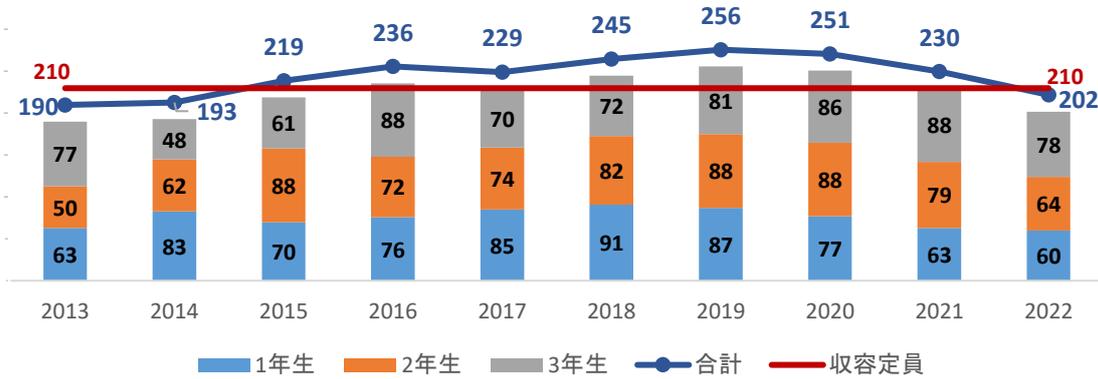
教員数男女比



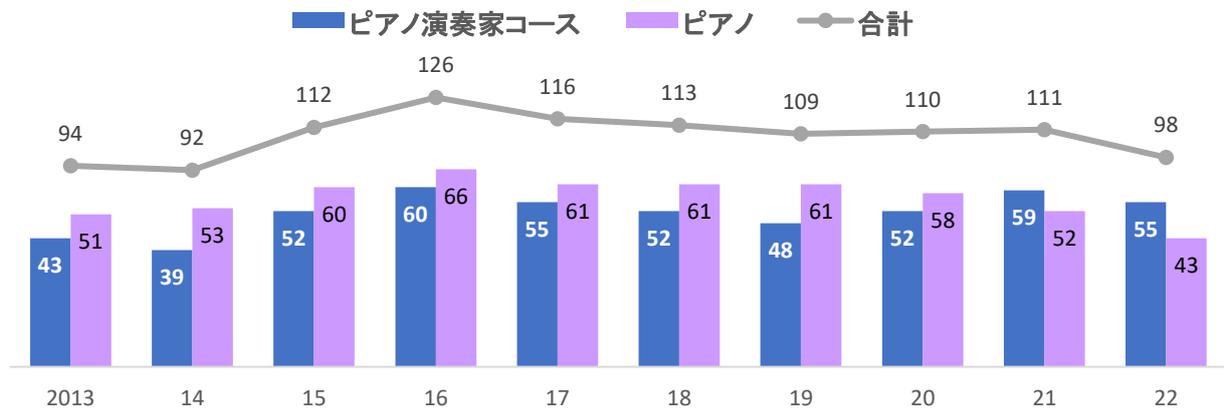
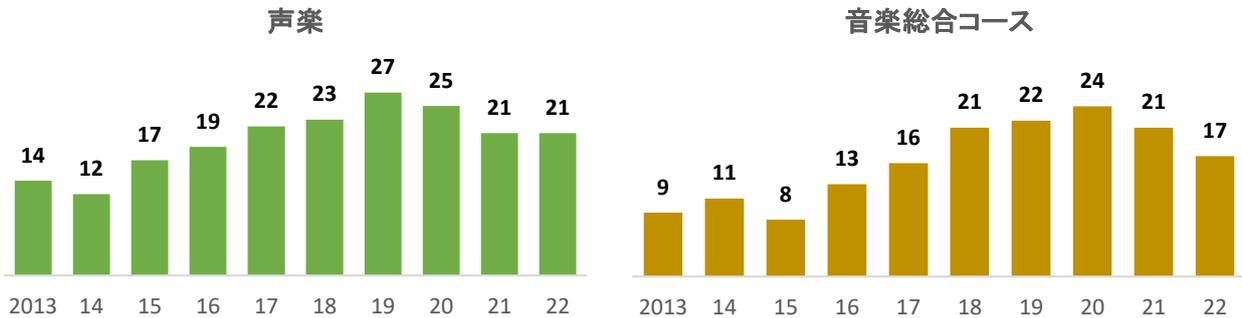
3. 生徒数

2018年度以降新入生数の減少があり、全体の数が減少傾向にある。
どの専攻も全体数の推移とほぼ同じ増減の動きをしている。

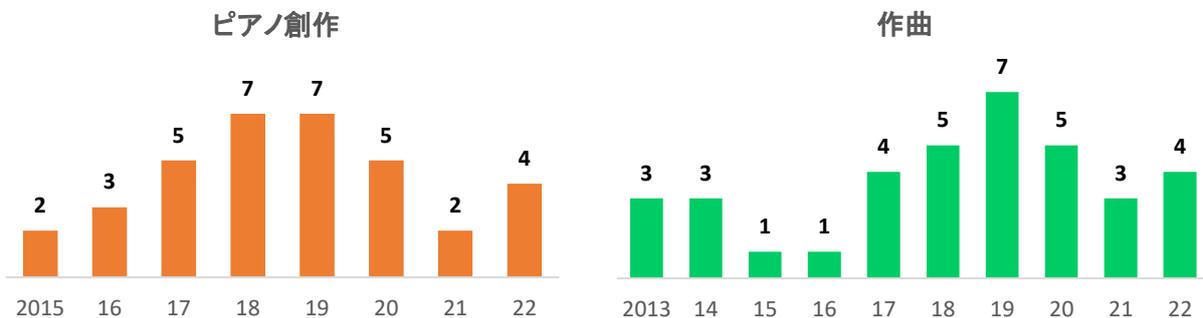
附属高等学校在籍数推移



専攻・コース・楽器別在籍数推移

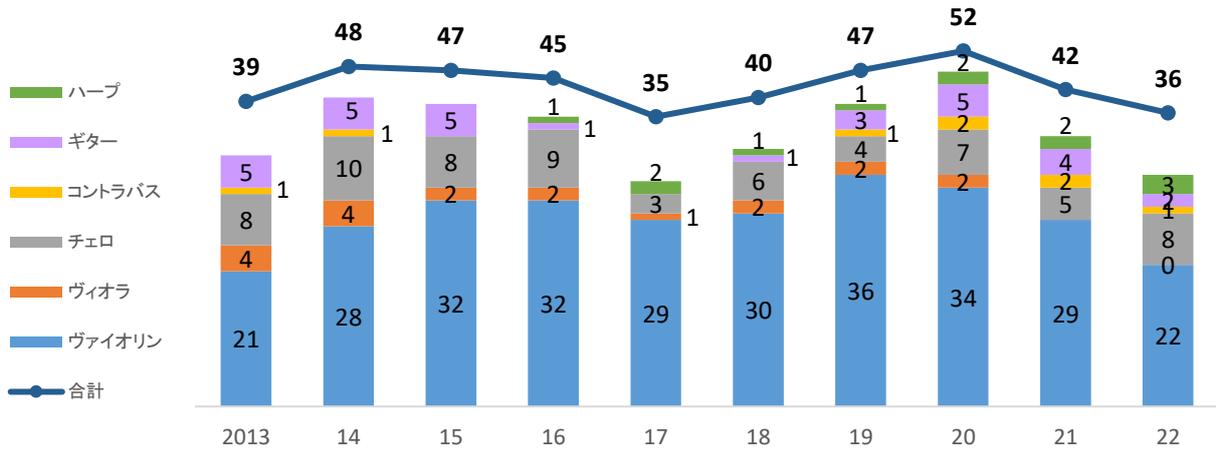


2012年度以降ピアノ専攻と演奏家コースとの人数の差が極端に縮まり、2021年度は初めて逆転している。

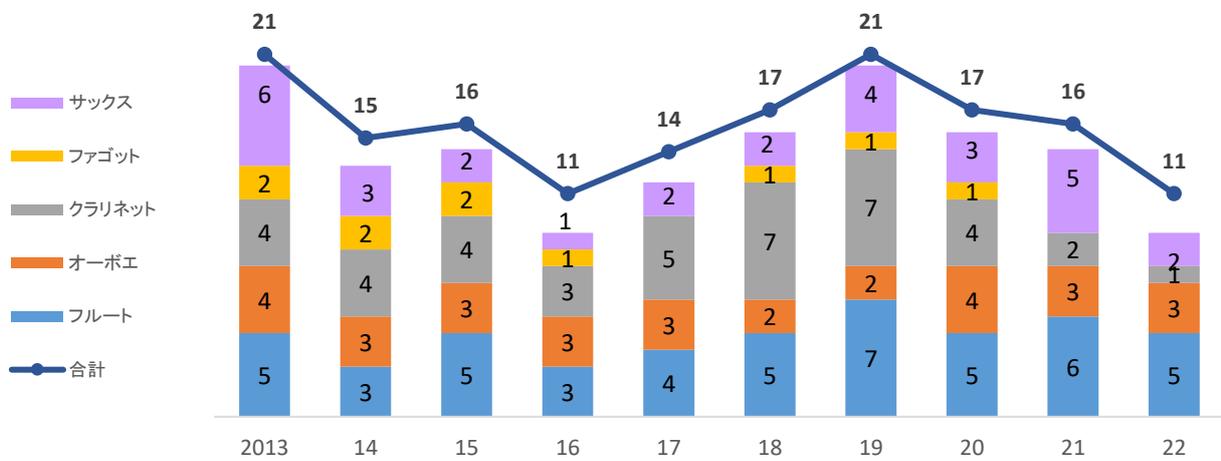


3. 生徒数

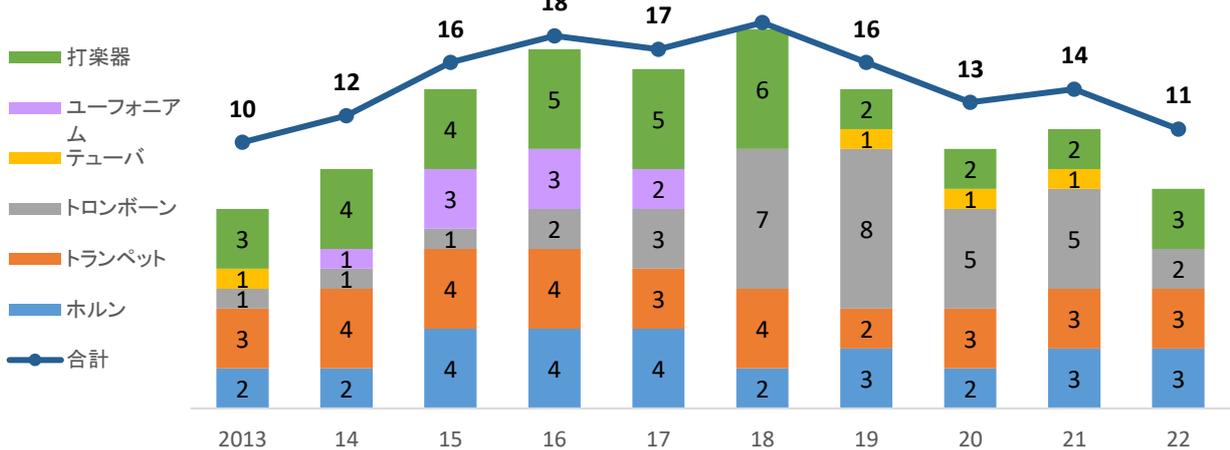
弦楽器



木管楽器

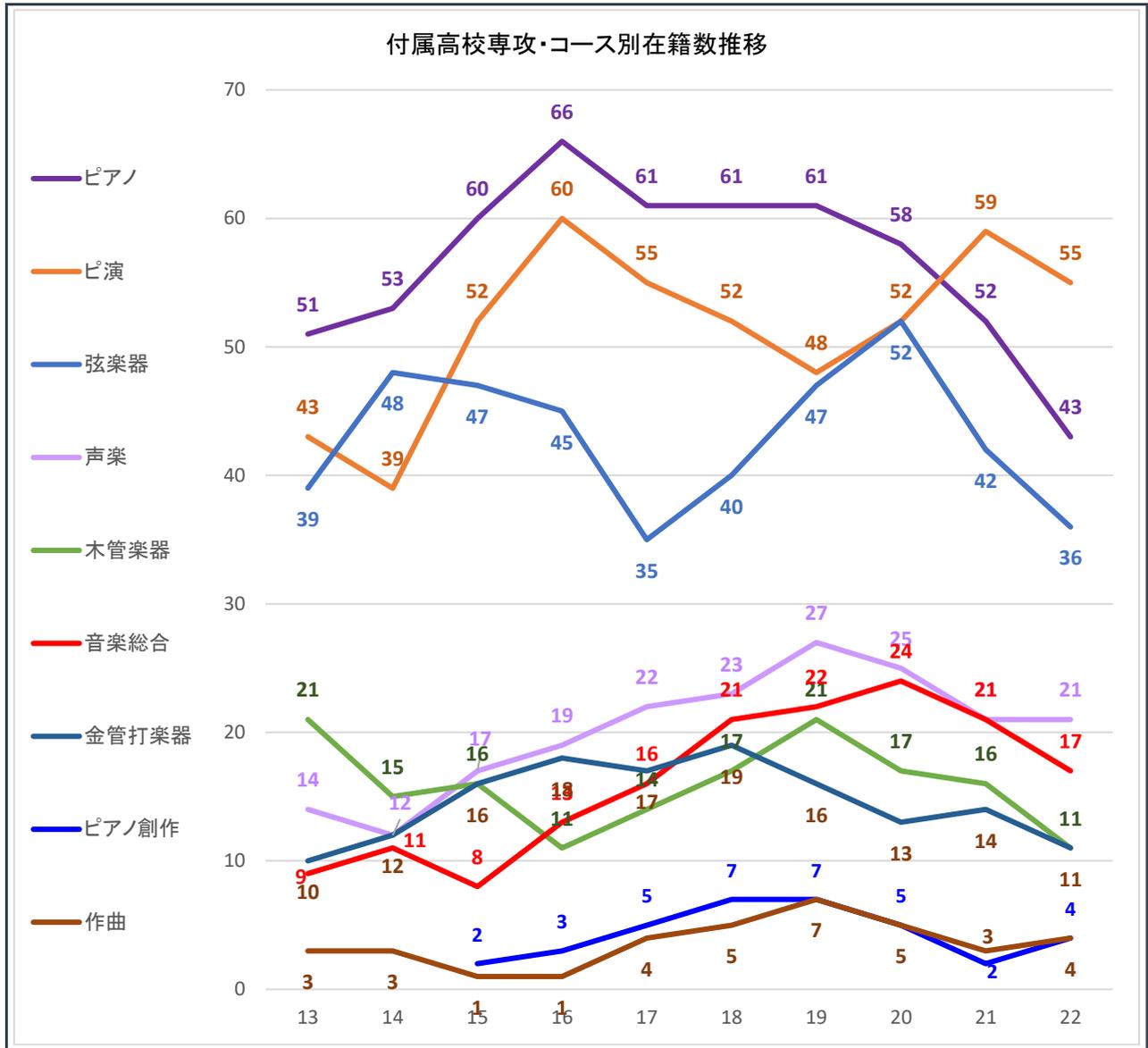


金管・打楽器

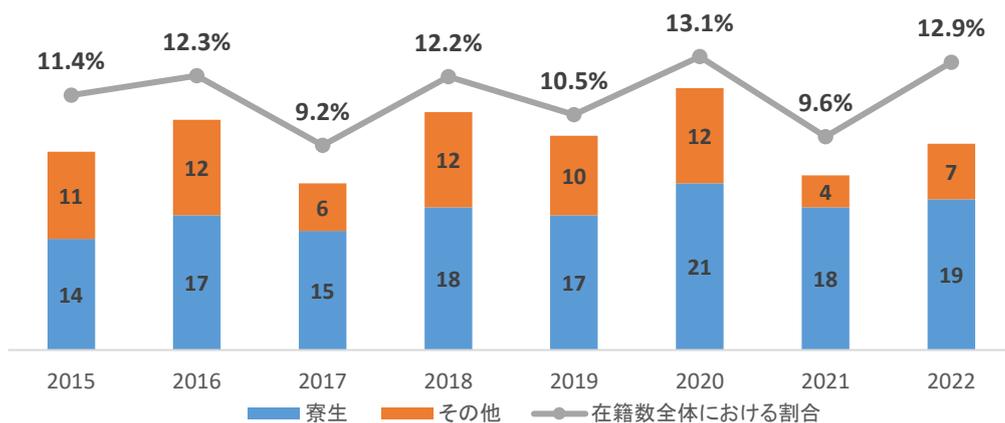


3. 生徒数

ピアノ・ピアノ演奏家コース・弦楽器については年により極端な増減が起こるが、他は緩やかである。



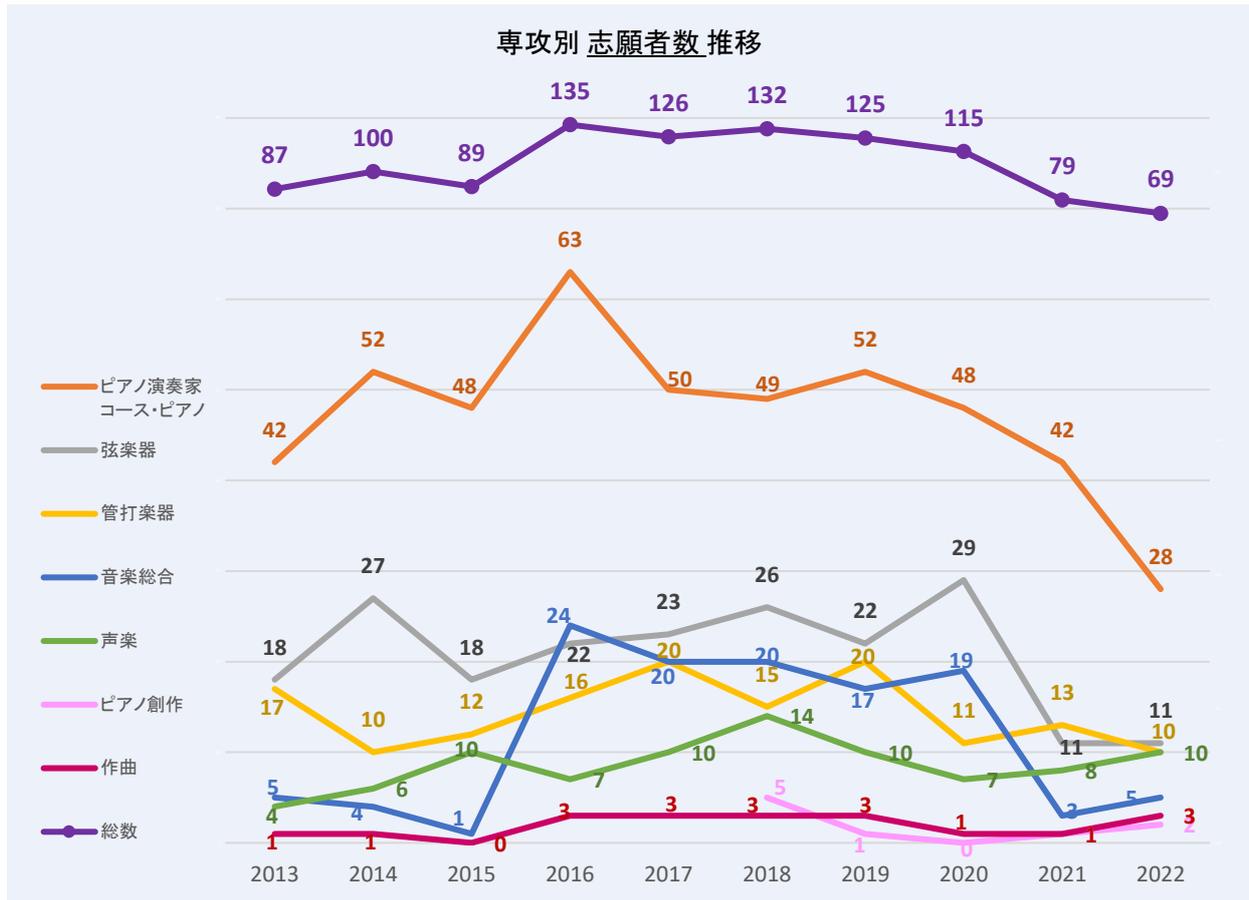
実家以外から通学する生徒数と全体における割合



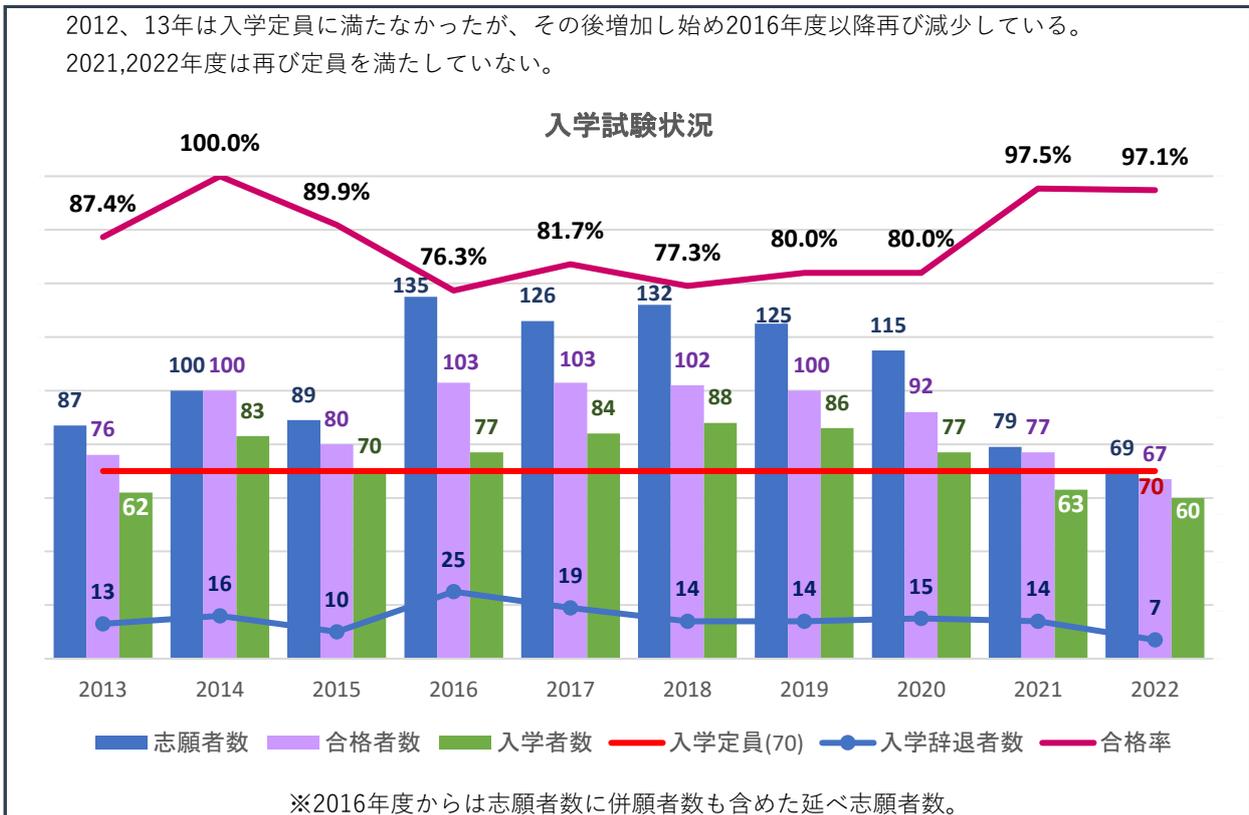
年よっての増減が見られ、現在のところ増加傾向とも減少傾向とも言えない。

4. 入試・入学状況

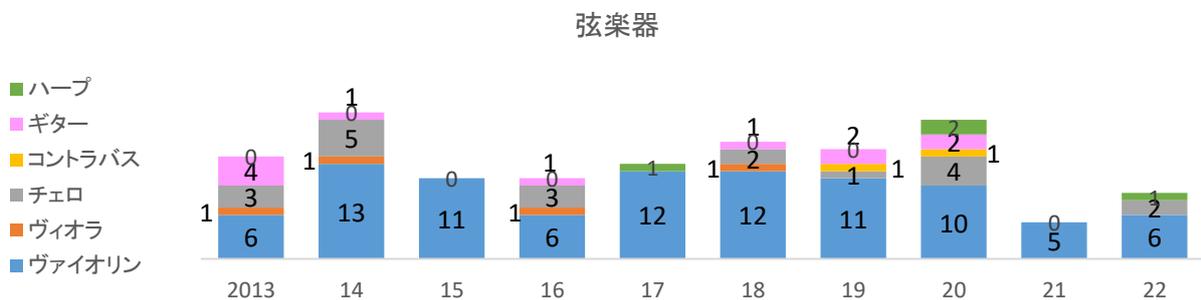
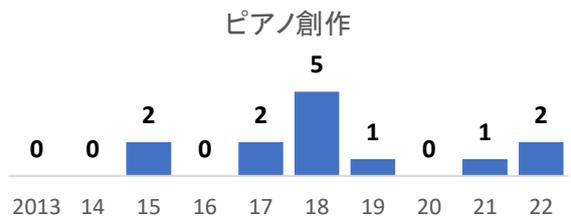
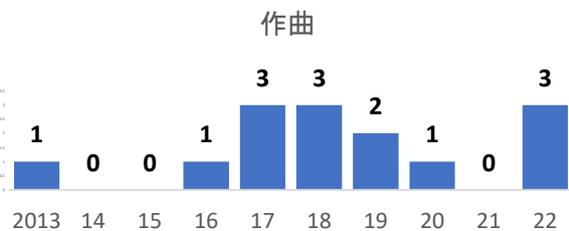
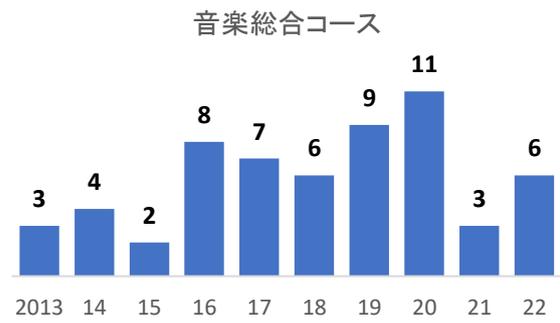
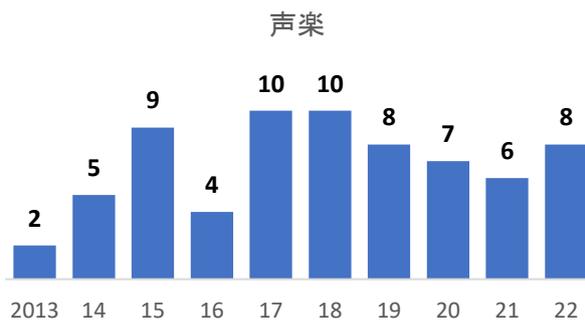
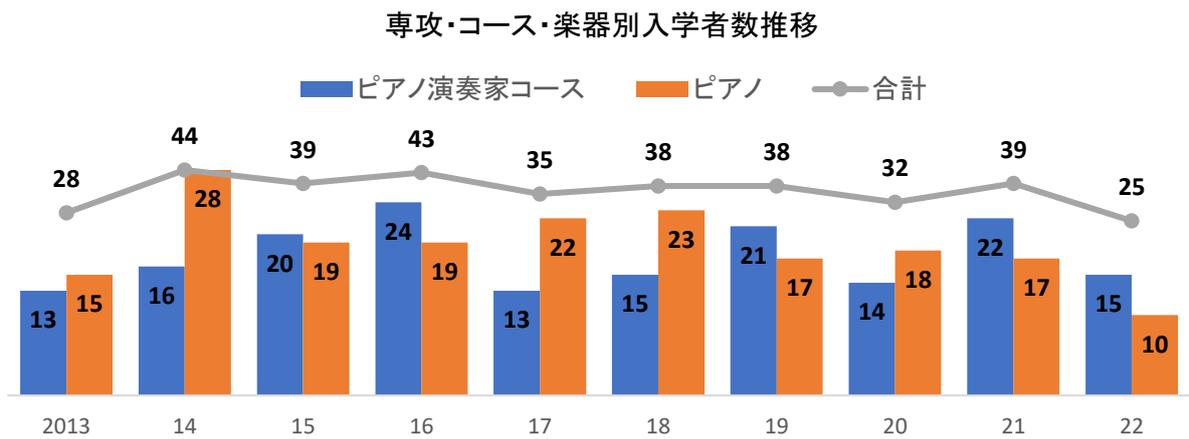
増減の波が大きな専攻もあるが、全体として減少傾向にある。



2012、13年は入学定員に満たなかったが、その後増加し始め2016年度以降再び減少している。2021,2022年度は再び定員を満たしていない。



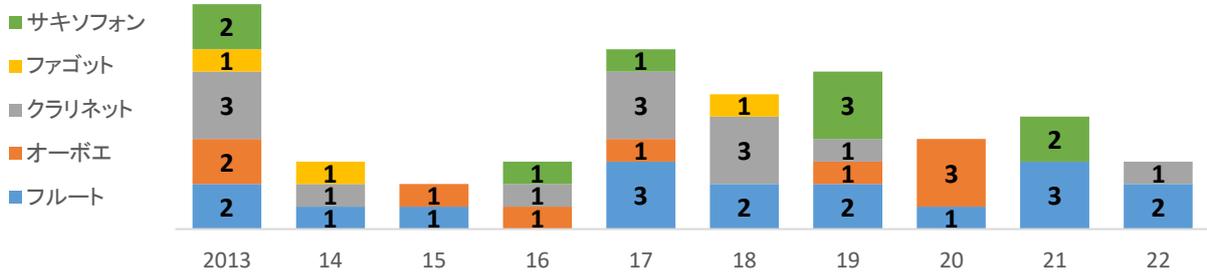
4. 入試・入学状況



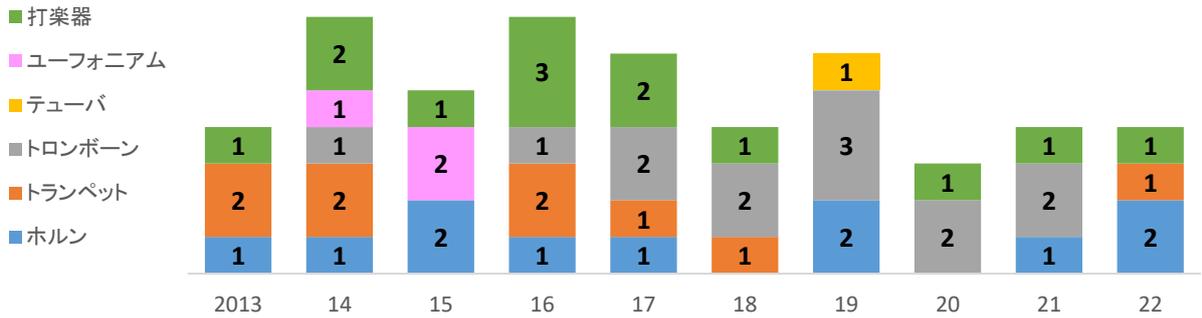
4. 入試・入学状況

専攻・コース・楽器別入学者数推移

木管楽器



金管・打楽器



附属高校 専攻・楽器別 入学辞退者数



入学辞退者の楽器別割合

ピアノ	32.0%	音楽	10.1%	その他	20.2%
ヴァイオリン	31.50%	ピアノ演奏家コース	6.2%		

4. 入試・入学状況（講習会参加者数）

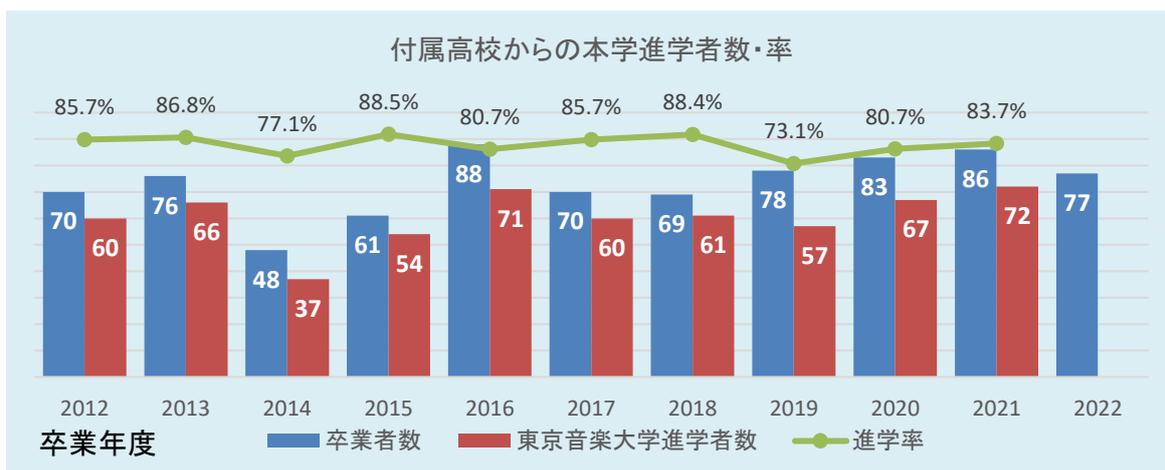


入学試験志願者数の推移と同じように講習会参加者数も減少傾向にある。

奨学金



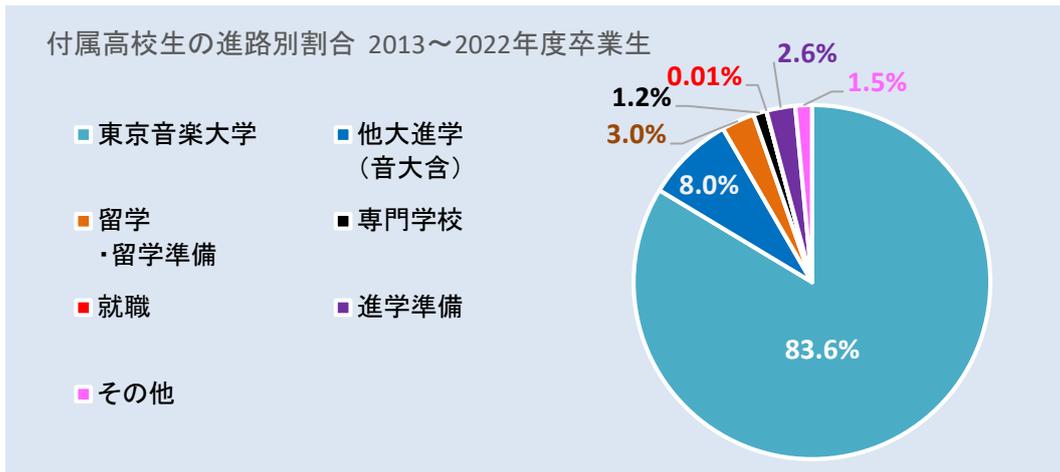
5. 卒業・進路



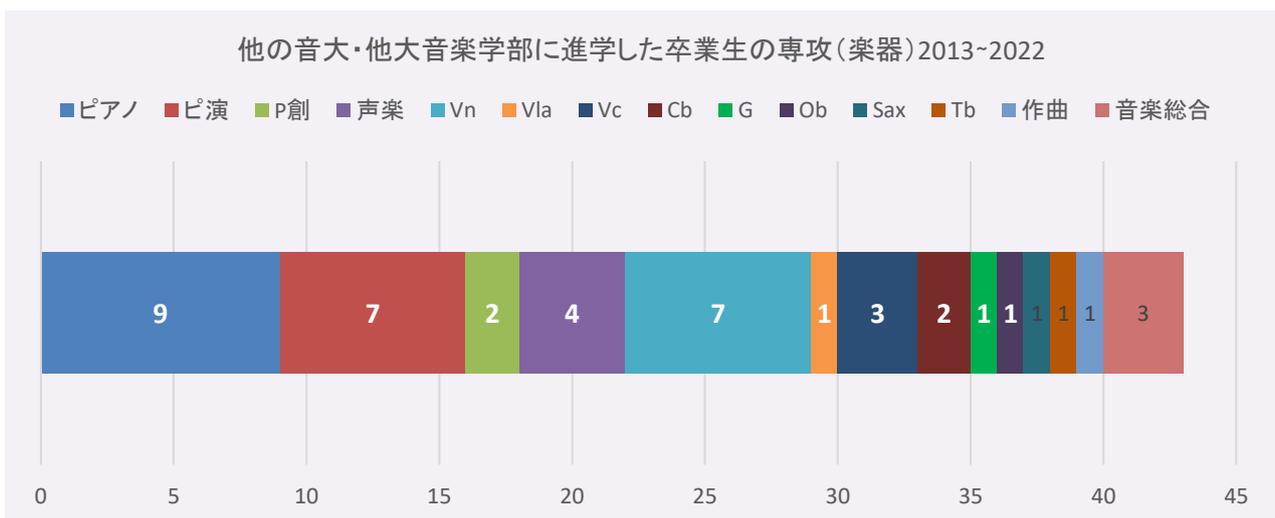
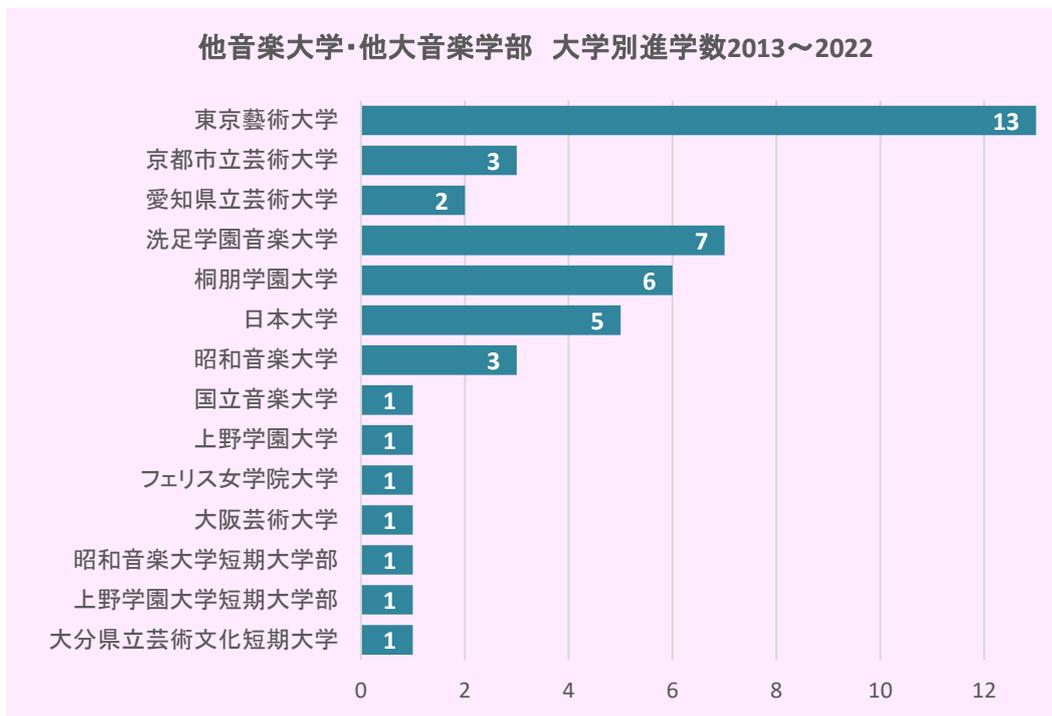
グラフ内の年度は卒業年度。進学者の入学年度は次年度となる。

2018年度以降付属高校の入学者が減少していくので、今後卒業生数が減少していくことになる。

5. 卒業・進路



平均すると卒業生の約8割が東京音楽大学に進学していることになる。

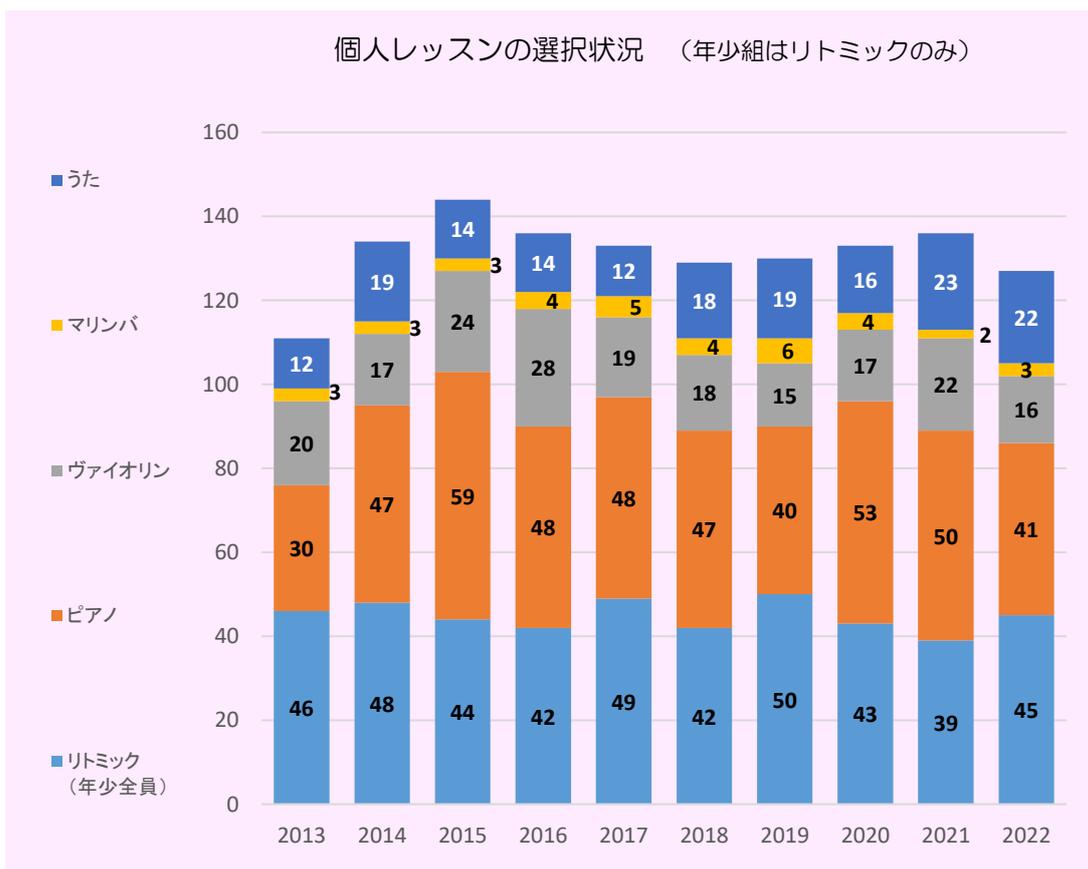
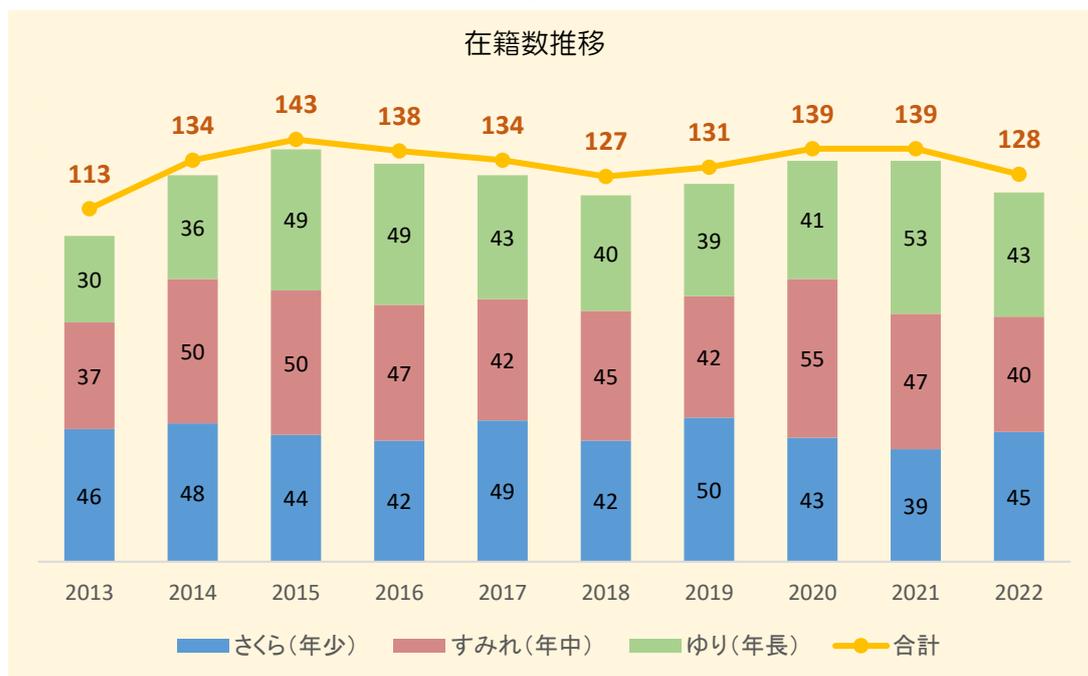


ピアノとヴァイオリンの割合が高いのは入学辞退者と共通している。

Ⅲ. 付属幼稚園

1. 園児数

2015年度以降2018年度までは減少傾向にあった園児数が2019年度から増加している。
2019年10月1日「幼児教育・保育の無償化」制度がスタートしている。

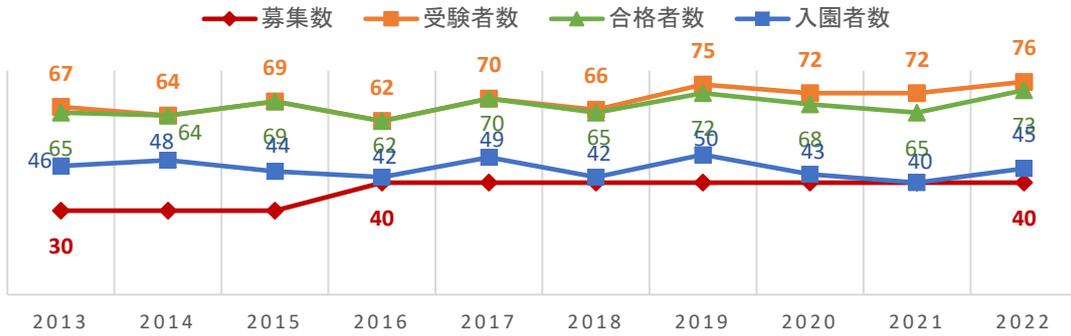


※ 個人レッスンは年中組から選択できる。 うたを希望する割合が増えている。

2. 入試・入園状況

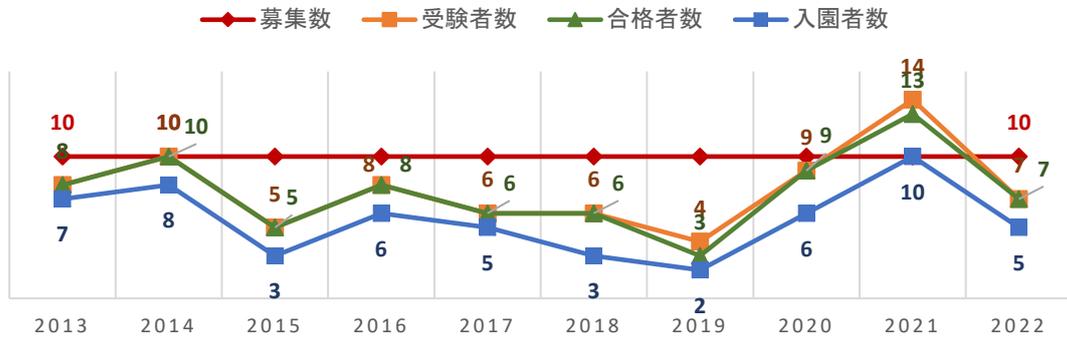
年によって多少の増減が見られる。入園希望者は増加傾向にあると言えるが、入園者数増には至っていない。

3年保育(年少)入園状況



年中組(2年保育)からの入園希望者が2020年度から増加傾向にある。

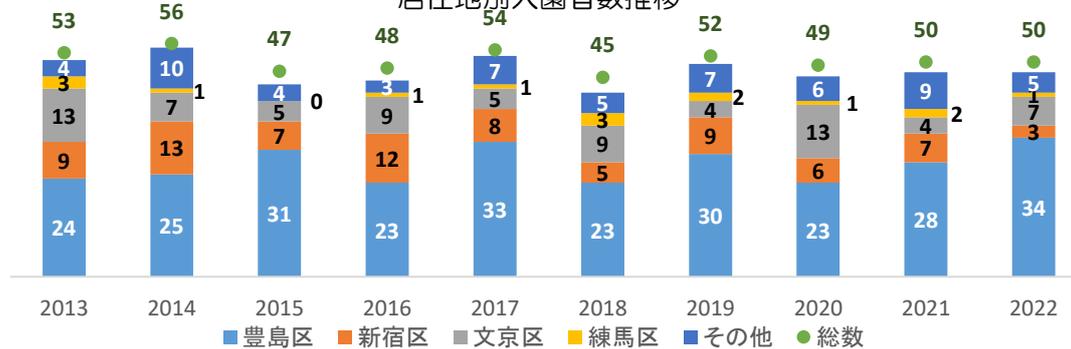
2年保育(年中)入園状況



募集数・入園者数推移

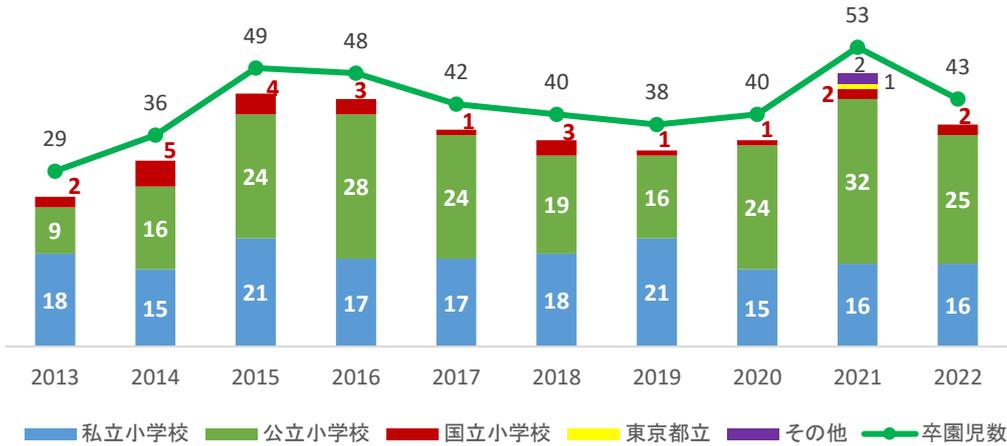


居住地別入園者数推移



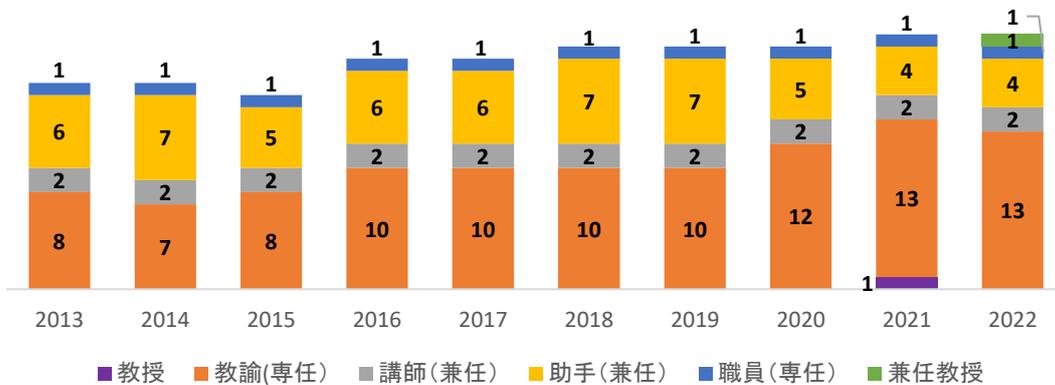
3. 卒園・進路

卒園者数・進路



4. 教職員数

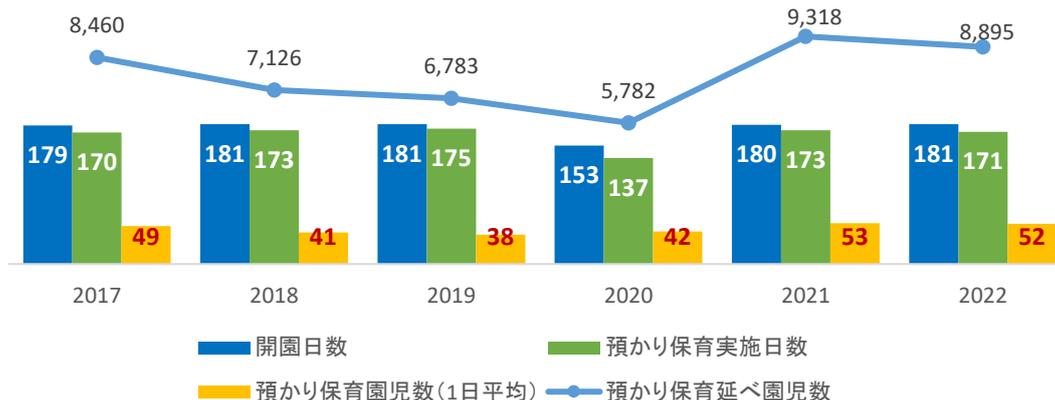
幼稚園教職員数推移



預かり保育

2017年度より教育時間終了後の預かり保育を実施している。

教育時間終了後(14時~18時) 預かり保育実施状況



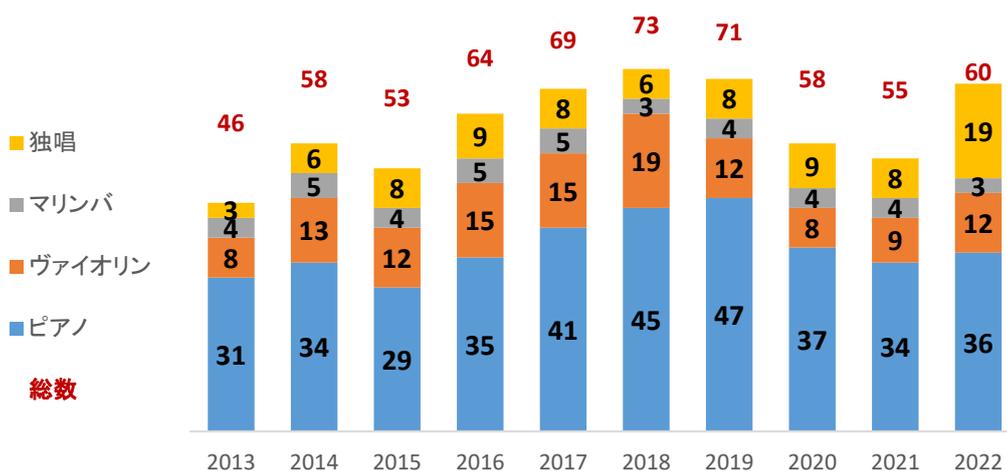
※上記以外に長期休暇(春期・夏期・冬期)中も9時~18時の間で、1日平均20人前後を受け入れている。
 ※2020年度はコロナ禍のため6月開園となったため開園日数が少ない。

5. 児童レッスン部

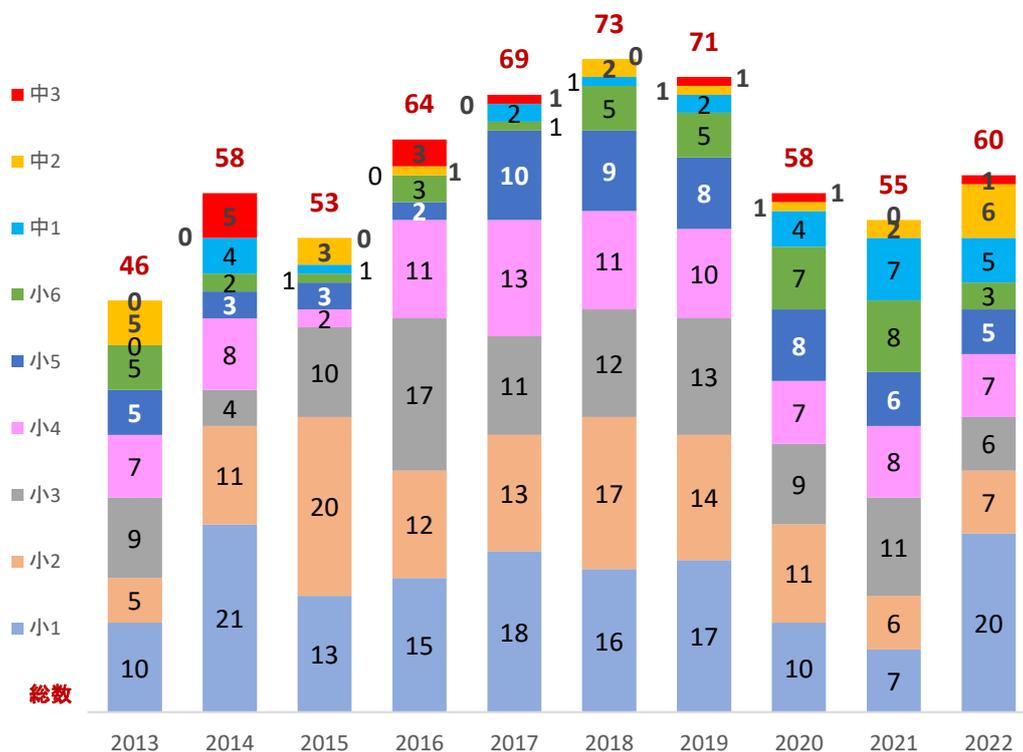
「児童レッスン部」：付属幼稚園の園児が卒園後も継続してレッスンが受講できるシステム。

- 対象：東京音楽大学付属幼稚園を卒園した者、及び在園児・卒園児の兄弟姉妹
- 受講可能期間：小学校1年生～中学校3年生
- 専攻：ピアノ・ヴァイオリン・マリンバ・独唱
- 時間：週1回 ①小1～小4 30分 ②小5～中3 40分
- レッスン期間：前期（4月～9月） 後期（10月～3月）
- 受講料：①99,000円 ②123,750円（一期分・税込）

児童レッスン部・専攻別レッスン生数推移

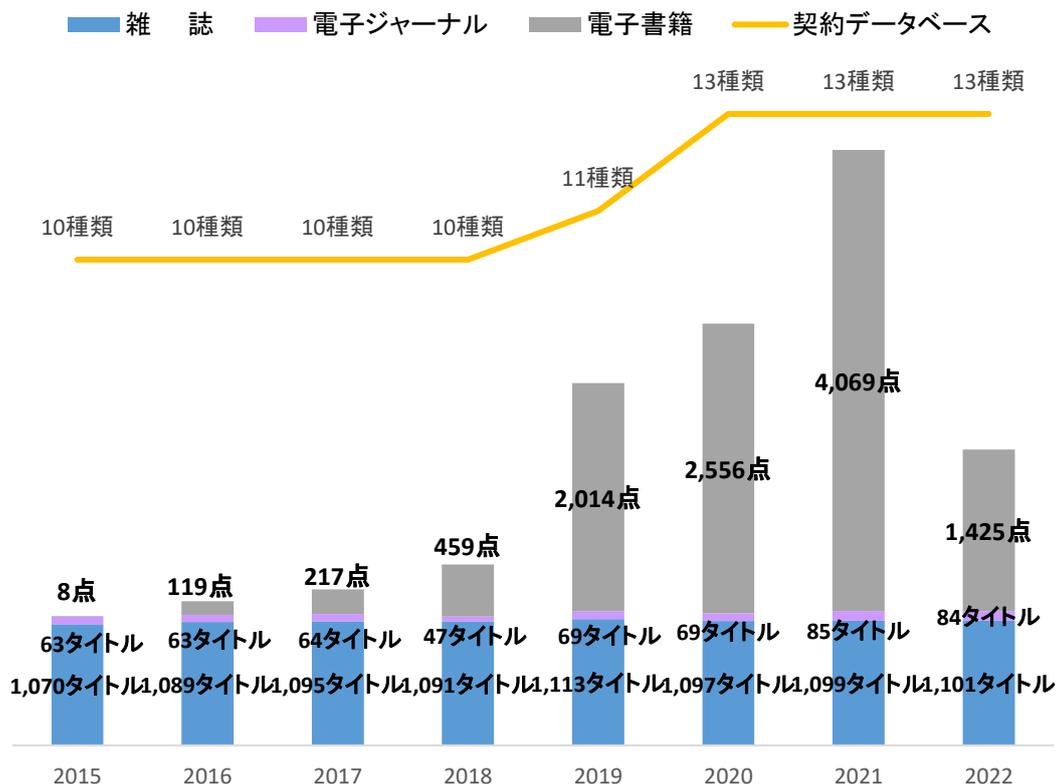
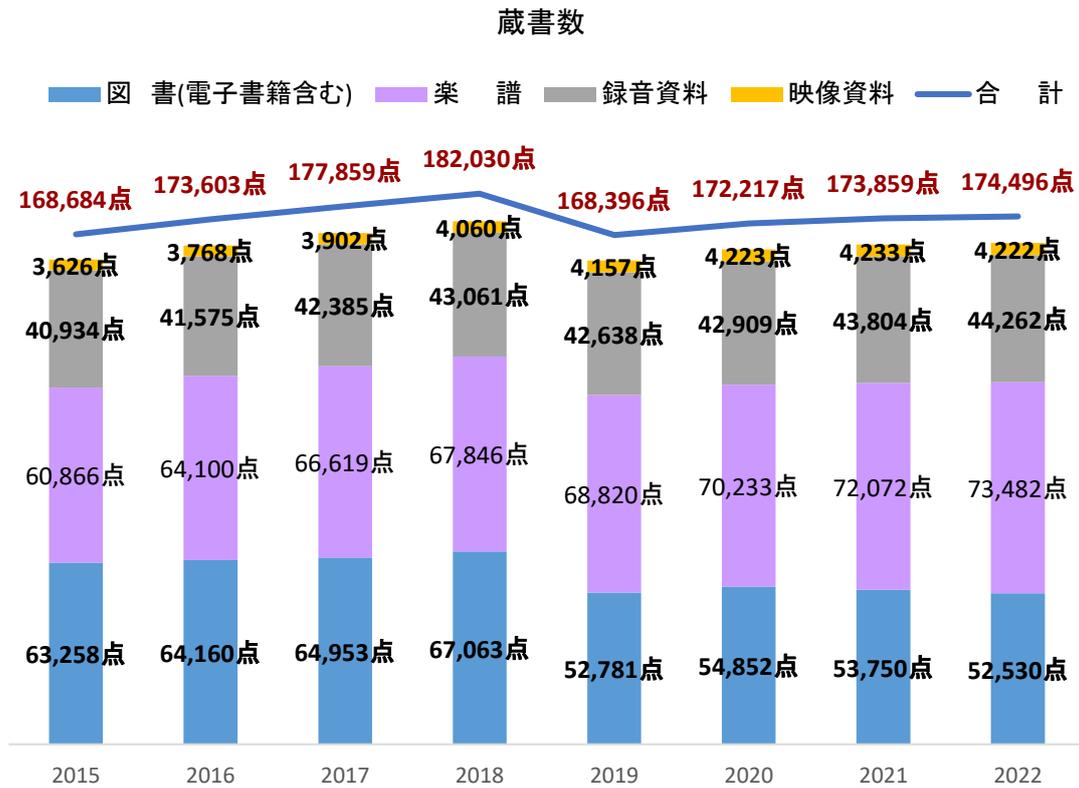


児童レッスン部 学年別在籍生推移 2013～2022



IV. 付属図書館

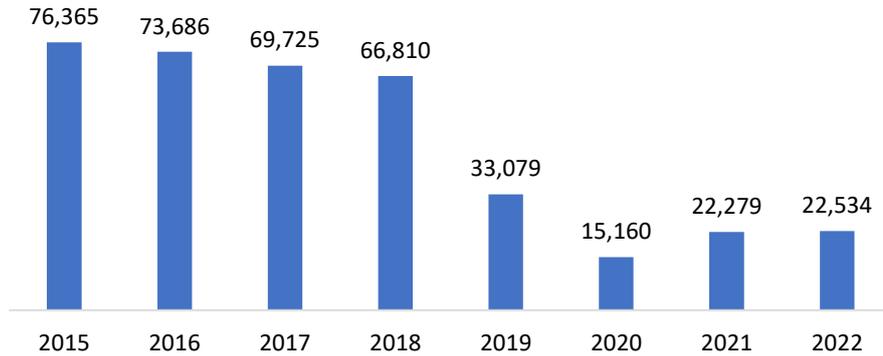
1. 蔵書数



※2019～2021年度は、ジャパンナレッジで演つ蘭可能な電子書籍の数を含んでいた。

2. 利用状況

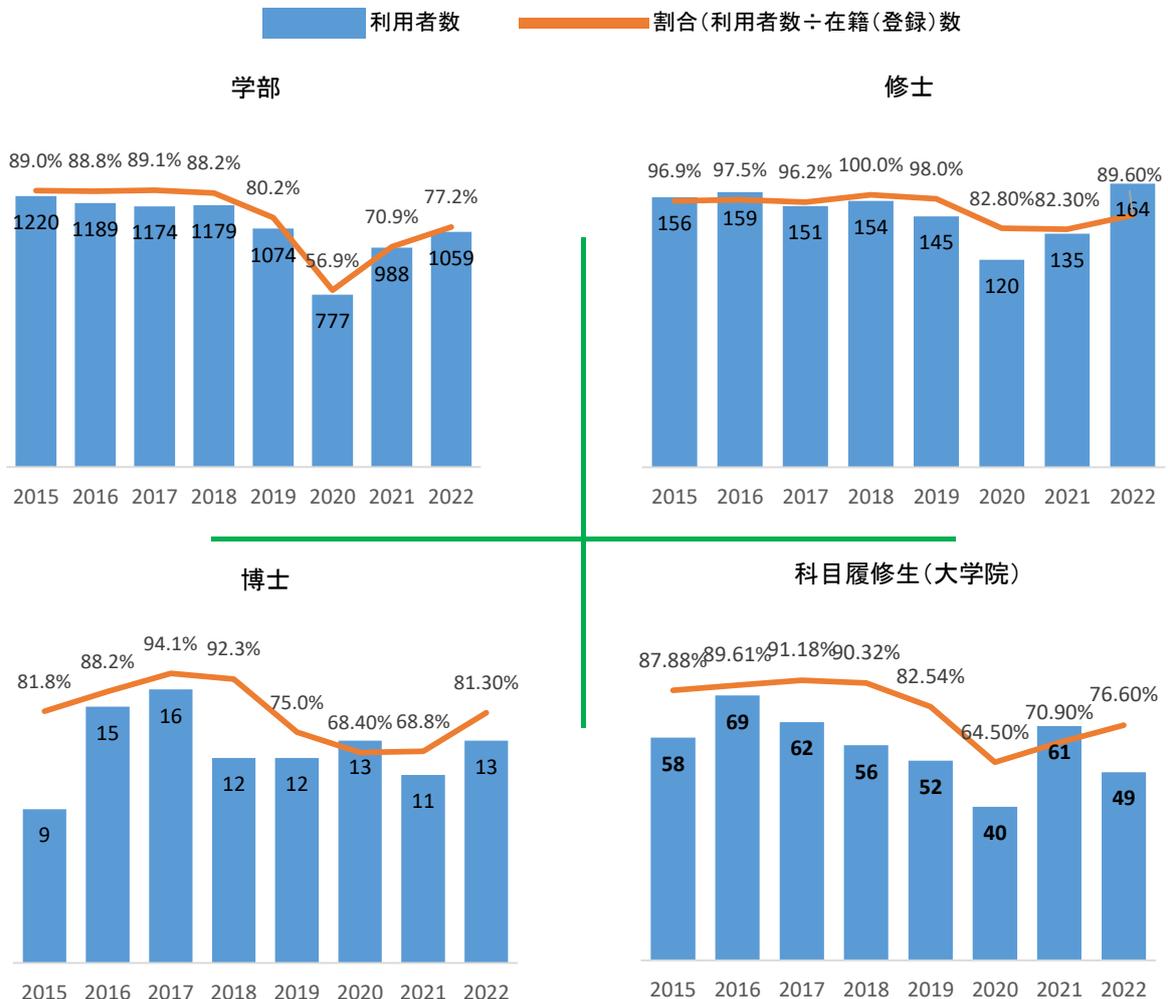
入館者数



※図書館（池袋キャンパス）入口のカウンターに記録された数。中目黒・代官山キャンパス（クリエイティブラボ）での利用者数はカウントされていない。

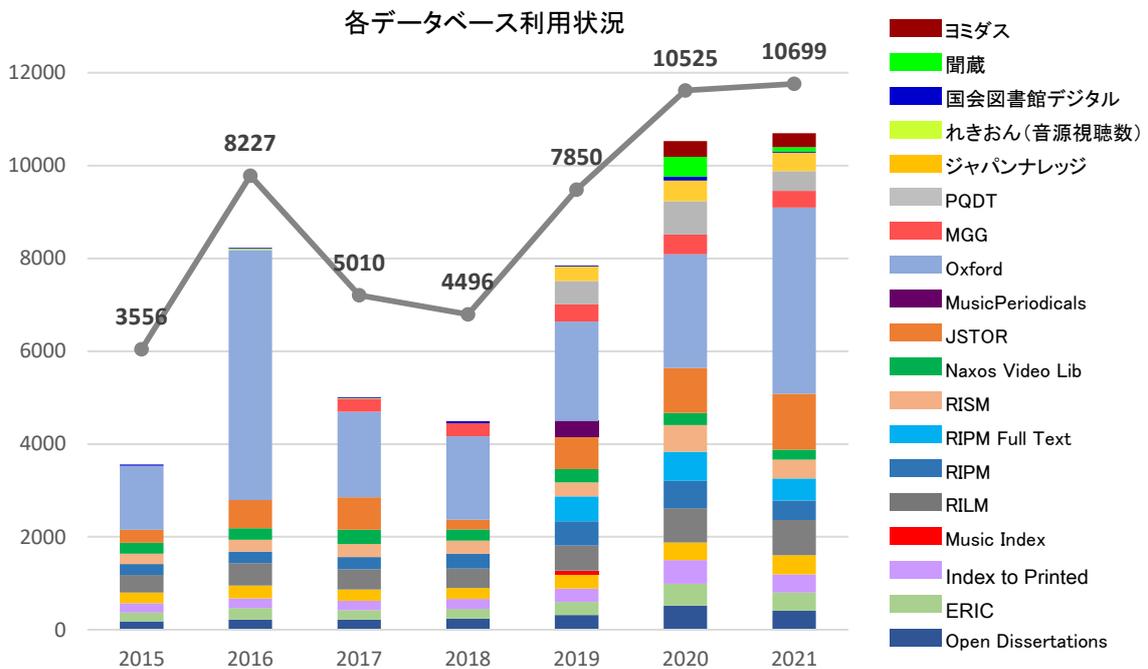
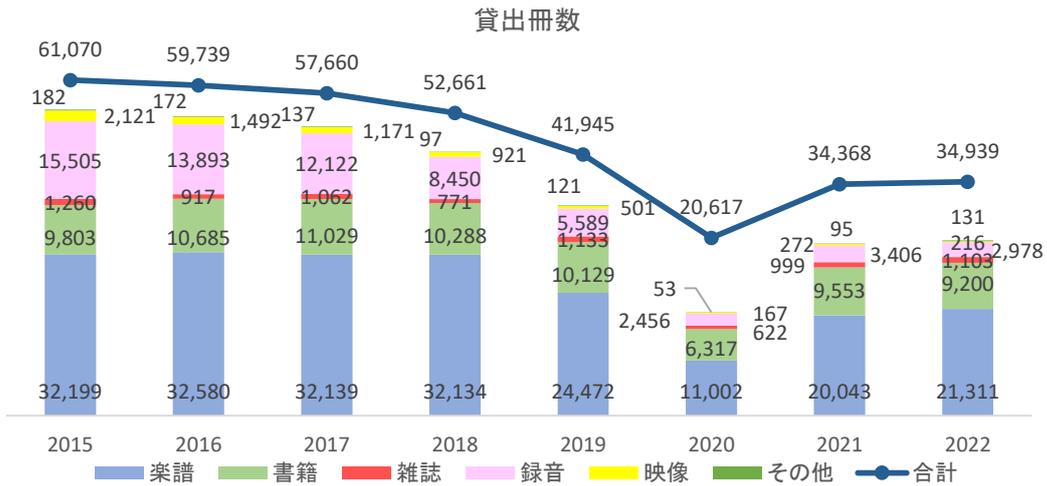
利用者数

一度でも図書館を利用した学生の数

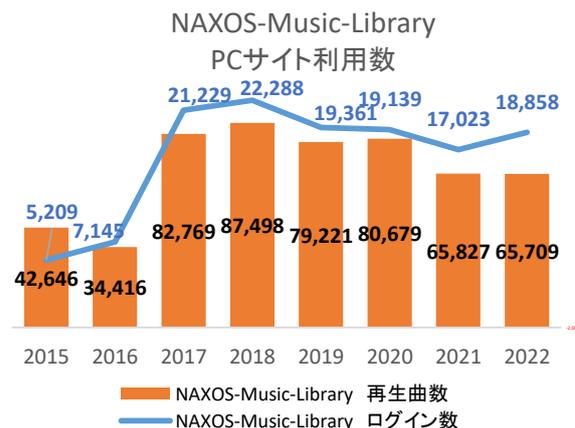
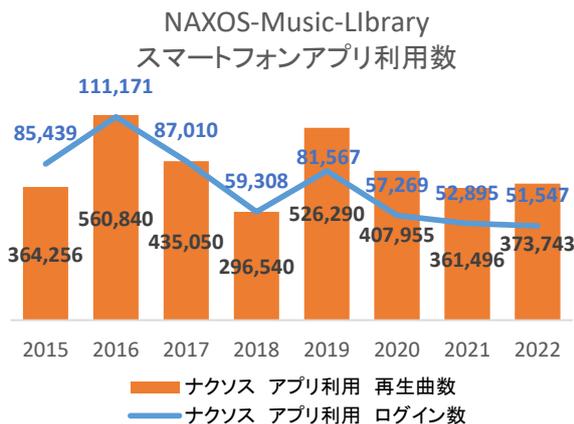


※利用者数は徐々にコロナ以前にも出つつあるようである。

2. 利用状況

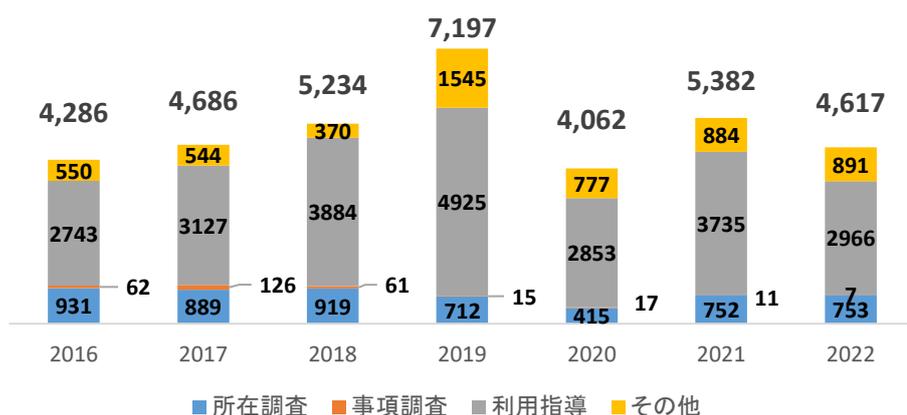


※国会図書館デジタルはシステム改修の影響で2022年度は数値取得無し。



2. 利用状況

レファレンス件数



※レファレンスとは、資料や情報を求めている人が適切な情報源を見つけるために図書館職員がサポートすること。

※2020年度以降のレファレンス件数は、オンライン臨時対応数を含む。

2022年度の利用状況

利用者 利用区分		楽譜	書籍	逐次 刊行物	録音	映像	ROM	マイク口	映像 解説	録音 解説	総計	昨年度 総計	増減
学内	大学(学部)	11131	3737	118	584	74	2	0	0	4	15650	16006	-356
	科目等履修	21	0	0	8	0	0	0	0	0	29	45	-16
	聴講生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大学院博士	313	254	9	67	0	0	0	0	0	643	972	-329
	大学院修士	3471	1963	113	537	31	1	0	0	9	6125	5349	776
	院科目等履修	562	185	129	143	15	0	0	0	1	1035	1192	-157
	研究生	43	16	0	0	0	0	0	0	0	59	73	-14
	教職員(※1)	3217	1845	329	1214	81	5	0	0	14	6705	6611	94
	学内小計	18758	8000	698	2553	201	8	0	0	28	30246	30248	-2
学外	交換留学生(※2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交流学生	49	70	1	0	0	0	0	0	0	120	39	81
	高校	812	275	0	99	1	0	0	0	0	1187	1331	-144
	音楽教室	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9	1	8
	卒業生	853	397	167	101	2	0	0	0	0	1520	1603	-83
	旧教職員	121	127	44	69	1	0	0	0	1	363	202	161
	社会人講座(民音研)	388	82	6	80	0	0	0	0	0	556	480	76
	指揮研修講座	157	168	4	57	4	0	0	0	0	390	224	166
	オーケストラ・アカデミー	125	11	0	5	1	0	0	0	0	142	0	142
	受験講習会	0	0	0	10	6	0	0	0	0	16	3	13
	学外(一般)	32	38	21	0	0	11	61	0	0	163	87	76
	学外(大学)	5	11	101	4	0	16	0	0	0	137	10	127
	学外(豊島区)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ILL	4	19	0	0	0	0	0	0	0	23	36	-13
	文献複写	0	1	60	0	0	1	5	0	0	67	104	-37
学外小計	2553	1200	405	425	15	28	66	0	1	4693	4120	573	
総計	21311	9200	1103	2978	216	36	66	0	29	34939	34368	571	
昨年度総計	20043	9553	999	3406	272	17	29	2	47	34368			
増減	1268	-353	104	-428	-56	19	37	-2	-18	571			

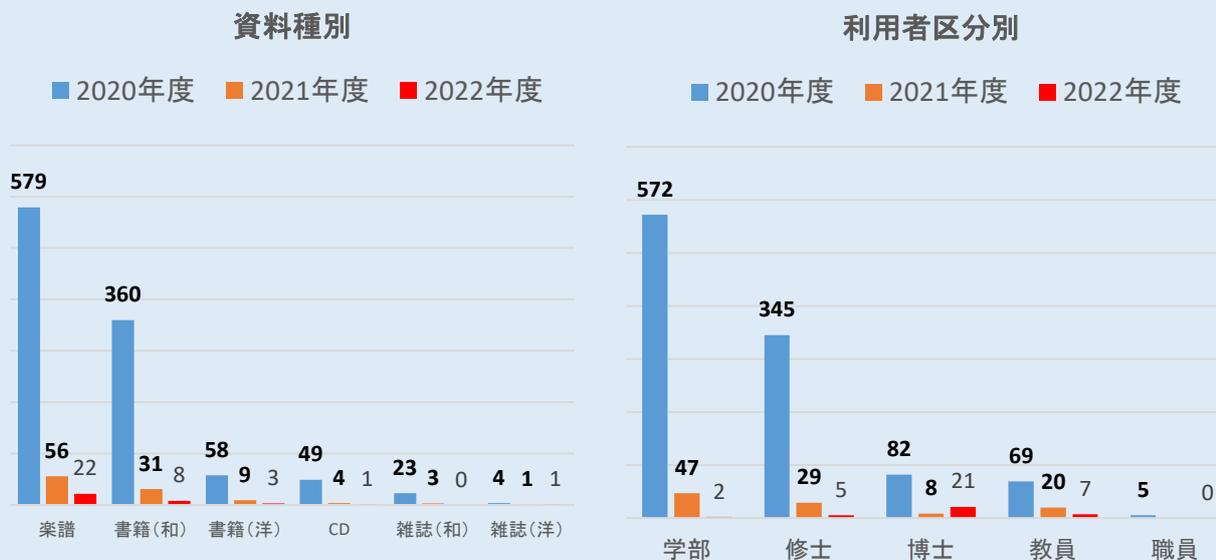
(※1)演奏補助等、パート、アルバイトを含む。

(※2)昨年度は0名

2. 利用状況

2020年度 コロナ禍を機にスタートした新しいサービス

1. 郵送貸出（総数 2020年度:1073件 2021年度:104件 2022年度:35件）

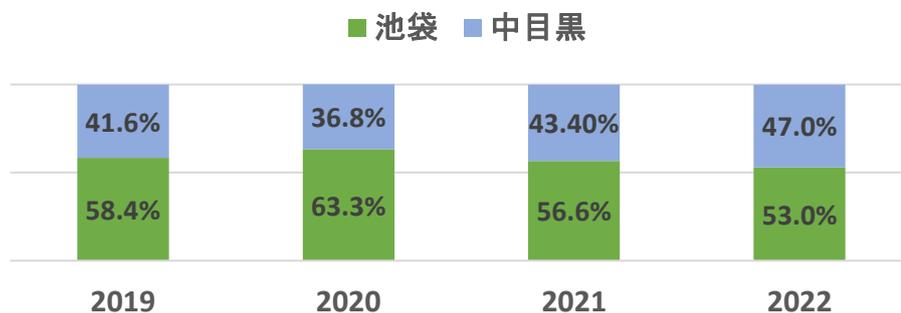


2. オンラインレファレンスサービス

		所在調査	事項調査	利用指導	その他	合計
2016	館内	931	62	2743	550	4286
2017	館内	889	126	3127	544	4686
2018	館内	919	61	3884	370	5234
2019	館内	712	15	4925	1545	7197
2020	館内	358	11	2738	770	4062
	オンライン	57	6	115	7	
2021	館内	721	6	3653	854	5382
	オンライン	31	5	82	30	
2022	館内	753	7	2966	891	4746
	オンライン	46	4	68	11	

オンラインサービス総数 2020年度185件 2021年度148件 2022年度129件

池袋キャンパス 中目黒・代官山キャンパス 貸出点数比較(割合)



V. 付属民族音楽研究所

日本の作曲家 伊福部 昭氏により1975年に開設。

伊福部氏が生まれ故郷 北海道でアイヌ民族の音楽に多大な影響を受けたことから、アイヌ音楽の研究を主たる研究課題として出発。現在はさらに、インドネシアのガムラン音楽や沖縄の伝統音楽等、アジア地域における民族音楽へと研究範囲を広げている。

1. 公開講座

過去10年間

年度	内容(タイトル)	来場者数
2022年度	『バロック舞曲へのダンスからのアプローチ』	200
	『ルネサンス時代のリュートとビウエラ～歌との関係は?～』	300
	組踊「銘苺子」を聴く～三線演奏と解説～	200
	箏×チェンバロ	300
2021年度	ウクライナの音楽伝統の広がり ーウクライナの歌姫ステパニユック・オクサーナさんを迎えてー	300
	町田市主催「ガムラン×星空～きらめく響き」	100
	東京音楽大学×としまコミュニティ大学「インドネシアのジャワ・ガムランの魅力」	80
	南インドの音楽と楽器ーヴィーナとムリダンガム	40
2020年度	打弦楽器の歴史をたどって聞いてみよう、見てみよう、ピアノの源流	130
	箏 古典から現代～アンサンブルを中心に～	130
	ガムランと舞踊のオンライン・チャーターコンサート	オンライン
	八王子音楽祭2021世界の楽器展覧会	280
2019年度	パンフルートの贈り物～ルーマニアの風に乗せて～(オンライン)	50
	モンゴル音楽の世界	200
	「アンデスの楽器の世界」	250
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の九」	120
2018年度	「アジアの声のワークショップーインドの歌謡ドゥルパド」	50
	「中国伝統楽器の響き」	150
	「『チョーミン楽団が行く』上映会及び『ミャンマー音楽文化講座』	100
	「童謡作曲家の世界～成田為三から中山晋平まで～」	200
2017年度	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の八」	150
	「童謡歌手の不思議な世界～かわいいは作れる?～」	180
	「ガムランと西洋音楽の出会い」	150
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の七】～御座楽と明清楽」	220
2016年度	「音楽は自然とともに」	80
	「中央アジア・キルギス民族楽器アンサンブル〈オールドサフナ〉を聴く	180
	「韓国の伝統楽器：カヤグムとチャンゴの歴史・特徴・奏法」	150
	「池辺晋一郎～音楽をする人に伝えたいこと」	80
2015年度	「伊福部昭の原点を探る」	200
	「シルクロード楽器の響き～中国現代箏篋芸術の発見と伝番」	150
	「インド音楽の哲学～ドゥルパト歌謡から」	80
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の六」	120
2014年度	「トランシルヴァニアの鼓動～Zoord(口琴)」	100
	「池辺晋一郎～誰の心の中にもある音楽」	80
	リズム楽「音楽と生活のエヴォリューション」	80
	「伊福部昭 昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の五】」	120
2013年度	「ジャワ・ガムランの合奏の楽しみ～演奏・舞踏とワークショップ」	150
	「楽器に見る東西交流：ワードとリュート」	80
	「アメリカとインド～サロードの楽しみ」	80
	世界音楽特講A「インドネシア ロテ島伝統楽器 ササンドゥ」	60
2012年度	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の四】」	120
	Kahlil Cummings パーカッションワークショップ	120
	竹のガムラン『チャルン』と舞踊『レンゲル』のワークショップ	150
	ヤングピープルズコーラス・オブ・ニューヨークシティ～異文化教育とその実践～	250
2011年度	伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の参】～	120
	阿寒の歌(ウポポ)をめぐる～伝統音楽の五線表現の視点から～	250

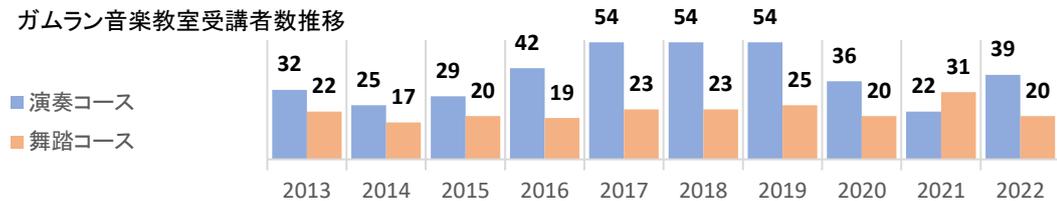
2. 社会人講座 実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座

ガムラン講座 (年間30回程度 有料)

ガムランの演奏・舞踊を広く学んで頂けるよう社会人を対象としたガムランの講座を開講。

1.合奏コース 2.舞踊コース

ガムラン音楽教室受講者数推移



民族楽器入門講座 (春、秋各6回 有料)

世界各国の珍しい民族楽器の奏法や歴史を学ぶ講座を開講。

※2022年度以降開講無し。

民族楽器入門講座受講者数・開講講座数推移



アンサンブル講座・入門講座 (1期6回 有料 定員：各楽器10名)

アンサンブル講座： 箏・二胡・コムズ・リコーダー (各楽器 初級・中上級)

アンサンブルを楽しみながら技術の向上を目指す。

入門講座： 馬頭琴・古箏・リュート (未経験者可)

個人・グループレッソンの組み合わせで演奏を楽しめるよう指導。

2022年度受講者数 箏 初級：5 中上級4 二胡：11 コムズ リコーダー：6

馬頭琴：8 リュート：6

民族音楽等 社会人特別講座

邦楽、古楽器及び民族楽器を習得しようとする社会人が、本講座における個人レッスン

(含アンサンブル)で、楽器もしくは舞踏の実技を学

1.教養コース 2.研究コース (有料)

個人レッスン 年間25回、1回40分 講義 年間20回、1回80分

〈民族楽器〉

シタール [インド]、ジャワ・ガムラン [インドネシア]、トンコリ [アイヌ]

口琴 [ロシアなど]、コムズ [キルギス]、二胡 [中国]、馬頭琴 [モンゴル]

月琴 [明清楽]、琴学、パンフルート [ルーマニア]、龍笛、各種民族太鼓

〈民族舞踊〉 〈邦楽器〉

ジャワ舞踊 箏、三味線、尺八、琵琶

〈古楽器〉

リコーダー、リュート [ルネサンス、バロック]、ビウエラ、

ギター [ルネサンス、バロック]、チェンバロ

民族音楽等 社会人特別講座受講者数推移



3. 刊行物

東京音楽大学付属民族音楽研究所研究紀要

伝統と創造=Dento to Sozo 1998年～Vol.11 (2022年3月)

伝統と創造=Dento to Sozo Vol.11

<論文>

G.ザルリーノ『ハルモニア教程』(1558)第3部「対位法」における音律論
—テトラコルド「ディアトニコ・シントニコ」をめぐって—

坂由理

<研究ノート>

「冠船踊方日記」にみる御茶屋御殿の役割

金城 厚

ルーマニアにおけるパンフルートの歴史～18世紀からの民族楽器ナイとしての歩み～

櫻岡史子

アジアの発掘口琴チェックリスト(6):薄板状の口琴(5)と湾曲状の口琴(4)

直川礼緒

<報告>

「鹿児島島の笛「天吹」の現地調査報告書

淵上ラファエル広志

西洋古楽器と日本の伝統楽器との融合—伊福 昭作品《因幡万葉の歌五》他の場合—

坂崎則子、小川美香子、三好美穂

東京音楽大学付属民族音楽研究所2020年度公開講座No.1パンフルートの贈り物

～ルーマニアの に乗せて～に関する報告

櫻岡史子

<解説>

パンフルートCD「青と緑のあいだ」

櫻岡史子

他

4. アートマネジメント人材育成 文化庁文化芸術振興費補助金(大学における芸術推進事業)

伝承を担うフィールドから
まなび、ともに作り、地域へつなぐ
アートマネジメント人材育成

—伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創造を目指して—

東京音楽大学では、文化庁「令和4年度 大学における文化芸術推進事業」に採択され、伝承を担うフィールド（現場）との関係性を重視する中で、伝統音楽・芸能の伝承をめぐる課題、および地域が抱える課題に対応し、且つ伝統音楽・芸能を継承しつつ新たな価値や複眼的取組を創出できるアートマネジメント人材の育成を行います。

本事業は、東京音楽大学付属民族音楽研究所を推進母体とし、国内外の関連機関との連携をはかりながら、実施していきます。

令和4年度 I「フィールドからまなぶ」

制作者が企画を立案・構成するにあたって、伝承の現場に足を運び学ぶためのプログラムを開発します。

※令和4年度の活動内容はH.P.参照

令和5年度 II「フィールドとともにつくる」

伝承の現場から学んだことを活かしながら伝統音楽・芸能を社会につなぎ、伝承の未来につなぐことを視野に入れた企画制作を検討し、展開します。

令和6年度 III「フィールドと地域をつなぐ」

伝統音楽・芸能を各地の地域レガシーと捉え、複数の自治体、多文化コミュニティの協力のもと、長期的視点から地域アイデンティティの共有を促すための方法論、現代日本で課題となっているアジア圏の異文化コミュニティの共生と包摂のための方法論を構築していきます。

VI. 付属音楽教室

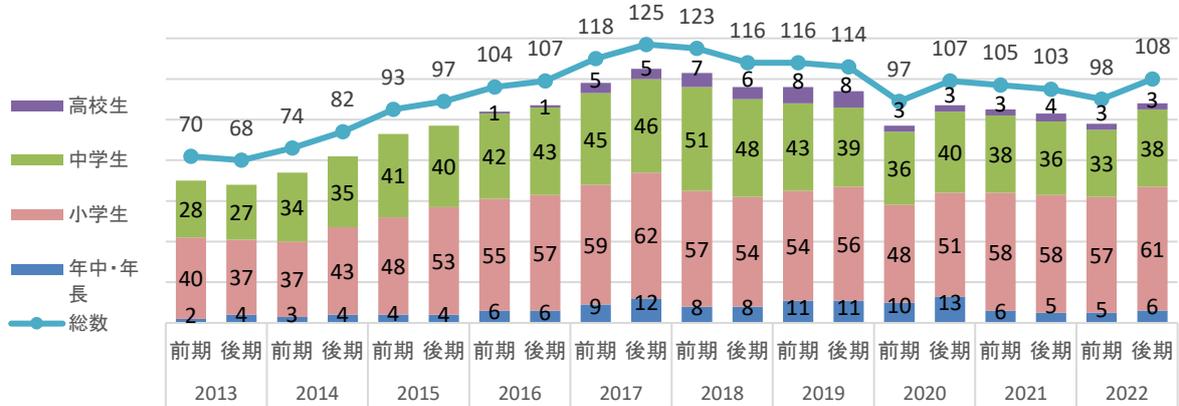
東京音楽大学付属音楽教室 1974年創設

対象： 幼稚園年中～高校3年（高校生はオープンシステムのみ可）
 専攻： ピアノ ヴァイオリン チェロ ハープ クラシックギター 楽器 声楽 管楽器
 一般： 専攻実技レッスン 副科レッスン アンサンブルレッスン ソルフェージュ 定期試験 演奏会
 オープンシステム： A レッスン ソルフェージュ B レッスンのみ

1. 生徒数

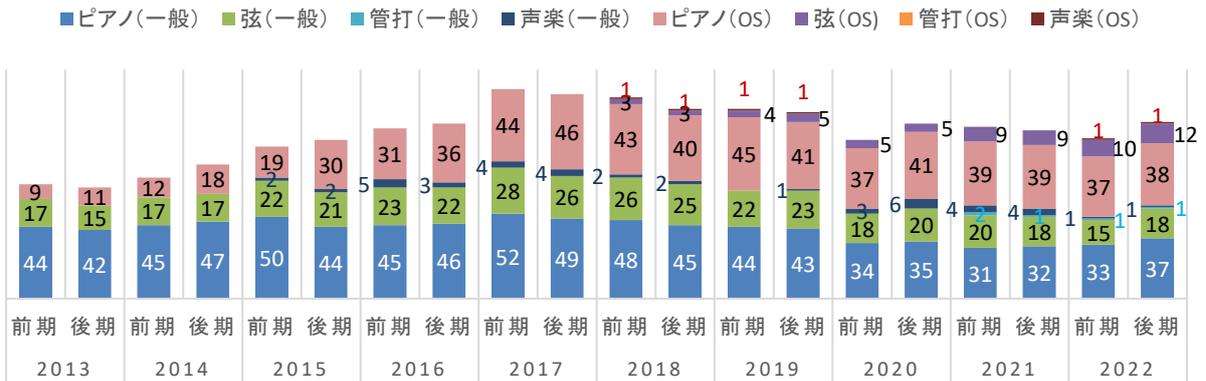
※ 本データに幼稚園ソルフェージュ受講生数は含まない。

学校区分別在室生数 2012～2021

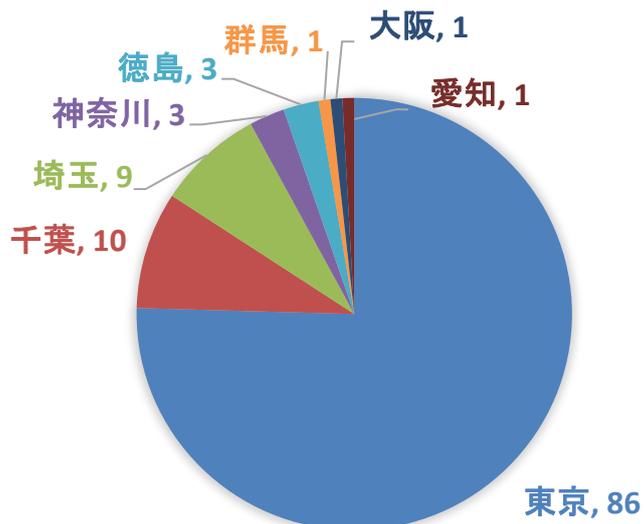


2017年以降減少傾向にある。

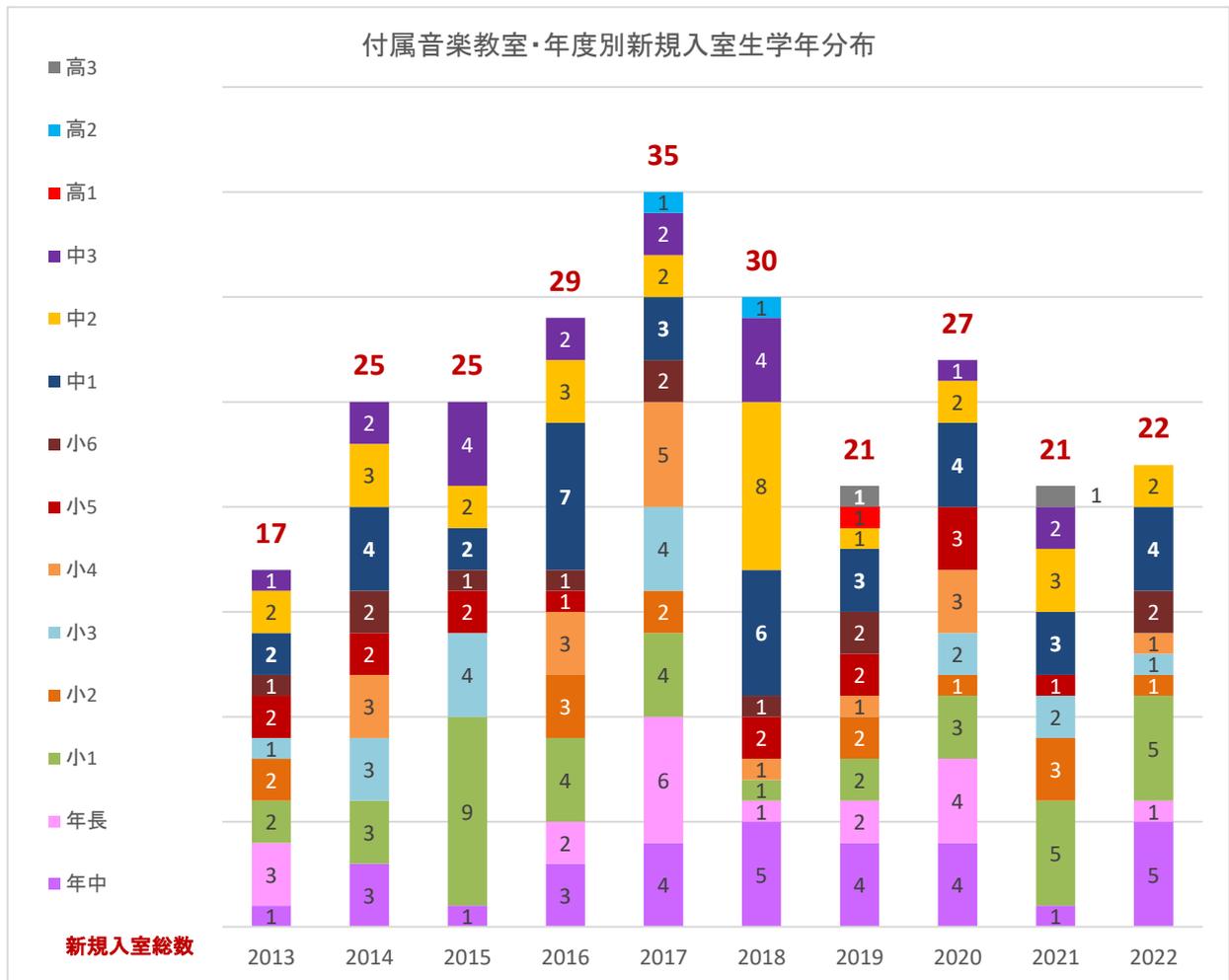
コース別在室数推移 2012～2021



2022年度在籍生
居住地分布

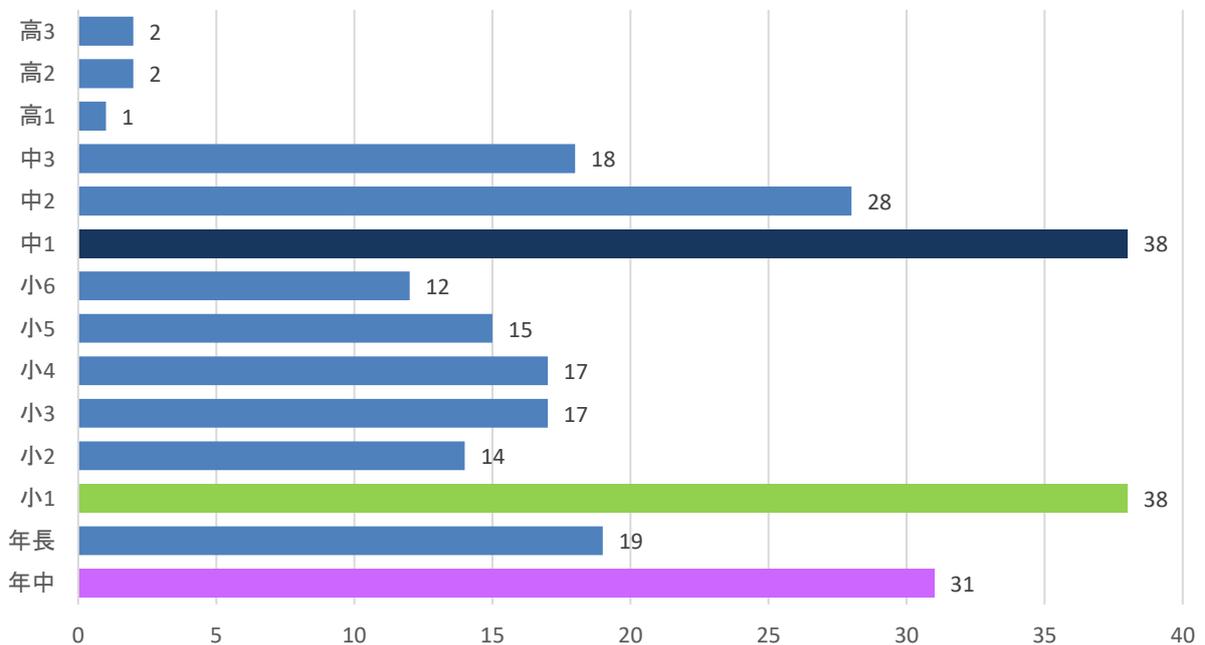


2. 入室状況



新規入室者も2017年度以降減少傾向にある。

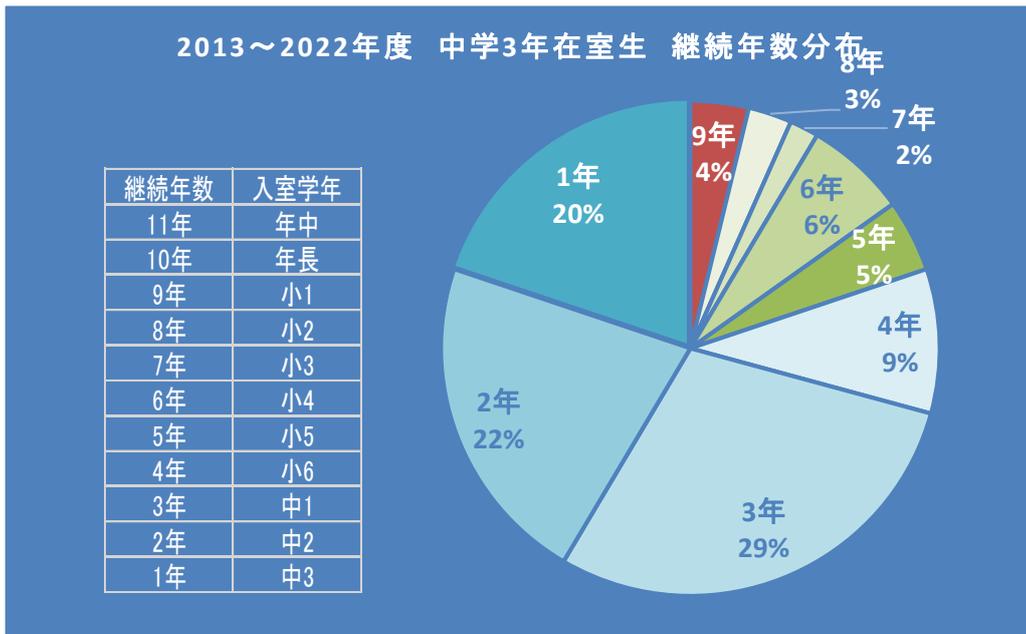
音楽教室 学年別新規入室生数 2013～2022



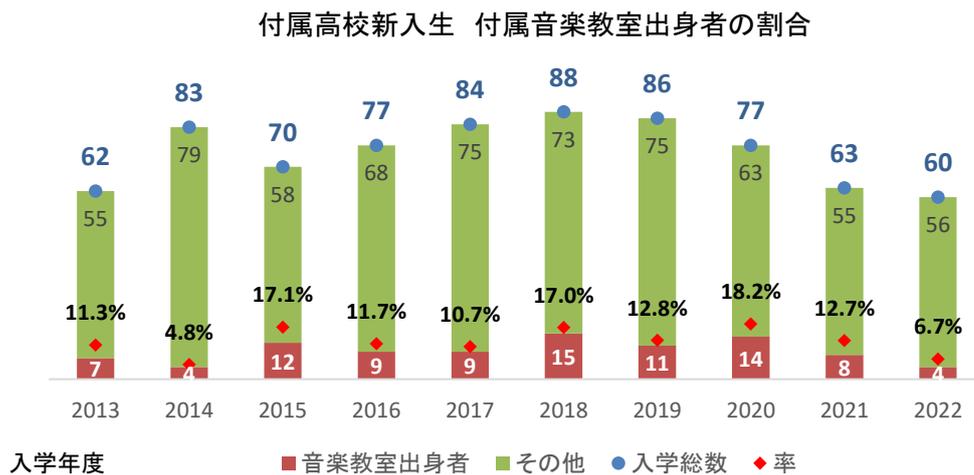
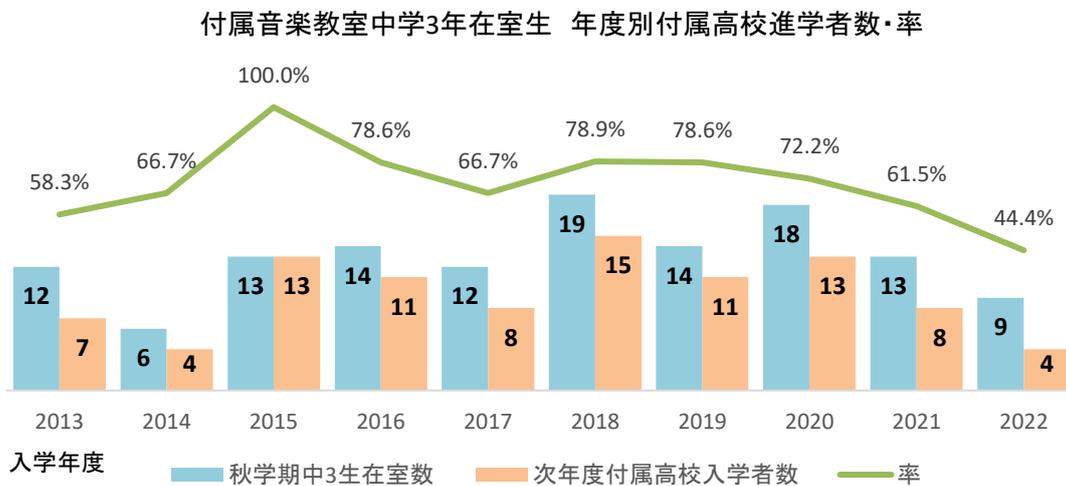
新規入室者が多いのは年中、小1、中1であり、学校区分別の最初の学年が多い。

※年少組は入室対象外。

2. 入室状況



中学3年在室生の6割弱が中学校入学後の入室である。



付属高校全入学者の内、平均で13%強が付属音楽教室出身者である。

事業活動収支計算書関係比率

※1. ※2.

比率項目	算出基準	2018	2019	2020	2021	2022	評価	※1. 2021	※2. 2021
① 人件費比率	人件費／経常収入	68.11%	65.43%	61.35%	63.03%	60.17%	▼	51.70%	46.30%
② 人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	84.04%	81.73%	75.25%	76.72%	74.14%	▼	65.50%	95.00%
③ 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	25.27%	34.80%	38.48%	33.84%	36.52%	△	34.70%	40.40%
④ 管理経費比率	管理経費／経常収入	10.73%	13.68%	13.16%	10.82%	9.39%	▼	10.60%	6.40%
⑤ 寄付金比率	寄付金／事業活動収入	1.81%	1.73%	0.87%	0.34%	2.10%	△	1.00%	1.80%
⑥ 補助金比率	補助金／事業活動収入	9.17%	11.04%	12.02%	5.51%	10.15%	△	10.30%	12.60%
⑦ 基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	85.99%	41.70%	19.40%	0.04%	18.14%	△	12.60%	8.60%

※1. 芸術系20大学の平均 ※2. 全国平均

評価：△高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

◆ 本学 ■ 芸術系20大学平均（2021年度） ▲ 全国562大学平均（2021年度）

① 人件費比率 ▼



⑤ 寄付金比率 △



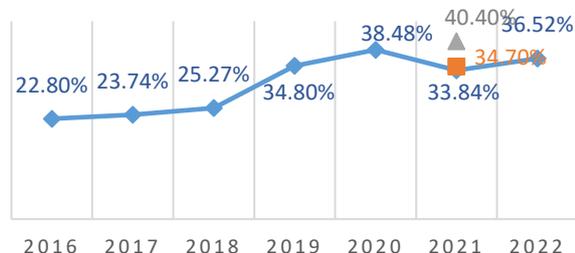
② 人件費依存率 ▼



⑥ 補助金比率 △



③ 教育研究経費比率 △



⑦ 基本金組入率 △



④ 管理経費比率 ▼



貸借対照表関係比率

※1. ※2.

項目	算出基準	2018	2019	2020	2021	2022	評価	2021	2021
① 固定資産構成比率	固定資産／総資産	94.16%	92.14%	96.79%	92.12%	93.33%	▼	86.20%	84.70%
② 有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	76.45%	74.63%	78.15%	69.77%	71.73%	▼	56.60%	56.20%
③ 特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.16%	3.24%	3.60%	3.34%	3.42%	△	21.90%	24.40%
④ 流動資産構成比率	流動資産／総資産	5.84%	7.86%	3.21%	7.88%	6.67%	△	13.80%	15.30%
⑤ 固定負債構成比率	固定負債／総負債＋純資産	27.95%	33.10%	30.16%	26.09%	25.17%	▼	5.50%	8.30%
⑥ 流動負債構成比率	流動負債／総負債＋純資産	6.56%	4.17%	5.36%	4.88%	3.50%	▼	5.40%	5.90%

※1. 芸術系20大学の平均 ※2. 全国平均

評価：△高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

◆ 本学 ■ 芸術系20大学平均（2021年度） ▲ 全国562大学平均（2021年度）



Tokyo College of Music

東京音楽大学